

道義ヲ鼓吹セシニ之ニ賛成スルモノ百名ニ及ヒタリ依テ  
大正三年五月八日從來ノ制度ヲ改メ會員組織トノ今日ニ  
及ヘリ

目的及事業種類

目的 名士ノ講演ヲ聴講シ精神修養ヲ第一義トス

事業 講演會 講習會 回覽文庫

會員數及分布狀況

九十二名  
町内ニ分布

主ナル役職名並其氏名

會長 阿部 順三  
副會長 羽鳥 資  
幹事 佐鳥 守  
書記幹事 星田 仁助

維持方法

會費寄附金其他ノ收入

昭和二年度決算額	歳入	二五八、三五
	歳出	二五八、三五
昭和二年度決算額	歳入	二一五、三五
	歳出	二一五、三五
昭和三年度決算額	歳入	三六五、〇〇
	歳出	三六五、〇〇

名稱 伊勢崎町婦人會

事務所々在地 伊勢崎第一幼稚園内

創設年月日 大正七年五月十九日

經營主體又ハ代表者 代表者 設樂 うら

沿革概要 大正七年五月十九日伊勢崎町在住ノ婦人ヲ以テ設立ス

目的及事業種類

イ、目的 婦徳修養智養ノ啓發ニ資シ家庭教育竝家政ニ  
關スル研究ヲ遂ケ善良有爲ナル婦人ノ素養ヲ  
得シムルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、修養講演會及講習會

二、散老及公共事業援助

會員數及分布狀況

三百名  
本町内ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

會長 設樂 うら  
副會長 天田 いね  
同 久保 とみ  
主任幹事 町田 とく

滋澤 たか 牛久保 つね  
伊佐 エイ 樋口 次  
矢内 きよ 奥山 しづ  
古澤 きた 天笠 よね

多加谷 かね 櫻井 かつ

關根 よね

中央幹事 渡邊 きみ 須田 しん

後藤 安藝子

資産(種目別)

現金四百六十四

維持方法

會費及町ヨリノ補助金ノ收入ニヨル  
昭和二年度決算額 歳入 八七〇、二六  
昭和二年度決算額 歳出 七〇〇、一四  
昭和三年度決算額 歳入 六三二、二三  
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
昭和二年度 金百圓 町補助金  
同 三年度 金百圓 同前



名稱 柏川尚善會

事務所所在地 勢多郡柏川村東壽寺内

創設年月日 大正十年一月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 青柳興敬

沿革概要

大正十年一月十日從來ノ單ナル勢多郡各宗協會柏川村支部トシテノ事業ニ止ルヲアキタラストシ内ニハ會員相互ノ修養ヲ圖リ外ニハ社會教化ノ實ヲ舉ケント新ニ柏川尚善會ヲ創設シ支部ノ事業ヲモ合セテ活動ヲ開始ス爾來本會ノ事業ハ年々順調ニ運ヒ事業中ノ主ナルモノハ殆ト本村ノ年中行事トナリ各種團體亦競フテ本會ヲ軌範トナスニ至レリ

目的及業務種類

イ、目的 内會員相互ノ修養ヲ圖リ外社會教化ノ實ヲ舉ケルヲ以テ目的トス  
ロ、事業 一、修養講話會

二、保護救濟事業

三、花まつり、敬老會、コドモ會其他前條ノ

目的ノ爲メ必要ナリト認メタル事業

會員數及分布狀況

八ヶ寺院

村内ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 青柳興敬

副會長 大辻利雄

ロ、職員

會長 執務

資産(種目別)

資産ノ無キハ會員ノ活動ニヨリテ事業ヲナサントスル精神ニテ特定ノ積立金等ヲナササルニ依ル

維持方法

會費、寄附金、補助金ノ收入ニ依ル

昭和二年年度豫算額 歳入 二〇六、〇〇

昭和三年年度決算額 歳入 二〇九、六五

昭和三年年度豫算額 歳出 一六八、六〇

昭和三年年度豫算額 歳出 二二四、〇〇

奨励金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金五十圓 昭和二年度村費補助金

金五十圓 同、三年度同

\*\*\*\*\*

名稱 佛教聯合會群馬縣支部

事務所所在地 前橋市立川町妙安寺内

創設年月日 大正十年十二月二十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 九條嚴英

沿革概要

大正十年佛教聯合會本部ノ綱領ニ準シ宗教法ノ制定、僧

侶參政權獲得寺院境内還付シ旗幟トシテ縣下一千三百ヶ寺ノ大同團結ヲ作り政治的運動ヲ目的トシテ創立セラレタルモ僧侶參政問題ノ解決ト共ニ昭和二年以降ハ専ラ宗教教化ヲ中心トスル教化運動ニ轉シ現在ニ及ヘリ

目的及事業種類

一、大乘佛教ノ思想ニ基キ國民精神ノ振作ヲ計ル

二、社會淨化ト弊風打破

會員數分及布狀況

群馬縣一圓

各寺院住職一千百餘名

主ナル役職名並其氏名

理事長 九條嚴英

常務理事 岡 慈 賢

同 村 越 宥 範

同 大 野 義 澄

同 笠 原 宥 靜



常務理事	三品有勝
同	野口周善
同	蓮池辨問
同	大瀧卓雄
同	鶴牧得之
同	加藤立成

維持方法  
會費、其他ノ收入

昭和二年年度決算額	歳入	九七五、〇〇〇
	歳出	
昭和二年年度決算額	歳入	四七五、五〇五
	歳出	
昭和三年年度決算額	歳入	一、四二七、〇〇〇
	歳出	

\*\*\*\*\*

名稱 原市修養會

事務所々在 地 碓氷郡原市町

創設年月日 大正十一年三月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 深山仙道

沿革概要

世界大戰以來動モスレハ素朴温和ナル地方民ニシテ外來思想ニ心醉セントシ不知不識ノ間不穩ナル言辭ヲ敢テ弄スルノ傾向ヲ見ルニ至リ、加フルニ當地ハ現在行ハレツツアル同胞融和運動ヲ必要トスルノ地タリシヲ以テ之カ善導親和ニ努ムルコト共ニ一回當地ノ如キ僻陬ノ地ニシテハ自然日進ノ社會事業ヲ知ルノ機會ニ劣シキヲ念ヒ併セテ本會事業ヲシテ所謂「田舎大學」タルノ使命ノ下ニ主トシテ中央ヨリ名士ヲ聘シ各種ニ亘ル修養講話會ヲ開催シ如上ノ事項達成ノ目的ヲ以テ大正十一年三月現住代表者及有志者主唱ニ依リ始メ「禪友會」ノ名ニ於テ設立スルニ至レルモ爾來逐年發展ニ伴ヒ大正十五年二月縣下此種團體ニ做ヒ名稱、會則ヲ現在ノ如ク改メ同時ニ群馬縣教化事業團體ニ加盟シテ基礎ヲ確立シ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

- イ、目的 健全ナル國民精神ヲ培ヒ併セテ學術的修養ヲ與フルヲ目的トス
- ロ、事業 一、適宜修養講話會ヲ開催スルコト  
二、社會生活上必須ノ學術的又ハ實業ニ關スル事項ニ付講習會ヲ開設スルコト  
三、公益事業ノ主唱又ハ助成ヲナスコト  
四、其他教化上必要ナル事項

會員數及分布狀況

百十一名  
本町内ニ分布ス  
主ナル役職名並其氏名  
一、會長(代表者) 深山仙道  
一、理事 有坂茂 堀口永壽  
山口卒一 磯貝芳三

田中義平 津山米吉  
島田愛一郎 小森松太郎  
眞下實

- 一、會計監查員 五十貝亥六 櫻井淳一  
一、顧問 櫻井七四郎 磯貝陽作  
一、贊助員

仁井恭平 中島恒次  
小板橋四郎 眞下純一  
三宅晋 仁井正次郎  
有坂彦平 島田清三郎  
黛辰五郎 小林安衛  
磯貝勘次 須藤注連吉  
萩原已佐次 萩原與太郎  
山口龍太郎

資産(種目別)



基本金 十四(勸業債券)

維持方法

會員離出ニ依ル會費又ハ寄附金ニヨル

昭和二年年度決算額	歳入	一八一、二三〇
	歳出	一八一、二三〇
昭和二年年度決算額	歳入	一七三、六五五
	歳出	一七九、三二〇
昭和三年年度決算額	歳入	二二四、八四〇
	歳出	二二四、八四〇

\*\*\*\*\*

名稱 群馬縣迦葉山沼田婦人會

事務所所在地 利根郡沼田町八二四番地

創設年月日 大正十三年十二月十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 北川 美知

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書煥發セラレルヤ當利根郡長湯原直平氏夫人芳子等發起トナリ

聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘク方法トシテ當會設立セリ

爾來會員逐次増加シ昭和四年一月ニ於テ會員總數百十餘

名ヲ算スルニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神作興ヲ圖ルヲ以テ目的

トス

- 口、事業 一、忠國愛國 七、後輩勞導
- 二、敬神崇拜 八、相互扶情
- 三、公共忠愛 九、生活改善
- 四、郷土愛樂 十、博愛救濟
- 五、嫗婦徳謙 十一、勤儉力行
- 六、長上尊敬 十二、良妻賢母

會員數及分布狀況

百十二名

本町内ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

昭和三年年度決算額 歳入 四七〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金三十圓 昭和三年一月十九日沼田町役場ヨリ補助金

\*\*\*\*\*

名稱 群馬縣禁酒聯盟

事務所所在地 伊勢崎町

創設年月日 大正十四年十月

經營主體又ハ代表者 代表者 戸谷清一郎

沿革概要

大正十四年十月縣内禁酒團體ノ連絡統一ヲ圖ル故創立

目的及事業種類

禁酒運動ノ連絡統一

會員數及分布狀況

五團體

- 前橋禁酒會 伊勢崎禁酒會 綿打禁酒會
- 勢多中央禁酒會 城陽禁酒會

會長 北川 美知 副會長 望田 せん  
 會計 武井 ゆみ 同 森川 よし  
 幹事 生方 まつ 同 櫻井 つるよ  
 理事

堀 もと	小林 しな
柿 とよ	長谷川 はる
丸田 みつ	角田 そよ
貝瀬 ひろ	阪爪 つね
田中 不二	金子 とよ
穂積 はつ	

資産(種目別)

基本金 一百二十圓

維持方法

會費 寄附金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年年度決算額	歳入	四七〇、〇〇
	歳出	四七〇、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	四五六、五一
	歳出	四五六、五一



主ナル役職名並其氏名

理事長 戸谷清一郎  
理事 佐藤藤三郎 同 大澤虎雄  
同 森 寅二 同 田邊熊藏  
同 山川三作 同 小林伊年

維持方法

加盟團體贈出金其他ノ收入

昭和二年度豫算額 九五、〇〇

昭和二年度決算額 九五、〇〇

昭和三年度豫算額 九八、一一

\*\*\*\*\*

名稱 小野 向上會

事務所所在地 北甘栗郡小野村小學校内

創設年月日 大正十五年十月三十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 會長 菅原是政

支部 九大字

村内一回

主ナル役職名並其氏名

會長 菅原是政  
副會長 金田和十郎  
同 鈴木有榮  
常任理事 加藤裕

維持方法

會費寄附金及其他ノ收入

昭和二年度豫算額 歳入 一二〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一二〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 二六、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 埼玉縣教化團體聯合會

事務所所在地 埼玉縣廳社會課

沿革概要

大正十五年十月三十一日國民精神作興ニ關スル御詔書ノ趣旨ヲ徹底セシメ地方ノ圓滿ナル改善發達ヲ遂ケント欲シ村長助役小學校長軍人分會長、寺院住職青年有志區長村會議員學務委員等ノ賛成ヲ得本會ヲ創立セリ  
昭和二年十二月八日各大字ニ支部ヲ設ケ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

- イ、目的 聖訓ヲ奉體シ地方ノ圓滿ナル改善發達ヲ企圖ス
- ロ、事業 一、毎月一回斯道先輩ヲ招キ講話會  
二、春秋二回大講演會  
三、春秋二回一夜講習會  
四、修養ニ資スル冊子ヲ頒布ス  
五、目的ニ反セザル限り諸種ノ事業

會員數及分布狀況

會員數 八十名

創設年月日 昭和二年七月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 田島義士

沿革概要

縣下社會事業ノ施設事項調査研究ノ爲メ本縣社會事業協會ニ研究部ヲ設置シ三部制トナシ夫々調査研究ノ結果第二部委員會ハ決議事項ノ一トシテ教化團體聯合會設立ノ必要ヲ認メ社會事業協會長ニ答申ス次イテ社會事業協會ハ之レカ設立ヲ援助スル爲メ第二部委員中準備委員トシテ五名ヲ委囑シ昭和二年二月二十八日縣下教化團體代表者ヲ發企人トシテ來會ヲ煩ワシ會則案會費等ニツキ協議セリ續イテ六月二十一日準備委員ノ參集ヲ乞ヒ豫算案其他創立總會ニ關スル協議ヲナシ茲ニ設立ニ關スル一切ノ準備ヲ整ヒタルヲ以テ七月五日午前十時創立總會並ニ發會式ヲ舉行シタリ以來各種ノ事業ヲ實施シ今日ニ至ル。

目的及事業種類

目的 本會ハ國民道德ヲ基調トシ思想ノ善導ヲ圖ル爲メ



聯盟、團體ノ連絡提携ヲ保チ事業ノ促進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

會員數及分布狀況

本會加盟團體左ノ如シ

- 埼玉縣佛教聯合會
- 新郷村各宗佛教聯合會
- 天理教北足立郡北部支會
- 入間郡佛教會飯能支會
- 國民思想善導映畫教化團
- 宗岡村信用購買販賣組合
- 有限山根村購買販賣組合
- 責任柏原村信用購買販賣組合
- 都幾傳導會
- 佛教傳道會
- 秩父佛教同志會
- 國民精神振興會
- 天理教兒玉郡支會
- 日本メソジスト熊谷教會
- 生活改善團體
- 北足立郡各宗佛教會
- 天理教埼玉縣聯盟本部
- 天理教北足立郡中部支會
- 入間郡佛教會 鶴瀨部
- 橫手子供佛教會
- 有限堀兼村信用購買販賣組合
- 責任金子村信用購買販賣組合
- 同 吉見佛教會
- 今宿兩村聯合教風會
- 外秩四恩會
- 社會教育映畫團
- 兒玉郡佛教會
- 曲輪同志會
- 天理教大里郡支會
- 北足立郡佛教會

- 淨土宗正樹院報德會
- 同 與野信用販賣組合
- 日本弘道會豐岡支會
- 共勵會
- 天理教入間郡東部支會
- 有限福岡村信用販賣購買組合
- 西武教化團
- 報恩會
- 有限平信用購買販賣組合
- 原谷村信用購買組合
- 有限藤田村信用購買販賣組合
- 中瀬佛教青年會
- 有限中瀬信用購買販賣組合
- 寄居町外六ヶ村佛教會
- 中條村教化團體
- 湖止村信用組合
- 天理教南埼玉郡支會
- 生活改善期成會
- 旭村生活改善申會
- 有限埼玉縣信用組合聯合會
- 同 大石信用販賣購買組合
- 風俗改良團
- 天理教入間郡西部支會
- 有限豐岡町信用購買販賣組合
- 入間郡佛教會入間川支會
- 赤心報國團
- 有限大同信用組合
- 天理教比企郡支會
- 有限槻川村信用組合
- 埼玉縣佛教々化團
- 盤雪會
- 有限幡羅信用購買組合
- 天理教北埼玉郡支會
- 有限加須信用組合
- 湖止佛教團
- 日勝村教育會
- 天理教北葛飾郡支會
- 淨土宗埼玉教區社會事業協會

- 入間郡佛教會
- 飯能自分會
- 加須町矯風會
- 大塚實行會
- 東武佛教會
- 有限津村信用販賣購買組合
- 越ヶ谷日本基督教會
- 有限豐田村信用組合
- 責任成村戶主會
- 天理教秩父郡支會
- 有限戶ヶ崎生活改善申合組合
- 北葛飾郡佛教會
- 天理教川越市支會

主ナル役職名並其氏名

- 會長 田島義士
- 副會長 井田完二
- 同 田中四一郎
- 常務理事 三浦清翁
- 幹事 中村孝太郎
- 同 黒澤三郎
- 書記 新井愛一

資産(種目別)  
基本金 百五十圓

維持方法

特志家ノ寄附金及加盟團體ノ負擔金

- 昭和二年度豫算額 歳入 一、二五四、〇〇
- 昭和二年度決算額 歳入 一、四一九、六二
- 昭和三年度豫算額 歳入 一、〇四三、八六
- 獎勵金並補助金下附ノ有無 歳出 二、三二〇、〇〇
- 金百圓 昭和二年度 内務省
- 金三百圓 同 縣

名稱 日本弘道會豐岡支會

事務所所在地 入間郡豐岡町公會堂内  
創設年月日 明治二十七年三月十七日  
經營主體又ハ代表者 代表者 築田武平  
沿意概要



明治二十六年ノ秋開祖故文學博士西村茂樹先生道德講演  
ノ爲來町セラレタルニ起因シ翌二十七年三月十七日黒須  
支會ヲ創設シ時ノ黒須高等小學校校長發智庄平支會長タリ  
明治四十三年豊岡支會ト改稱シ副支會長タリシ繁田武平  
支會長ニ推サレ今日ニ至ル

目的及事業種類

- イ、目的 明治九年故文學博士西村茂樹先生ノ創立セラレタル日本弘道會ノ主旨ニ遵ヒ地方人士ノ道德ヲ進メ社會ノ美風ヲ興スニ在リ
- ロ、事業
  - 一、道德講究、道德ヲ研究シ眞理ヲ明ニス
  - 二、道德調査、思想其他道德問題ヲ調査ス
  - 三、興風正俗 美風ヲ興シ汚習ヲ改ム
  - 四、道德講演、常集會ヲ開キ道德ノ講演ヲナス
  - 五、通俗講話、通俗講話會ヲ開キ一般世人ノ善導ヲナス

會員數及分布狀況

イ、會員 百七十八人

ロ、豊岡町ヲ中心ニ附近町村ニ及フ

主ナル役職名並其氏名

- 支會長 繁田武平
- 副支會長 桑田源次
- 專任幹事 砂長彦四郎
- 維持方法

豊岡積善會ヨリノ交付金及其他ノ收入ニヨル  
昭和二年度豫算額 六五八、三〇  
昭和二年度決算額 六五八、三〇  
昭和三年度豫算額 六八五、五〇

\*\*\*\*\*

名稱 有限責任潮止信用組合

事務所所在地 南埼玉郡潮止村大字伊勢野六百七十二番地

創設年月日 明治三十六年四月十日

經營主體又ハ代表者 組合長 理事 田中四一郎

沿革概要

明治三十六年四月設立、大正四年一月ヨリ救濟事業實施  
同六年一月ヨリ修德事業實施、昭和二年埼玉縣教化團體  
聯合會ニ加盟、昭和三年度ヨリ大廟參拜事業實施

目的及事業種類

- イ、目的 經濟ト道德トノ調和發達ヲ期シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- ロ、事業
  - 一、共存同榮ノ實ヲ舉クルコト
  - 二、組合員及其家族ノ道義ヲ増進セシムルコト
  - 三、教化事業ノ聯合提携ヲ圖ルコト
  - 四、教化事業ノ獎勵助成ヲナスコト

會員數及分布狀況

組合員 四百九十二名 並其家族

主ナル役職名並其氏名

- 組合長理事 田中四一郎
- 理事 佐藤國藏
- 同 宋倉光太郎
- 同 柳田貞三
- 同 遠田源左衛門
- 同 臺隆次郎
- 同 秋山宗四郎
- 同 織田三郎
- 同 修德講師(神職) 恩田榮吉
- 同 (僧侶) 清水義昌
- 同 金子義秀
- 同 應野保源

資産(種目別)

二萬七千三百七十四圓八十一錢

\*\*\*\*\*



名稱 有限責任 與野信用販賣購買組合

事務所所在地 北足立郡與野町

創設年月日 明治三十六年九月

經營主體又ハ代表者 代表者 井原貞亮

會員數及分布狀況

會員數 三二二名

\*\*\*\*\*

名稱 有限責任 大石信用販賣購買組合

事務所所在地 北足立郡大石村

創設年月日 明治三十七年一月

經營主體又ハ代表者 代表者 矢部家治

會員數及分布狀況

組合員 五六一名

\*\*\*\*\*

名稱 原谷村信用購買組合

事務所所在地 秩父郡原谷村大字大野原二、九八七

創設年月日 明治三十八年十二月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 町田嘉之助

沿革概要

明治三十八年十二月一日組合設立

大正二年十月十六日産業組合埼玉支會ヨリ表彰セラレ

大正四年五月五日産業組合中央會ヨリ表彰セラレ

昭和二年埼玉縣教化團體聯合會へ加盟ス

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖リ併セテ生

活ノ改善及共濟事業ヲ行ヒ以テ共存共榮ノ實

ヲ舉クルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、組合員ノ思想善導及生活ノ改善向上ヲ圖

ル爲メ生業資金貸付ノ標準ヲ左ノ各項ニ據リ

評定シ常ニ督勵ヲナス

1 家庭ハ圓滿ナルヤ否ヲ調査シ十點ヲ以テ

滿點トス

2 他人ニ對シ不都合ノ事ナキヤ否ヲ調査シ

十點ヲ以テ滿點トス

3 家業ヲ勵ミ其業ニ精勵セルヤ否ヲ調査シ

五十點ヲ以テ滿點トス

4 身分相應ナル生活ヲナシ華奢ノ風ナキヤ

否ヲ調査シ十點ヲ以テ滿點トス

5 社會共榮ノ爲メニ盡力スルヤ否ヲ調査

シ二十點ヲ以テ滿點トス

二、 組合員相互共濟ノ目的ヲ以テ居宅ノ燒

失組合員及家族ノ死亡等ノ節總組合ヲ代

表シ組合員ヨリ共濟金ヲ贈ルコト

三、 教化事項ノ聯合提携ヲ圖ルコト

四、 教化事業ノ獎勵助成ヲナスコト

五、 教化ニ關スル印刷物ヲ配付スルコト

(六) 教化事業振興ニ關スル施設ヲ講スルコ

ト

(七) 其他必要ナル事項

會員數及分布狀況

村內現在戶數六百八戸ノ内組合ニ加入セルモノ五百六十二名ニ

シテ九割以上ノ加入アリ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

理事 町田嘉之助 同 高橋吾助

同 萩原佐紋治 同 淺見佐平

同 堀口貞治郎 同 福島金平

同 齋藤清三

監事 大野榮一 同 宮崎鶴五郎

同 齋藤精 同 三友卯九吉

同 田口助次郎

ロ、職員



主事 北 太鹿 事務員 大野輝之助

資産(種目別)

- 一、純資産 六萬九千八百八十四圓二十一錢
- 二、建物 八千九百圓
- 三、什品 三百三十圓

維持方法

組合經費ノ内ヨリ支出ス

\*\*\*\*\*

名稱 平信用購買販賣組合

事務所所在地 比企郡平村

創設年月日 明治三十九年十月

經營主體又ハ代表者 代表者 峰 岸 信 作

會員數及分布狀況

組合員數 四一六名

昭和二年三月二日産業組合法改正ニ伴ヒ定款變更許可セラレ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト

二、産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ購入シ組合員ニ賣却スルコト

三、組合員ノ生産シタル物ヲ販賣スルコト

本組合ハ組合員ニ對シ其ノ經濟ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フ

會員數及分布狀況

本組合區域内全戸數五百九十六戸

内組合員ニ加入者五百四十一人ナリ

主ナル役職名並其氏名

理事 尾崎 忠七 同 宮澤 文平

\*\*\*\*\*

名稱 有限責任堀兼村信用購買販賣組合

事務所所在地 入間郡堀兼村大字堀兼千二百二十二番地

創設年月日 明治三十九年十二月六日

經營主體又ハ代表者 代表者 尾崎 忠七

沿革概要

明治三十七年十二月十七日堀兼村信用組合設立ノ許可ヲ得タルモ日露戰役ノ爲メ中止セシヲ明治三十九年十二月ヨリ實行ス

明治三十九年七月同組合ヲ販賣組合ト變更ス

大正元年八月二十九日同組合ノ加工ヲ削除ス

大正七年五月十一日同組合ヲ購買販賣組合ト變更ス

大正十年二月十四日理事監事増員ノ定款變更ス

大正十一年三月十日定款全部ヲ變更ス

理事 平 沼 正 三 同 室 岡 林 平

同 諸 口 慶 次 郎 同 奥 富 伊 三 郎

同 高 橋 久 治 郎 同 落 合 男 喜 三

同 監 事 奥 富 英 之 祐 同 室 岡 彦 治 郎

同 同 國 田 直 次 郎 同 市 川 治 三 郎

書記 森 田 代 助

資産(種目別)

一、基本金 一萬六千四百十四圓

二、建物土藏 一千四百圓

三、器具、其ノ他物品 一百五十三圓

合 計 一萬七千九百六十七圓

維持方法

貯金、貸金ノ利益、購買販賣歩合

昭和三年度決算額

歳入 一六、八〇五、七二八

歳出 一四、六一〇、五八三



差引 二、一九五、一四五  
此ノ處分

五五〇、〇〇〇 準備金  
二八八、一八〇 組合員、六分配當  
一〇二、〇六〇 受入利息特別配當  
一二五、八六〇 支拂利息特別配當  
九二、〇〇〇 購買代金特別配當  
五二五、〇〇〇 役員報酬  
二〇〇、〇〇〇 役員賞與  
三一、〇四五 翌年度繰越金

名稱 佛教傳道會

事務所所在地 比企郡高坂村

創設年月日 明治四十年十二月七日

經營主體又ハ代表者 代表者 林 潤 龍

名稱 幡羅信用購買組合

事務所所在地 大里郡幡羅村

創設年月日 大正二年一月

經營主體又ハ代表者 栗原利三郎

會員數及分布狀況

組合員 四六二名

名稱 中條村教化團體

事務所所在地 北埼玉郡中條村

創設年月日 大正二年十月

經營主體又ハ代表者 代表者 樋口 忠 家

目的及事業種類

講演、消費節約勵行、貯蓄獎勵

\*\*\*\*\*

目的及事業種類

講演、圖書配布、講話、地方改善ト精神作興、教育事業  
助成

名稱 埼玉縣神職會

事務所所在地 北足立郡大宮町氷川神社々務所

創設年月日 明治四十四年四月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 安原 舜 一

目的及事業種類

講習會、講演會、講師派遣會報發行

會員數及分布狀況

會員數 四〇一名

\*\*\*\*\*

名稱 北埼玉郡加須町矯風會

事務所所在地 北埼玉郡加須町役場

創設年月日 大正二年十月三十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 關 口 藤 吉

沿革概要

大正天皇御即位ノ大典ヲ記念センカ爲メ成申詔書ノ御趣旨ニ基キ勤儉ヲ勸メ冗費ヲ省キ基本財産ヲ蓄積シ小學校教育ノ完成ヲ期セントシ大正二年十月二十三日町會議員軍人分會役員農會役員商工會幹部ノ協議會ヲ開キ加須町矯風會ヲ起スコトニ協議一決シ同月二十六日伍長會議ヲ開催シ同會ヲ組織スルコトニ決シ同年十月三十一日天長節祝日ニ設立シ以テ今日ニ至レリ

目的及事業種類

一、目的 基本財産ヲ蓄積シ其ノ利子ヲ以テ小學校教育費ノ充當ヲ期スルニアリ

一、事業 目的達成上必要ナリト認メラルル事項



會員數及分布狀況

戶數千二戸ニシテ加須町住民全部

主ナル役職名並其氏名

會長 町長 關 口 藤 吉  
 委員長 有 山 勝 藏  
 同 岡 只 三 郎  
 同 根 岸 耘 平  
 同 神 澤 直 三 郎  
 同 野 村 保 之 輔  
 同 野 本 市 郎 治  
 同 堀 越 龜 次 郎

資産(種目別)

基本金 六千三百五十四七十七錢

維持方法

寄附金及基本金ノ利子及其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度決算額 歳入 九六〇、〇〇  
 歳出 九六〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 八二二、一四  
 歳出 八二二、一四

昭和三年度決算額 歳入 七四五、〇〇  
 歳出 七四五、〇〇

名稱 豊岡町信用購買販賣利用組合

事務所所在地 入間郡豊岡町

創設年月日 大正二年十一月

經營主體又ハ代表者 代表者 繁 田 武 平

\*\*\*\*\*

名稱 曲輪同志會

事務所所在地 大里郡吉岡村字萬吉六十二番地

創設年月日 大正三年一月

經營主體又ハ代表者 代表者 田 島 守 一

沿革概要

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 田 島 守 一  
 副會長 德 泉 伊 重  
 幹事 小 島 重 一  
 同 丹 羽 要 助  
 同 中 島 半 十 郎  
 同 中 島 孝 之  
 同 内 田 春 治  
 同 田 島 榮 藏  
 同 久 保 田 久 策  
 同 田 島 四 郎 次  
 同 田 島 喜 之 助

資産(種目別)

基本金 百五十圓

繩製造機 二臺

嘗ツテ曲輪内人々相寄り水稻ノ鹽水探ヲ行ヒタルコトアリ會々其ノ浮實ヲアツメテ賣却シタル金ノ小額ナル故各自ニ分配スルホトニモ達セザリシヨリ是ヲ如何ニセンカノ議起リ次テ曲輪出身者ノ持田氏ヨリ文庫ノ寄贈アリ茲ニ始メテ曲輪同志會ヲ組織スル事トナリヌ而シテ協議ノ結果會則ヲ作製シ勤儉貯蓄知識ノ向上風規ノ矯正ノ三目的ヲ掲ケテ本同志會ヲ組織以ツテ一糸亂レス今日ニ及フ

目的及事業種類

大正三年一月創立當初ヨリ繼續シテ左ノ事業ヲ行フ

繩ノ貯蓄(中心事業)

方法、毎戸毎月十房宛手製シテ醸出時價ニ賣却シテ其ノ

金ヲ貯蓄ス

會員數及分布狀況

曲輪同志會ハ曲輪内三十四戸ノ戸主ヲ以テ組織シ其ノ中ヨリ會長一名副會長一名幹事九名ヲ役員トシテ選出ス其ノ後顧問二名ヲ推薦ス



團體所有ノ資産ハ右ノ通りタルモ共同貯金額ハ左ノ如シ

勸業債券 三百四十圓  
 摺貯貯金 五百圓  
 共同票圖 二反歩  
 御大典紀念貯金 三千圓

維持方法  
 會費

昭和二年年度豫算額 六四、〇〇  
 昭和二年年度決算額 六四、〇〇  
 昭和三年年度豫算額 六六、〇〇  
 獎勵金並補助金下附ノ有無  
 獎勵金 五圓吉岡村信用組合ヨリ昭和三年二月十一日

\*\*\*\*\*

名稱 有限責任 埼玉縣信用利用組合聯合會

事務所所在地 北足立郡浦和町百十番地

創設年月日 大正三年十二月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 理事 會長 田中四一郎  
 沿革概要

縣下産業組合ノ發達ニ伴ヒ之カ金融連絡ノ機關ヲ必要ト  
 スル際偶明治四十三年産業組合法ノ改正ハ其聯合會ノ設  
 立ヲ認メラルルヤ翌年三月産業組合中央會埼玉支會通常  
 總會ニ縣ヲ區域トスル信用組合聯合會設立ノ議ヲ提出シ  
 タルニ委員附託トナリ次テ四十五年三月同支會ノ通常總  
 會ニ於テ之ヲ設置スヘキ旨ノ報告アリ超エテ大正二年十  
 月縣下産業組合大會ハ全會一致ノ力促進ノ決議ヲナスト  
 同時ニ發起組合ヲ定メタリ別ニ同三年一月ニ至リ視察員  
 二名ヲシテ先進聯合會ノ調査ヲナサンメ其十一月六日始  
 メテ設立許可申請ノ手續ヲ爲シタリ

目的及事業種類

左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス  
 一、所屬組合及所屬聯合會ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯

金ノ便宜ヲ得セシムルコト

- 一、産業組合中央金庫法ニ依リ産業組合中央金庫ノ業務ヲ代理スルコト
- 二、産業組合中央金庫又ハ勸業銀行ニ對シ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲メニ債務ノ保證ヲナスコト
- 三、前號ニ依リ債務ノ保證ヲナシタルトキハ産業組合中  
 央金庫又ハ銀行委任ヲ受ケ債權ノ取立ヲ爲スコト
- 四、所屬組合及所屬聯合會ヲシテ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト

會員數及分布狀況

縣下一圓

主ナル役職名並其氏名

理事 會長 田中四一郎  
 專務理事 森田熊吉  
 理事 小林辰藏  
 町田嘉之助

理事 長谷川宗治

同 金子助五郎  
 同 内野武  
 同 染谷保次郎  
 同 矢部家治  
 同 河田十郎三  
 同 渡邊多傳司  
 同 金子善兵衛  
 同 鈴木梅太郎

資産(種目別)

拂込未済出資金 一五、二五〇、〇〇〇  
 貸付金 七二五、六四〇、一四〇  
 建物及什器 一四、〇〇〇、〇〇〇  
 有價證券 九五六、七七〇、四〇〇  
 中央金庫出資金 二〇、〇〇〇、〇〇〇  
 各種預ケ金 一、五七三、〇〇三、三九〇  
 債務保證見返 一、九六七、八〇〇、〇〇〇



休業銀行勘定 三七、八二六、二七〇  
 假 拂 金 四、六六八、八三〇  
 合 計 五、三一四、九五九、〇三〇

但以上昭和三年三月三十一日現在

維持方法

出資金其他各種貯金ノ運用ニ依ル收入ニ依ル  
 昭和二年度豫算額 一六、五一五、〇〇  
 昭和二年度決算額 一六、三四一、九八  
 昭和三年度豫算額 一五、一七三、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 藤田村信用購買販賣組合

事務所所在地 兒玉郡藤田村

創設年月日 大正五年四月

經營主體又ハ代表者 代表者 内野 武

會員數及分布狀況

紀ノ改善、感化救済ノ事業等

會員數及分布狀況

イ、五百人

ロ、全村各部落

主ナル役職名並其氏名

イ、團長 田 中 四 一 郎  
 主事 金 子 義 秀

ロ、評議員 二十人

維持方法

必要ニ應シ各公私團體及其他ノ寄附ニヨリ支辨ス

\*\*\*\*\*

名稱 有限責任大岡信用組合

事務所所在地 比企郡大岡村

創設年月日 大正六年二月

組合員 五〇九名

\*\*\*\*\*

名稱 潮止佛教團

事務所所在地 潮止村役場内

創設年月日 大正六年二月九日

經營主體又ハ代表者 代表者 田中四一郎

沿革概要

民心ノ物質的方面ニノミ進ミ信念ノ修養ヲ疎ンスルノ傾キアルヲ慨シ村内有力者並ニ村内各寺院協議ノ結果其普及徹底ヲ圖リ團則ヲ設ケ以テ創立セリ

目的及事業種類

イ、本團ハ國民精神ノ作興兼テ風教ノ醇厚ヲ圖ルヲ以テ  
 目的トス

ロ、村内各公私團體ト聯絡シ自治ノ發展教育ノ振作、風

經營主體又ハ代表者 代表者 森 田 熊 吉

\*\*\*\*\*

名稱 有限責任金子村信用購買組合

事務所所在地 入間郡金子村大字西三ツ木百八番地

創設年月日 大正六年三月三日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 産 業 組 合  
 ロ、代表者 市 村 高 彦

沿革概要

大正六年三月三日創立爾來組合ハ順調ニ發達シ  
 大正十五年八月七日産業組合中央會ヨリ表彰セラル

目的及事業種類

一、産業組合中信用及購買事業ヲ行フ  
 二、教化事業トシテハ組合員ノ訓練並ニ村主婦會ニ對ス



ル援助

會員數及分布狀況

全村戸數七百三十四戸ニシテ組合員ハ七百四十二人ナリ即一戸ヲ構フル者ニシテ加入セサルモノハ僅カニ二十三戸ニ過キス

主ナル役職名並其氏名

理事 組合長	市村 高彦
理事	坂本學之助
同	上原平十郎
同	中島重藏
同	長澤龜松
監事	野村辰五郎
同	比留間喜一
同	神山榮三郎
同	桑田源次

資産(種目別)

出資金 三萬九千八百十圓

準備金 一萬六千三百九十五圓一錢

特別積立金 六千五百八十四圓七十一錢五厘

合計金 六萬二千七百八十九圓七十二錢五厘

維持方法

産業組合カ副事業的ニ行フモノナレハ別ニ維持方法ヲ立ツルノ必要ヲ認メス

\*\*\*\*\*

名稱 入間郡佛教會鶴瀨支部

事務所所在地 入間郡鶴瀨村大字鶴馬

創設年月日 大正六年五月六日

經營主體又ハ代表者

代表者 大谷亮溪

沿革概要

大正六年入間郡佛教會ヲ設立大正九年支部ヲ設立セリ

目的及事業種類

聖旨ヲ奉體シ國民精神ノ作興ニ務ム

會員數及分布狀況

入間郡行政區ニ從ヒ鶴瀨行政區内寺院

主ナル役職名並其氏名

三芳村大字下富多福寺	柳澤 玄藤
大井村 徳性寺	鷲田 亮源
福岡村 藥王寺	中村 鶴乘
南畑村 金藏院	石渡 宥興
宗岡村 千光寺	中村 宥專
水谷村 大應寺	福永 智壽

維持方法

會員ノ會費

佛教會支部ヲ以テ加盟セシナリ

\*\*\*\*\*

名稱 兒玉郡佛教會

事務所所在地 兒玉郡本庄町元郡役所内

創設年月日 大正六年七月

經營主體又ハ代表者 代表者 上山 是道

沿革概要

明治二十七八年ノ頃郡内各宗寺院ヲ以テ扶護會ヲ組織シ  
専ラ出征軍人家族扶護ニ努メ傍ラ經木眞田ノ事業ヲ開始  
セシモ講和ト共ニ中絶。明治四十年本庄町ニ無料宿泊所  
ヲ設置セシモ數年ナラスシテ廢止ス。大正六年七月扶護  
會ヲ佛教會ト改稱シテ今日ニ至ル。

目的及事業種類



イ、目的 佛教ノ本旨ヲ奉體シ尊王護國ノ大義ニ基キ專ラ國民思想ノ善導向上ヲ計ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 ハ全國ニ亙リ其他前條ノ目的達成上必要ナリト認メラル、事項

會員數及分布狀況

會員ハ郡内各宗寺院住職約百名郡内ニ六支部ヲ設ク

主ナル役職名並其氏名

専務理事 上山 是道  
 理事會計 吉田 晃尊  
 理事 吉田 純光  
 同 益田 立澄  
 同 篠原 宗重  
 同 水上 秀岳  
 同 本藤 磯洲  
 同 松永 廣昭  
 同 新井 大喜

理事 高木 眞淨  
 同 金井 祖孝  
 同 山田 光雄  
 以上

維持方法

同會員ヨリノ會費ニテ維持ス

昭和二年度決算額  
 歳入 四二三、〇八〇  
 歳出 二二二、〇四〇  
 昭和二年度決算額 歳出 一二三、九一〇

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人樋口村信用組合

事務所々在 秩父郡樋口村大字野上下郷九百二十一番地

創設年月日 大正七年二月一日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 財團法人  
 ロ、代表者 宮澤良吾

沿革概要

大正七年二月一日有限責任樋口村信用組合設立ノ件許可セラル

當時加盟組合員數三百三十一人持株數一千百十口一口金一圓ヲ拂込ミ此金一千百十圓也同年三月二十九日貸付取扱ヲ開始セリ

爾來加盟者逐年増加シ隨テ貯金モ漸々増大シ昭和三年度ニ於テ準備積立金ヲ拂込ニ振リ向ク資本金ヲ倍額トシ其他同年度ヨリ五分ノ割當ヲナセリ現在ノ出資總額二萬三千六十二圓諸積立金一萬四百八十七圓貯金十四萬九千三百四圓トナリ彌々堅實ニ發展シツツアリ

目的及事業種類

イ、目的 産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ貯金ノ便宜ヲ得セシムルヲ以テ目的トス

ロ、事業 組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者團體又

ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ノ貯金ヲ取扱フ

會員數及分布狀況

本組合加盟員數 三百五十五人

主ナル役職名並其氏名

組合長 宮澤 良吾  
 理事 染野 堯好  
 同 染野 民三郎  
 同 野原 辨吉  
 同 林 才作  
 同 新井 定三郎  
 同 瀧上 愛三郎  
 同 石井 今吉  
 同 淺見 爲作  
 同 野口 仁三郎

資産(種目別)



基本金 三萬五千九十五圓  
 建物 三千一百圓  
 器具其他物品 七十圓  
 維持方法 組合員ノ出資金及貯金等ヲ貸付シ之レヨリ收入セル金額ヲ以テ

昭和二年年度決算額 總益金 一六、三、一五、八三五  
 總損金 一、二、九四、八三〇  
 昭和三年年度決算額 總益金 一、五、七三三、二五〇  
 總損金 一、六、七五、〇九〇

名稱 宗岡村信用購買販賣組合  
 事務所所在地 入間郡宗岡村  
 創設年月日 大正八年三月  
 經營主體又ハ代表者 代表者 内田泰助

\*\*\*\*\*

名稱 山田村風俗改良團

事務所所在地 入間郡山田村大字山田百六十一番地  
 創設年月日 大正八年四月一日  
 經營主體又ハ代表者 代表者 村長 小高榮吉

沿革概要 風俗改良團組織以來役職員ハ極力團員ノ指導實行ニ勤メタル結果區域内一般着々實績ヲ上クルニ至レリ

目的及事業種類 大正七年十二月十七日縣告諭第五號ノ趣旨ニ依リ時間ヲ確守スルコト冠婚葬祭ノ費用ヲ節約スルコトノ二事項ノ實行ヲ期ス

種類 講演會、懇話會  
 會員數及分布狀況 四百六十六名 村内一般

主ナル役職名並其氏名 團長 山田村長 小高榮吉

副團長 同助役 山口嘉重郎  
 維持方法 村内有志ノ寄附ニ依リテ維持ス其他團員割

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 昭和二年 寄附金 十圓  
 同 三年度 同 十圓

\*\*\*\*\*

名稱 天理教埼玉聯盟會入間郡東部支會  
 事務所所在地 入間郡入間川二千二百四十九番地  
 創設年月日 大正八年四月十日  
 經營主體又ハ代表者 代表者 堤孫次郎

沿革概要 入間郡教友會トシテ設立セシモ時代ノ進化ニ伴ヒ更ニ埼玉聯盟會ノ組織ニ伴ヒ社會教化ノ任ヲ全フセンコトヲ圖リ埼玉聯盟會ノ支會トナリ昭和二年四月活動ヲ速進セン

カタメ郡内ヲ二分シ以後入間郡東部支會トナリ又  
 目的及事業種類

- 一、毎月一回巡廻購演ヲナス
- 二、時期ニ應シ路傍講演活動寫眞ヲナス
- 三、子供會ヲ設立シ兒童修養機關トス
- 四、九十歳ノ高齢者ノタメニ敬老會ヲ開ク
- 五、郡内ノ火災者ニ對シ見舞金ヲ呈ス
- 六、郡葬町村葬ニ對シ王申料ヲ呈ス
- 七、貧困者ニ對シ隨時見舞ヲスルコト

會員數及分布狀況 一、會員數 百名  
 二、分布狀況 二十一ヶ町村

主ナル役職名並其氏名 支會長 堤孫次郎  
 部長 市川竹次郎  
 同 大館喜代十郎



資産(種目別)

百圓

維持方法

役員及篤信者ノ寄附行爲ヲ以テ維持ス

昭和二年年度決算額 四〇〇、〇〇〇

昭和二年年度決算額 三五〇、〇〇〇

昭和三年年度決算額 四〇〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名 稱 大塚耕地實行會

事務所所在地 北埼玉郡利島村一六一二

創設年月日 大正八年五月七日

經營主體又ハ代表者 代表者 小室彦太郎

沿革概要

深ク時勢ニ鑑ミルトコロアリ大正八年五月之ヲ創設セリ

爾來會員ハ父子兄弟ノ覺悟ヲ以テ目的事業ニ對シ最善ノ

努力ヲナシツツアリ、即チ其ノ間、時間ノ勵行ヲススメ  
節約ヲ主トシ之ニ依リテ救助資金、並ニ慰安資金ノ充實  
ヲ計リ、罹災者ノ救助、道路改修ニ對スル寄附、勞務互  
助、神社基本金ノ寄附、學校基本金寄附等ヲナセリ  
依テ去ル大正十五年十月三十一日ノ利島村長ヨリ表彰セ  
ラルルト共ニ金一封ヲ給ハリタリ  
更ニ

昭和三年六月十日生活改善同盟會長伊藤博邦公ヨリ表彰  
狀並ニ時計ヲ給ハリタリ

目的及事業種類

イ、目的 時弊ヲ匡正シ、冠婚葬祭ノ費ヲ節シ協同、親  
睦、勤儉力行、ノ美風ヲ涵養スルニ在リ

ロ、事業 一、時間ノ勵行 二、節約 三、貯蓄(一)救

助資金(二)慰安資金

四、勞務互助

五、公益、慈善事業

會員數及分布狀況

十八名

主ナル役職名並其氏名

會長 小室彦太郎

會計 山岸植一郎

資産(種目別)

五十八圓五十錢 郵便貯金

維持方法

會員ノ自發的寄附

昭和二年年度決算額 一七、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名 稱 埼玉縣入間郡佛教會

事務所所在地 川越市喜多町廣濟寺内

創設年月日 大正八年七月二十七日

經營主體又ハ代表者

代表者 笠松仙英

沿革概要

大正八年七月二十七日大戰後民力涵養ノ叫ハルルヤ郡内  
寺院會合シテ郡長村松武美氏ヲ會長ニ推シ創立セラルル  
郡内寺院三百三十四ヶ寺入會郡制ノ廢止ト共ニ會長制ヲ  
廢シ理事制度トナス

目的及事業種類

イ目的、 民力涵養、國民精神作興、保育教ヲ以テ目的  
トシ

ロ、事業 一、講演ヲ開催スルコト

一、教化ニ關スル行政調査、研究

一、保育事業ノ研究

一、教化事業ノ連絡ニ關スルコト

一、其ノ他必要ノ事項

會員數及分布狀況

埼玉縣入間郡一圓

寺院全部

所澤支會

越生支會



坂戸支會 豐岡支會  
 鶴瀨支會 飯能支會  
 入間支會 川越支會

主ナル役職名並其氏名

常任理事 笠松 仙英  
 理事 大塚 教識  
 同 宇田川 玉瑞  
 同 岡本 玄透  
 同 喜多濃 泰道  
 同 土屋 東州  
 同 大谷 亮溪  
 同 佐々木 良善

資産(種目別)

三百五拾圓

維持方法

會費、寄附金ニ依ル

昭和二年度豫算額 三〇〇、〇〇〇  
 昭和二年度決算額 三〇〇、〇〇〇  
 昭和三年度豫算額 三〇〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 佛教青年會

事務所々在地 大里郡中瀬村四一〇番地

創設年月日 大正八年十月二十六日

經營主又ハ代表者 代表者 三崎 良泉

沿革概要

上宮太子ノ十七條憲法、歷朝ノ聖訓下ツテハ佛教大師ノ守護國界章意ヲ規範トシ大乘乘佛教ノ教意ヲ以テ現代ノ世局ニ善處セシメントシテ本會ヲ設立セリ、爾來之ヲ布行スル爲ニ中瀬子供會或ハ主婦會或ハ産業宗教合一ノ爲ニ蠶供養會ヲ營ミテ宗教産業ノ兩講話ヲ併設シテ資生産業皆之レ實相ナル旨ヲ證明スルナト共事業一ニ非スト雖

而モ年ト共ニ牛歩ナカラ漸々發達シツツアリ

目的及事業種類

イ、目的 上宮太子ノ十七條憲法、歷朝ノ聖訓ヲ奉シテ傳教大師其他各刊祖ノ教意ヲ布演スルヲ以テ眼目トナス

ロ、事業

- 一、青年以上ノ者ノ爲ニ佛 教青年會月、一
- 二、少年ノ爲ニ 中瀬子供會、月、二
- 三、主婦ノ爲ニ 中瀬主婦會、年、一
- 四、書道ノ爲ニ 天狗書道會、週、一
- 五、産業ノ爲ニ 蠶供養講演會、年、一
- 六、佛典講讀ノ爲ニ 佛典讀誦會、月、三
- 七、會報 「正命」ノ發行月、一

會員數及分布狀況

會員合計 一千百八十七名

中瀬村ヲ中心トシテ隣村新會、八基大寄、明戸ノ四ヶ村及群馬

縣新田郡世良田村及佐波郡島村方面ニモ多少會員散在セリ

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 三崎 良泉  
 理事 小暮 豊吉  
 同 田村 文太郎  
 同 石川 五郎平  
 同 石川 元助  
 同 井上 忠  
 同 西田 正一  
 主任理事 齋藤 明次郎  
 會計 井上 八郎  
 顧問 齋藤 安雄  
 同 河田 十郎三



維持方法

- 一、寄附金
- 二、補助金
- 三、吉祥寺支出金

昭和二年度豫算額	歳入	七八〇、〇〇
	歳出	九四一、一一
昭和二年度決算額	歳入	七八三、一一
	歳出	二二
昭和三年度豫算額	歳入	八〇〇、〇〇
	歳出	〇〇
勸奨金補助下附ノ有無(昭和二、三年度) 各同額		
中瀬村ヨリ補助金		七拾圓
同信用組合自置會ヨリ補助金		五拾圓
天臺宗本山ヨリ奨勵金		拾圓
吉祥寺支出金		百圓

名稱 福岡村實用購買販賣組合

事務所所在地 入間郡福岡村

創設年月日 大正八年十二月

經營主體又ハ代表者 代表者 富田澤太郎

名稱 柏原村信用購買販賣組合

事務所所在地 入間郡柏原村

創設年月日 大正八年十二月

經營主體又ハ代表者 代表者 長谷川團三

名稱 有限責任中瀬信用購買販賣利用組合自置會

事務所所在地 大里郡中瀬七二八番地

創設年月日 大正九年一月三十一日

經營主體又ハ代表者

代表者 理事 河田十郎三

沿革概要

大正九年一月三十一日有限責任中瀬信用購買利用組合第十六年度通常總會ニ於テ附屬事業トシテ自置會ヲ設立シ其基金トシテ特別積立金ヨリ金三千五百圓ヲ特別會計トシテ爾後毎年度剩餘金ヨリ相當資金ヲ繰入レ其基本金一萬圓ニ達成ノ件決議セリ

目的及事業種類

イ、目的、一、教化、殖産、互助救済ニ關スル事項  
ロ、事業、種類

講演會、表彰、慰問救済、事務費補助

會員數 四百三人

分布狀況 全村ヲ區域トスル全戸數ハ組合員ニシテ會員タリ

主ナル役職名並其氏名

理事 河田十郎三  
同 齋藤安雄  
同 河田欣三郎

同 河田元助  
同 石川五郎平

資産(種目別)

基本金 七千七百三十三圓四十七錢

維持方法

基本金ノ利子收入及寄附金收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 五四一、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 四八〇、九五

昭和三年度豫算額 歳入 四九五、〇〇

名稱 入間郡佛教會飯能支會

事務所所在地 入間郡高萩村

創設年月日 大正九年四月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 小川宗禪

目的及事業種類



信念涵養、保育教養、公同自治、感化救済

名稱 有限責任横瀬村信用組合

事務所所在地 秩父郡横瀬村千九百九十九番地  
 創設年月日 大正九年五月八日  
 經營主體又ハ代表者

(イ) 經營主體 有限責任横瀬村信用組合  
 (ロ) 代表者 富田嘉作

沿革概要

大正八年ニ時ノ村當局村會議員區長相謀リ村内ニ信用組合無キハ村治ノ發達上偏進スルヲ考慮シ大正九年四月二十九日ニ之カ認可ヲ申請シ大正九年五月八日ニ設立セリ爾來加入者百八十七人増加シ年末ニハ總組合員七百三名ヲ算スルニ至ル年々ノ變更登記ヲ地方長官ヲ托シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 一、産業必要ナル資金ヲ貸付

二、貯金ノ便宜ヲ得セシム

ロ、事業 目的ニ向ヒテ執行スルモノナリ

會員數及分布狀況

七百三人 組合員

全村戸數 七百五十一戸

主ナル役職名並其氏名

役員

組合長	富田嘉作
専務理事	若林卯作
理事	小泉逸作
同	町田七十吉
同	横田傳右衛門
同	加藤嘉平
同	若林増吉

同 加藤 爲造

職員

書記 若林 宗太郎

資産(種目別)

一、資本金 三萬八千八百九十二圓  
 二、建物 三百二十五圓  
 三、器具其他物品 五百五十圓

昭和二年度豫算額	歳入	二、二〇〇、〇〇〇
	歳出	二、〇〇六、四一〇
昭和二年度決算額	歳入	二、〇〇六、四一〇
	歳出	二、〇〇六、四一〇
昭和三年度豫算額	歳入	二、五〇〇、〇〇〇
	歳出	二、五〇〇、〇〇〇

名稱 天理教北埼玉郡支會

事務所所在地 埼玉郡鴻巣村大字牛重三三〇天理教牛重支

教會内

創設年月日 大正九年九月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 小坂要藏

目的及事業種類

感化、救済、敬老、弔慰

會員數及分狀況

北埼玉郡一圓教會ノ信徒及有志者

主ナル役職名並其氏名

天理教牛重支教會長

支會長 小坂 要藏

天理教忍町支教會長

理事 鈴木 清七

維持方法

郡内教會負擔及有志ノ寄附

昭和二年度豫算額 四〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 四〇〇、〇〇〇

昭和三年度豫算額 五〇〇、〇〇〇



名稱 天理教北葛飾郡支會

事務所所在地 北葛飾郡堤郷村

創設年月日 大正九年十月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 岩浪富五郎

目的及事業種類

敬老、救濟、講演、弔慰思想善導

\*\*\*\*\*

名稱 天理教埼玉縣聯盟會兒玉郡支會

事務所所在地 兒玉郡兒玉町大字兒玉二六四番地

創設年月日 大正九年十月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 今井榮八

沿革概要

大正九年十月教育勅語御下賜三十年記念トシテ天理教埼玉縣聯盟會兒玉郡支會トシテ置カレ同十五年七月縣教化

團ニ加盟ス

目的及事業種類

- 一、天理教埼玉縣聯盟會則第三條ニ基キ團體ノ本義ヲ闡明シ國民道德ノ向上ヲ圖リ本教ノ眞價ヲ發揮スル以テ目的トス
- 二、前目的ヲ遂行スルタメ年一回大會並ニ隨時々局ニ對スル講演會ヲ開ク
- 三、縣下各種團體ノ聯合シテ弔慰祭典等ヲ行フ事
- 四、感化救濟事業及其翼賛
- 五、文書傳道
- 六、本會ニ必要ナル施設トシテ敬老會火水難罹災者救護

孝子節婦等ノ表彰

會員數及分布狀況

兒玉郡加盟教會ハ十ヶ所リシテ其ノ名ヲ舉ケレハ左ノ如シ  
 武陽支教會 小島宣教所 武玉宣教所  
 本庄支教會 松久宣教所 東本庄宣教所  
 堀田宣教所 四方田宣教所 兒玉宣教所

東兒玉宣教所

主ナル役職名並其氏名

支會長 今井 榮八  
 部員 川田 八郎  
 同 島崎 貞作  
 同 小茂田 陸藏

維持方法

郡内天理教信徒及有志ノ寄附金ヲ以テ之レニ充ツ

昭和二年度豫算額 歳入 二二三、九〇  
 歳出 二二〇、五〇  
 昭和二年度決算額 歳入 二二四、二〇  
 歳出 二二四、二〇  
 昭和三年度豫算額 歳入 二三五、八〇  
 歳出 二三五、八〇

\*\*\*\*\*

名稱 天理教南埼玉郡支會

事務所所在地 南埼玉郡出羽村七左衛門

創設年月日 大正九年十月三十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 金子喜助

目的及事業種類

敬老會、講演、救濟、弔慰、巡回活動寫眞、民風作興

\*\*\*\*\*

名稱 天理教北足立郡北都支會

事務所所在地 北足立郡上尾町

創設年月日 大正九年十月三十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 橋本 務

目的及事業種類

敬老會、貧困者救濟、弔慰表彰、講演會、講習會、巡回活動寫眞、勞働奉仕

\*\*\*\*\*



氏名 天理教大里郡支會

事務所所在地 大里郡深谷町

創設年月日 大正九年十月

經營主體又ハ代表者 代表者 近藤菊次郎

目的及事業種類

敬老會、貧困者救濟、弔慰表彰、講演會、講習會、巡回活動寫眞、勞働奉仕

\*\*\*\*\*

名稱 天理教入間郡西部支會

事務所所在地 入間郡山根村

創設年月日 大正九年十月

經營主體又ハ代表者 高田艶次郎

目的及事業種類

敬老會、貧困救濟、弔慰表彰、講演會人講習會、

巡回活動寫眞、勞働奉仕

\*\*\*\*\*

名稱 天理教埼玉縣聯盟會秩父郡支會

事務所所在地 秩父秩父町大宮七百十一番地

創設年月日 大正九年十月ノ設立ニシテ會員組織ス

經營主體又ハ代表者 代表者 新井久之助

沿革概要

大正九年十月教育勅語下賜三十年記念トシテ埼玉縣聯盟會組織ニナリ各郡ニ支會ヲ設置シ新井久之助氏秩父郡支會長ニ就任以來事業ノ遂行年々十數件ニ及ヒ年々春季日ヲ選ヒ敬老會記念合傳達式ヲ執行ス

目的及事業種類

秩父郡内ニ散在スル教會及信徒ヲ以テ會員トシ罹災救助等臨時ノ場合ニ於テハ支會長ハ即時部員ヲ招集シ部員ハ各評議員ト協力以テ事業ヲ遂行ス

會員數及分布狀況

秩父郡内十七ヶ所ノ教會信徒ヲ會員トス

主ナル役職名並其氏名

支會長	新井久之助
部員	中畝 熊藏
同	井上 六三郎
同	若林 與作
同	坂本 淺次郎
評議員	郡内各教會ニ一名宛

資産(種目別)

收入	支出
一金三百七十五圓	一金三百七十五圓
内譯	内譯
金一百七十六圓 聯盟會費	金一百二十圓 聯盟會へ納金
金一百三十八圓 寄附金	金一百八十四圓 寄附金弔慰金
金三十五圓 雜收	金五十四圓 公共事業費
金二十五圓 繰越金	金十圓 旅費
金五圓 郵税	

維持方法

經費ニツイテハ郡内教會ヨリ一ヶ所毎月金一圓宛會費ヲ徴收シ之ニ充テ臨時費ハ其都度會議ヲ開キ賛助會員ノ寄附ヲ以テ之ニ充ツ

昭和二年度決算額	歳入	三五〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	三七五、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	三八〇、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 天理教埼玉縣聯盟會

事務所所在地 大里郡深谷町大字深谷三百八十八番地

創設年月日 大正九年十月

經營主體又ハ代表者 代表者 近藤菊治郎

沿革概要

大正九年十月教育勅語下賜三十年記念トシテ埼玉縣下各



教會聯合シテ天理教埼玉縣聯盟會ヲ組織シ各郡ニ支友會ヲ設置セリ

爾事事業ヲ遂行スルコト年々數十件ニ及ヒ其目的ノ實績ヲ舉クルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 國體ノ本義ヲ闡明シテ國民道德ノ向上ヲ圖リ

以テ本教ノ眞理ニ發揮スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、年一回總會ヲ開催ス

二、隨時々局ニ對スル講演會ヲナス

三、感化救濟事業及其翼賛

四、敬老會

會員數及分布狀況

縣下各市郡ニ支會ヲ設置ス

兒玉郡支會 秩父郡支會 比企郡支會

入間郡東部支會 入間郡西部支會 川越市支會

北埼玉郡支會 南埼玉郡支會 北足立郡支會

北葛飾郡支會

主ナル役職名並其氏名

役員

名譽會長 增野 道興

理事 近藤 菊治郎

同 新井 久之助

同 錢 場 佐太郎

同 篠 崎 淺五郎

同 高 野 光太郎

維持方法

聯盟會々費及寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

昭和二年度決算額 歳入 二、〇〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳出 二、一七五、五〇

昭和二年度決算額 歳入 二、二九、六一

昭和三年度決算額 歳入 二、二〇〇、〇〇

昭和三年度決算額 歳出 二、二〇〇、〇〇

名稱 埼玉縣聯盟會比企郡支會

事務所々在地 比企郡松山町大存松山天理教武崎宣教所

創設年月日 大正九年十月

經營主體又ハ代表者 代表者 蓮見和 一郎

目的及事業種類

イ、敬老會

ロ、郡内ノ九十歳以上ノ者ヲ表彰ス

主ナル役職名並其氏名

比企郡支會長 蓮見和 一郎

部 員 近 藤 元 藏

同 山 下 惣 太 郎

維持方法

會費ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 一五六、〇〇

昭和二年度決算額 歳出 一五六、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 一五六、〇〇

昭和三年度決算額 歳出 一五六、〇〇

名稱 戸ヶ崎村生活改善組合

事務所々在地 北葛飾郡戸ヶ崎村

創設年月日 大正十年八月

經營主體又ハ代表者 代表者 堀 切 完 藏

目的及事業種類

年末年始贈答、虛禮廢止、節酒及禁酒斷行、冠婚葬祭

名稱 有限責任秩父町信用組合

事務所々在地 秩父郡秩父町大字大宮千二十六番地

創設年月日 大正十年十一月九日

經營主體又ハ代表者

イ 經營主體 社團法人

ロ 代表者 組合長 淺 見 宇 市



沿革概要

大正十年十一月九日設立大正十一年一月一日ヨリ事業開始昭和四年二月十七埼玉縣教化團體聯合會ニ加盟ス  
目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 社會教化ノ振興ニ關スル施設ヲナスコト、目的達成上必要ト認メラルル事項

會員數及分布狀況

會員募集中

主ナル役職名並其氏名

理事 淺見 宇市  
同 松本 歡九郎  
同 大森 喜右衛門  
同 柿原 萬藏  
同 蘭田 穎助

同 久喜文重郎  
同 井上重一郎  
同 齋藤源太郎  
同 阿保傳次郎

維持方法 組合經費中ヨリ支出ス

\*\*\*\*\*

名稱 淨土宗正樹院報德會

事務所々在地 北足立郡木崎村木崎

創設年月日 大正十一年五月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 松本 武治

目的及事業種類

民力涵養、思想善導信仰ノ確立

會員數及分布狀況

會員數 一二四

\*\*\*\*\*

名稱 有限責任中川村武西信用購買販賣利用組合

事務所々在地 秩父郡中川村大字上田野千四百三十二番地

ノ一

創設年月日 大正十一年七月二十七日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 社 團 法 人

ロ、代表者 新井又四郎

沿革概要

大正十一年二月二十五日本村大字日野千四百一番地有限責任中川村信用購買販賣生産組合第六回通常總會ニ又同年四月三十日同村大字上田野千四百三十二番地ノ一有限責任信用生産販賣組合埼玉社武西組第十二回通常總會ニ於テ何レモ兩組合ヲ合併シ本組合設立ノ決議ヲナシ同年五月三日本縣ニ之レカ申請ヲナシ同年七月二十一日右認

可書下附セラレ同月二十七日臨時總會ヲ開キ本組合ノ設立ヲ了ス當時組合員數三百三十二名ナリシカ以後漸次増加シ現在四百十八名トナリ出資口數千六百六十四口出資總額三萬三千二百八十圓トス

目的及事業種類

一、組合員ノ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシム(信用事業)

二、産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ組合員ニ賣却スルコト(購買事業)

三、組合員ノ生産シタルモノニ加工シ又ハ加工セスシテ之レヲ販賣スルコト(販賣事業)

四、會員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト(利用事業)

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

理事 組合長 新井又四郎

理事 組合長 新井又四郎



理事	宮崎田鶴治
同	山中庄次郎
同	横田島藏
同	井上與市
同	黒澤彌右衛門
同	新井喜三太
口、職員	
技手	町田尊吉
主事	山中次作
書記	横田儀一
同	宮崎武雄
火夫	千島政吉
教婦	横田チヨノ
資産(種目別)	
一、拂込未済出資金	一萬八千四百九十六圓八十九錢
二、中央金庫出資金	一千三百圓
三、聯合會出資金	六千七百六十五圓

四、建物	九千五百四十三錢
五、設備、什器、證券	一萬四千二百六十二圓四十二錢
六、預ケ金	四千二百三十八圓九十二錢
七、貸付金	六萬四千八十九圓九錢
八、立替金	二百六十三圓五十六錢
九、未收入金	五百五十圓
一〇、販賣假渡金	六萬四千七百九圓六十三錢
一一、購買品	二千一百一圓八十一錢
一二、同掛賣金	二千二百五十九圓六錢
一三、現金	一千二百三十三圓六十一錢
合計	十八萬九千三百二十圓十二錢
維持方法	
事業上ノ收入ニヨル	
昭和二年度豫算額	歳入 三二九二〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入 三三、六四〇、〇〇
昭和二年度豫算額	歳出 三〇、一一二、四八
昭和二年度決算額	歳入 三〇、一五〇、〇〇

名稱 秩父佛教同志會

事務所所在地 秩父郡秩父町慈眼寺内  
 創設年月日 大正十一年十一月二十六日  
 經營主體又ハ代表者

- イ、經營主體 各宗聯合
- ロ、代表者 武田慧定

沿革概要

秩父宮殿下大正十一年十一月二十六日秩父町ニ御來秩遊  
 ハサレシヲ永久ニ記念シ奉ランタメ秩父町隣村各宗寺院  
 協議シ秩父佛教同志會ヲ組織シ思想善導ニ向テ共力スヘ  
 キコトニ決ス爾來各種ノ社會施設ヲ行ナヒ國民教化ニ或  
 ハ救済ニ向テ全力ヲ盡シツツアルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ佛教ノ本旨ヲ奉體シ尊皇護國ノ大義ニ  
 基キ專ラ國民思想ノ善導向上ヲ計ルヲ以テ目  
 的トス

口、事業種類

- 一、信念涵養ニ關スル事
- 二、公共自治ニ關スル事
- 三、感化救済ニ關スル事
- 四、會員各寺院ニ人事相談部ヲ設クル事

會員數及分布狀況

- イ、會員數 六十七名
- ロ、分布狀況 一町六ヶ村

主ナル役職名並其氏名

會長	武田慧定
副會長	山中廣稔
相談役	町田大宏
同	香川瑞鳳
同	西有慧觀
理事	町田兼義
同	酒井雲谷







感シ規約ヲ設ケ實行ス

目的及事業種類

イ、目的 本規約ハ成辰詔書ノ聖旨ニ基キ協同シテ時弊ヲ匡救シ去華就實シ美風ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、教化事業ニ關スル調査研究

二、教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト

三、教化事業振興ニ關スル施設ヲ講スルコト

會員數及分布狀況

旭村一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 中村信太郎  
督勵委員區長 岡田藤五郎  
同 岡田八太郎  
同 中村米吉  
同 宮崎徳次郎

督勵委員同 篠原宇平次

同 同 關根新八

同 同 山崎利左衛門

維持方法

各字ノ協議費ニヨリ支出

\*\*\*\*\*

名稱 豊田村生活改善期成會

事務所々在 北葛飾郡豊田村

創設年月日 大正十二年二月一日

經營主體又ハ代表者 野村在定

目的及事業種類

曆及年中行事ノ統一、冠婚葬祭其他一般改善事項

\*\*\*\*\*

名稱 新郷村各宗佛教聯合會

事務所々在 北足立郡新郷村大字峯一、二七六

創設年月日 大正十二年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 内田覺雄

沿革概要

村内各宗寺院住職ノ親交ヲ計リ機ニ應シ適宜協同一致提携シテ佛教徒ノ本分ヲ盡シ思想善導地方風教ノ振展ニ努力セシカ爲ニ新郷村各宗佛教聯合會ヲ設立セリ

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ本旨ニ基キ思想善導ヲ以テ目的トス

ロ、事業 講演會、講和會、戰死病歿者等ノ追悼會、時ノ宣傳其他隨時必要ニ應シ施設計畫ス

會員數及分布狀況

新郷村内十三箇寺院住職ヲ以テ會員トス

主ナル役職名並氏名

會長 内田覺雄

幹事 高橋莊道

同 小泉泰隆

維持方法

會費補助金寄附金ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 九七、六〇〇

和度三年度豫算額 歳入 一〇六、七六〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金七十圓 村ヨリ補助

\*\*\*\*\*

名稱 槻川村信用組合

事務所々在 秩父郡槻川村

創設年月日 大正十二年八月

經營主體又ハ代表者 代表者 高田群次郎

會員數及分布狀況



組合員 一〇六名

\*\*\*\*\*

名稱 國民思想善導映畫教化團

事務所所在地 入間郡越生町字西和田一〇一

創設年月日 大正十二年十一月十日

經營主體又八代表者 代表者 鈴 關 有 範

目的及事業種類

活動寫真、講演講話

\*\*\*\*\*

名稱 横手佛敎子供會

事務所所在地 入間郡高麗村瀧泉寺

創設年月日 大正十二年十一月十八日

經營主體又八代表者

1、經營主體 個人經營  
口、代表者 狹間龍定

沿革概要

大正十二年度	會員 一〇六名
大正十三年度	同 一〇八名
大正十四年度	同 一二七名
大正十五年度	同 一二九名
昭和二年度	同 一一五名
昭和三年度	同 一〇九名

目的及事業種類

1、目的 忠君愛國敬神崇佛ノ思想ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

口、事業 一、毎月第一、第三、ノ日曜日ヲ以テ招集シ

神佛ニ拜禮シ修養法話ヲナス

二、圖書、文藝、研辯、體育、衛生、救護、園藝、工藝、玩具、貯金、等ノ十部ヲ置

キ各實行ニ努ム

三、新年會、會友會、見學旅行、建國祭、天

神講、涅槃講、彼岸會、大師講、花祭、

退會入會式、觀音講、靈祭、水練會、念

佛講、遠足旅行、觀月會、地藏講、發會

記念祭、暮年會等年中行事

會員數及分布狀況

1、會員 一〇九名

口、會友 七二名

ハ、分布 高麗村大字横手

同 大字高麗本郷

同 大字久保

同 大字臺

主ナル役職名並其氏名

役員 顧問 二名 世話人 十三名

會長 狹間 龍定

副會長 關口 數一

副團長 關口 君代

圖書部長 狹間 龍芳

文藝部長 關口 數一

研辯部長 山口 ちよ

體育部長 駒井 伴次郎

衛生部長 新井 金作

救護班長 山口 家教

園藝部長 關口 仙三

工藝部長 木村 良平

玩具部長 岡野 一雄

貯金部長 駒井 光子

資産(種目別)

會旗 一流

時計 一個

維持方法

大體 經營者私出(時ニハ寄附金ヲ募ル事アル)ニヨル



昭和二年年度豫算額	歳入	一〇〇、〇〇
	歳出	一〇〇、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	一二二、〇〇
	歳出	一一一、五〇
昭和三年年度豫算額	歳入	一〇〇、〇〇
	歳出	一〇〇、〇〇

大正十四年三月二十二日埼玉縣入間郡佛教會長正七位勳六等關口類作殿ヨリ置時計一個ヲ贈リ表彰セラレ

名稱外 秩 四 恩 會

事務所所在地 秩父郡大河原村大字御堂淨蓮寺内  
 創設年月日 大正十三年三月二十七日  
 經營主體又ハ代表者  
 イ、經營主體 會員組織、  
 口、代表者 足 立 彌 平  
 沿革概要  
 大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル大詔煥發セ

ラルルヤ、村内寺院各宗村吏員學校職員及有志者ト共ニ聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘキ方法ヲ講シタル結果相互氣脈ヲ通シ共手段トシテ本會ヲ組織シ翌十三年三月二十七日之レヲ設立セリ而シテ隣村槻川村ニモ及ホシ漸次増加シタルモ今日ニテハ久シキニ互リ幾分會員減少セルモ大勢ニ鑑ミ益々鞏固ニ目的ヲ達成セント奮勵努力シツツアリ

目的及事業種類  
 イ、目的 佛陀ノ本願ニ基キ尊王奉佛ノ信念ヲ鞏固ニシ國民精神ノ作興ヲ計ルヲ以テ目的トス  
 口、事業 毎年四月八日釋尊降誕會花祭執行シテ兒童及有志者ヘ布教時々大家ヲ招キ講話及社會事業トシテ隨時托鉢修行ヲナシテ本村小學校兒童用ノ雨傘二百本ヲ寄贈シ亦貧民施與及時間ノ勵行ニ付時ノ宣傳ヲナシ毎月文字布教トシテ雜誌ヲ配付シ居レリ亦時々警察布教ヲナス  
 會員數及分布狀況

目下一百五十名ニシテ大河原村全體及槻川村幾分ニシテ漸次會

主ナル役員名並其氏名

役員	會長	足 立 彌 平
	理事	鈴 關 有 識
	同	西 原 逸 禪
	同	清 水 特 龍
常務理事		奥 澤 智 賢

維持方法  
 會員ノ會費及寄附金等ノ收入ニヨル

昭和二年年度豫算額	歳入	一七三、〇〇
	歳出	一五二、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	一四九、八二
	歳出	一七三、〇〇

名稱 清 和 會

事務所所在地 大里郡折原村大字西ノ入一三三五番地  
 創設年月日 大正十四年一月十八日  
 經營主體又ハ代表者 代表者 石 井 南 嶺  
 沿革概要

思想善導ノ目的ヲ以テ大正十四年一月十八日設立セリ爾來加入者ハ逐次増加シ昭和三年十二月現在ニテ正會員百六十名此ノ戸數百二十八戸折原村大字西ノ入一圓ヲ以テス各戸皆會員タルノ状態ニアリ  
 每春秋總會ニ加フルニ講演會ヲ催シ毎月ニ思想善導ノ目的ニ資スル様雜誌ヲ購求シ會員ニ廻覽セシメツツアリ教化事業ノ實ヲ舉ントスルヲメ昭和三年十二月埼玉縣教化團體聯合會ニ加入セリ

目的及事業種類  
 イ、目的 義勇奉公ノ大義ヲ恭ヒ以テ國恩ニ謝シ並ニ孝道ノ行ヲ盛ニスルヲ以テ目的トス



- 口、事業
- 一、智徳ヲ進メ精神修養ノ向上ヲ期ス
  - 二、勤儉力行ノ美德ヲ盛ニス
  - 三、風氣改善ヲ期ス

會員數及分布狀況

本會正會員ハ區内ノ男子ニシテ十七歳以上三十五歳迄ノ者  
目下 百六十名

主ナル役職名並其氏名

會長	石井南嶺
副會長	本郷宗順
同	尾島秀弘
同	加藤武
同	新井多藏
理事	根岸林藏
同	高橋斧次郎
同	加藤政五郎
同	榎澤文藏

資産(種目別)

一、基本金	六拾圓
二、器具其他物品	五拾圓
三、印刷物	三拾五圓
合計	百四拾五圓

維持方法

寄附金維持講頼母子會補助金及正會員ノ年度會費其ノ他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	一一九、九九五
昭和二年度決算額	歳入	一一九、九九五
	歳出	九一、六〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一四六、五八〇
	歳出	一四六、五八〇

名稱 北足立郡佛教會

事務所所在地 浦和町 玉藏院内

創設年月日 大正十四年五月

経理主體又ハ代表者 代表者 専務理事 朝比奈秀教

沿革概要

北足立郡長小川與之助ノ申出ニ依リ經營小川與之助會長トナリ郡役所内ニ事務所ヲ置ク

郡役所廢止後理事制度ヲ採リ事務所ヲ浦和町玉藏院内ニ置ク

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ本旨ニ基キ尊皇護國ノ精神ヲ作興シ國民道德ノ涵養地方風教ノ振展ヲ圖ルヲ以テ目的トス

- ロ、事業
- 一、鎮護國家ノ祈禱會及萬靈供養會ノ執行
  - 二、國民道德ノ涵養ニ關スル事項
  - 三、自治ノ振興ニ關スル事項

四、講演講話會ノ開催

五、其他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項

會員數及分布狀況

會員 三百十七名

北足立郡全體ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

常務理事	峯尾宗悅
同	小寺高泉
同	須田貫孝
同	内田覺雄
同	目黒靖章
専務理事	朝比奈秀教
支部長	峯尾宗悅
同	須田貫孝
同	大久保良俊
同	村手秀盛



支部長 藤田寬隨  
同 目黒靖章

維持方法 會員除出ノ會費ニ依リ維持ス

昭和二年度決算額	歳入	二四四、〇〇〇
	歳出	二四四、〇〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一八九、四六〇
	歳出	一七〇、七四〇
昭和三年度決算額	歳入	二四一、七〇〇
	歳出	二四一、七〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 埼玉縣佛教文化園

事務所所在地 大里郡熊谷町報恩寺内  
創設年月日 大正十五年一月十五日  
經營主體又ハ代表者 吉洲 皆法  
目的及事業種類 講演會、活動寫眞映寫會

會員數及分布狀況 會員數 五三六名

\*\*\*\*\*

名稱 國民精神振興會

事務所所在地 秩父郡秩父町大字大宮一、一二五番地  
創設年月日 大正十五年一月二十四日  
經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 會員組織  
ロ、代表者 柴原弘道

沿革概要

國民精神振興詔書ノ御趣旨ヲ奉體シ思想善導生活改善ニ向テ進マントシ町民有志ト協議ノ結果大正十五年一月二十四日本會ノ發會式ヲ舉ケ爾來此ノ目的ニ向テ進行シツツアリ

目的及事業種類

イ、目的 國民精神作興詔書ノ御趣旨ヲ宣傳シ以テ思想善導生活改善ヲ以テ目的トス

ロ、事業種類

- 一、巡回講演會 一、各種講習會
- 一、精神修養雜誌ノ配布
- 一、教育活動寫眞會

會員數及分布狀況

イ、會員 五〇名  
ロ、分布狀況 秩父町各町  
主ナル役職名並其氏名

役員  
主任 柴原弘道  
顧問 町長 伊古田豊三郎  
同 農林校長 安仲峯治  
同 稅務署長 關根仲曹

維持方法

會員ノ會費並ニ有志寄附金

昭和二年度決算額	歳入	三五〇、六〇
	歳出	三五〇、六〇
昭和二年度決算額	歳入	三五〇、六〇
	歳出	三五〇、六〇
昭和三年度決算額	歳入	四二五、八〇
	歳出	四二五、八〇

\*\*\*\*\*

名稱 都幾傳道會

事務所所在地 比企郡平村慈光寺  
創設年月日 大正十五年三月十一日  
經營主體又ハ代表者 代表者 慈光寺住職 佐伯頼秀

沿革概要

明治四十三年一月平村各宗寺院共同社會淨化事業經營ノ目的ヲ以テ平村慈善會ノ名稱ニヨリ合同施設ヲ始メ大正十二年四月八日名稱ヲ平佛教會ト變更シ更ニ大正十五年三月十一日比企郡佛教會トノ聯絡協調上教化區域ヲ擴張



シ名稱ヲ都幾傳道會ト改メ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、御聖旨ヲ奉體シ佛教信念ニヨル國民精神ノ淨化ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、各種團體トノ聯絡協調シ教化事業ノ聯合

提携及其獎勵ト助成ヲ圖ルコト

二、子供教會事業經營ト其研究ヲナスコト

三、文書傳道、講演會、活動寫眞會等ヲ開催

シ社會淨化運動ヲ圖ルコト

四、其他必要ト認ムル事項施設

會員數及分布狀況

平村全戸數ノ戸主及平村小學校全生徒及隣村明覺村主ナル戸主ヲ會員トナシ其數會員八百五十人及青年團處女會員二百人ナリ

主ナル役職名並其氏名

會長 慈光寺住職 佐伯 頼秀  
副會長 正法寺住職 蛙 蒜 眞 清

會計主任 寶裏寺住職 武田 宗伯  
理事兼 靈山院住職 織田 義昌  
教化主任  
理事兼 全長寺住職 村井 義山  
子供教會主任  
維持方法

平村各寺院ノ出資、會員ノ寄附金、補助獎勵金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一二九、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一二九、〇〇  
歳出 一七八、二八

昭和三年度豫算額 歳入 一二九、〇〇  
歳出

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

平村役場ヨリ補助獎勵金 昭和二年度 金二十五圓

同 同 三年度 金二十五圓

\*\*\*\*\*

名稱 今宿龜井 兩村聯合教風會

事務所々在 地 比企郡今宿村圓正寺内

創設年月日 大正十五年四月二十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 中澤 賢道

沿革概要

日進月歩ト共ニ社會民衆ノ思想ハ愈々益々惡化スルヲ憂ヘ兩村各宗寺院協議ノ結果大正十五年四月設立ス、爾來春秋二期及適當ノ時機ニ應シ名士ノ講演等ヲ仰キ着々其ノ効果ヲ修メツツアリ。

目的及事業種類

イ、目的 世ノ進歩スルニ隨ヒ人心ノ惡化ハ益々激シク

仍テ佛教ノ本旨ヲ奉シ、尊王護國ノ精神ヲ振

興シテ思想ノ善導ヲ目的トス

ロ、事業 兩村小學校ニ於テ毎年春秋二期總會ヲ開催シ

名士ノ講演其他文書ノ傳道ヲナス。

會員數及分布狀況

會員數 約八百名

内 譯

今宿村 四百名

龜井村 四百名

主ナル役職名並其氏名

會長兼會計 中澤 賢道

理事 鈴 關 宥 祥

評議員 神 田 明 尊

同 船 橋 英 運

同 宮 寺 義 雄

同 大 西 寬 法

同 鈴 木 道 三

資産(種目別)

積立金 百七十九圓四十三錢

維持方法

春秋總會兩度役員總出ニテ會員宅ヲ行宅シ淨財ノ喜捨其他ノ收入ニヨリ維持ス

\*\*\*\*\*



名稱 埼玉縣佛教聯合會

事務所所在地 大宮町東光寺

創設年月日 大正十五年六月二十五日

經營主體又ハ代表者 須田貫孝

目的及事業種類

各種佛教團體ノ聯絡統一

會員數及分布狀況

縣下一圓

主ナル役職名並其氏名

大久保良俊  
朝比奈秀教  
岩崎慈堅  
須田貫教

\*\*\*\*\*

口、事業

一、教化事業ノ聯合提携ヲ圖ルコト

二、民衆慰安ノ教化研究ヲスルコト

三、教化事業振興ニ關スル施設ヲ講スルコト

四、其他教化事業文書傳導等

會員數及分布狀況

會員數約 七百餘名

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 濱島智信  
理事 幸田宥常  
同 矢島俊章

維持方法

特志寄附、會費、托鉢ニ依ル喜捨淨財

昭和二年度豫算額 歲入 一〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一五〇、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 一五〇、〇〇〇

名稱 報恩會

事務所所在地 比企郡玉川村大字日影東光寺内

創設年月日 大正十五年七月二十一日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 各宗寺院ヨリナル

口、代表者 濱島智信

沿革概要

國民精神作興ニ關スル詔書煥發セラルルヤ各宗寺院集合シテ時々 聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルヘキ方途ヲ協議シタル結果大正十五年七月二十一日玉川村各宗寺院並ニ菅谷村一部鎌形寺院聯合ノ下ニ教化團ヲ組織シ報恩會ト名稱ス昭和二年埼玉縣教化團體聯合會組織ニ同年加盟シ益々相提携シテ教化事業ニ盡力致シツツ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 三大詔書ニ基キ聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興

ヲ圖ルヲ以テ目的トス

\*\*\*\*\*

名稱 天理教北足立郡中部支會

事務所所在地 北足立郡春岡村大字深作五三

創設年月日 大正十五年十月十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 錢場佐太郎

沿革概要

明治三十四年十二月當春安分教會カ出張所トシテ設置セラレテヨリ本教ノ教勢ハ頓ニ上リ日進月歩信徒ノ増加スルニ及ヒ本教ノ布教トイフヨリハ之ヲ以テ社會的ニ一般國民ノ思想善導ニ資センニハ現下ノ國家救済上大ナル効驗アランモノト思考シタルニ不圖モ大正十二年十一月十日大詔煥發サルルニ及ヒソノ感慨痛切ナリシモ其後本團ノ創設ニアヒ大正十五年十月十二日當支會ノ設置ヲ見ルニ至レルナリ

目的及事業種類



イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、凡テノ社會事業ニ日々寄進的活動ヲスルコト

二、早起會

三、會員相互ノ修養向上ヲ圖ルト共ニ民衆ノ教化ニツトムルコト

會員數及分布狀況

イ、會員數 二〇〇名

ロ、分布狀況

春 岡 村 七 里 村 大 砂 土 村  
片 柳 村 原 市 町

主ナル役職名並其氏名

支會長 錢場 佐太郎  
理事 飯島 龍吉 承事 飯島 秋太郎  
同 田中 與吉 同 中村 文雄

資産(種目別)

會員ヨリ毎月十錢宛ノ會費及寄附金等ニヨツテ得タルモノノミ  
ニテ他ハ一切天理教奉安分教會ノ建物及器具ヲ使用シ居ルヲ以  
テ確タル資産ナシ

維持方法

會員ヨリ毎月十錢宛ノ會費及寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

昭和二年度豫算額 歳入 二五〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 二五〇、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 二五〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 越ヶ谷日本基督教會矯風部

事務所所在地 南埼玉郡越ヶ谷町

創設年月日 昭和二年一月

經營主體又ハ代表者 代表者 長尾 丁郎

沿革概要

昭和二年一月當教會員中ノ有志(主ニ青年)相ハカリ當地  
方ニ最モ缺陷ト思ハルル飲酒ノ惡弊時間ノ不勵行男女間  
道德觀念ノ缺乏及ヒ迷信ト戰フヘキヲ痛感シテ矯風部ヲ  
組織セルニハシマレリ

目的及事業種類

イ、目的 禁酒ト迷信打破ト時間勵行ト男女間ノ純潔運

動

ロ、事業種類

一、講演會ノ開催 一、印刷物ノ發行  
一、其他

會員數及分布狀況

二十七名

主ナル役職名並其氏名

主任者 長 尾 丁 郎  
委員 石 垣 武 治

同 中 村 茂 彦

維持方法

會費及寄附金ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 二四〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一六二、二五〇

昭和三年度豫算額 歳入 二四〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 日本メソジスト熊谷教會

事務所所在地 大里郡熊谷町彌生町

創設年月日 昭和二年六月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 今 井 信 藏

目的及事業種類

兒童教化、保育事業

\*\*\*\*\*



名稱 大里郡寄居町外六ヶ村佛教會

事務所所在地 大里郡寄居町放光院内

創設年月日 昭和二年七月二十日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

口、代表者 小山 暢音

沿革概要

明治四十二年二月地方教化ノ爲メ一町七ヶ村和合會ヲ組織シ着々事業ヲ繼續シ來レリ次テ大正十二年二月同會名ヲ中止シ大里郡聯合佛教會ヘ加盟シ寄居支部ト稱シ昭和二年七月二十日同會ヨリ分離シ大里郡寄居町外六ヶ村佛教會ヲ創設シ現在ニ及ヒ埼玉縣教化團體聯合會ニ加盟シタリ

目的及事業種類

- イ、聖訓ヲ奉體シ佛祖ノ教旨ヲ信奉シ以テ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ目的トス
- ロ、一、釋尊降誕祭舉行及講演會ノ開催

- 一、災害者ノ慰問及救助
- 一、教化上ノ印刷物ノ配布
- 一、其他目的達成ニ伴フ事項

會員數及分布狀況

區域

寄居町 櫻澤村 用土村 花園村  
男衾村 鉢形村 折原村

會員 正員四十九名

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員
  - 會長 小山 暢音
  - 理事 眞島 玄戒 同 輝元 文海
  - 同 坂田 尊定 同 吉田 亮典
  - 同 高岡 善成 同 三枝 要温
- ロ、職員
  - 齋藤 隆宏 高野 石韜

資産(種目別)

準備積立(貯金) 壹百六十圓

維持方法

會費及寄附金

昭和二年度決算額	歳入	歳出
	三五〇、〇〇〇	
昭和二年度決算額	歳入 三二〇、〇〇〇	歳出 三八四、〇〇〇
昭和三年度決算額	歳入 三五〇、〇〇〇	歳出

\*\*\*\*\*

名稱 東武佛教會

事務所所在地 南埼玉郡八條村清勝院内

創設年月日 昭和二年八月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 杉村 祐善

沿革概要

一町村ダケノ佛教會ニテハ凡テカ餘リ貧弱過キテ活動ノ

不便尠カラサルニヨリ北足立郡草加町谷塚村南埼玉郡川柳村、八條村、潮止村、八幡村、ノ一町五ヶ村ノ佛教會ヲ聯合統一シテ精神作興ノ運動ニ步調ヲ一ニシテ行ク爲ニ東武佛教會ト稱スルニ至レリ

目的及事業種類

- イ、目的 大乘佛教ノ精神ヲ基調トシテ國民ノ徳性ヲ涵養シ精神作興ノ詔書ヲ奉體シテ思想善導ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- ロ、事業
  - イ、講演
  - ロ、文書發行
  - ハ、其他各種ノ教化運動
  - ニ、免囚保護

會員數及分布狀況

一町五ヶ村ノ佛教會ノ聯合ナリ  
各ノ名稱左ノ如シ

南埼玉郡 川柳村佛教團體

八條村佛教會



八幡村佛教會 潮止村佛教會  
 北足立郡 草加町佛教會 谷塚村佛敎寺院ノ一部  
 主ナル役職名並其氏名

常任理事 杉村祐善 理事 杉山光隆  
 同 藤田祐辨 同 清水義昌  
 同 小倉秀專 同 山崎俊然

各佛敎會ヨリ支出ノ負擔金ニヨル  
 昭和二年度豫算額 歳入 一八〇、〇〇〇  
 昭和二年度決算額 歳入 一八〇、〇〇〇  
 昭和三年度豫算額 歳入 一八〇、〇〇〇

名稱 埼玉縣飯能町自分会  
 事務所所在地 飯能町二百七十二番地

創設年月日 昭和三年二月十一日  
 經營主體又ハ代表者 萩野活道  
 沿革概要

明治三十七年七月私立效道館ヲ設ケ今春四ヶ月間青年處  
 女ニ國漢裁縫ヲ授ケ來リシモ時勢ノ推移ハ之ヲ閉鎖スル  
 ノ止ムナキニ至リタリ更ラニ面目ヲ刷新シ昭和三年二月  
 十一日自分会ヲ創設シタリ

目的及事業種類  
 一、目的 國本培養  
 口、事業 精神、明ルク、清ク、元氣、(修養)  
 物質、健康、防貧、救貧、(實踐)

會員數及分布狀況  
 五十名町内  
 主ナル役職名並其氏名  
 會長 萩野活道  
 常任講師 萩野活道

幹事 二人 輪番 (會員)  
 資産(種目別)  
 一金六十八圓六十八錢 (昭和四年二月十五日現在)  
 維持方法  
 毎月一人積立金 五十錢宛  
 寄附金 其他會長補助金  
 獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和三年度)  
 一金十五圓 會長ノ補助金額

名稱 西武敎化團  
 事務所所在地 入間郡豐岡町大字扇町屋  
 創設年月日 昭和三年三月四日  
 經營主體又ハ代表者 代表者 宇田川玉瑞  
 沿革概要  
 大正八年七月十日國民思想ノ活化運動ヲ基礎ニシテ入間

郡佛敎會ヲ組織シ本部ヲ川越市ニ豊岡町外五ヶ町一ヶ村  
 ニ各支部ヲ設ケ敎化事業ニ貢獻セリ昭和三年三月四日佛  
 敎會ノ組織ヲ變更シ各支部ハ本部ヘ聯絡ハ存スルモ敎化  
 事業ハ各支部ノ獨立經營ニ收メ本團ハ西武敎化團ト稱シ  
 國民精神作興ニ關スル 御聖旨ノ普及徹底ニ一意専心今  
 日ニ至ル  
 目的及事業種類  
 一、目的 聖旨ヲ奉體シ國民精神ノ作興、社會敎化シ速  
 進ヲ圖リ之レカ徹底ヲ目的トス  
 口、事業 一、敎化事業ニ關スル研究會ヲ開クコト  
 二、敎化事業振興ニ關シ總テ共同作業ノコト  
 三、其他前條ノ目的達成上必要ト認メタル事  
 項

會員數及分布狀況  
 本會員二十八名一町七ヶ村ノ各宗寺院住職會員ト爲リ當該寺院  
 ニ於テ其任ニ當リ講演又ハ經營ノ事業ヲ行フ



主ナル役職名並其氏名

常任理事 宇田川 玉瑞  
理事 加藤 政昌

維持方法

會員出資ノ會費、寄附金  
昭和三年度豫算額 歳入 一八四、〇〇〇  
歳出 〇

\*\*\*\*\*

名稱 横手主婦會

事務所所在地 入間郡高麗村瀧泉寺

創設年月日 昭和三年七月十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 狹間 龍定

沿革概要

大正十五年三月當所ニ於テ本會ノ必要ナル事ヲ認メ之レ  
カ組織方法ニ視察研究ヲ重ネ昭和二年十月一日具體化シ

タルモ尙ホ研究協議ヲ經テ遂ニ昭和三年四月起首會員ヲ

募リ同年七月十二日組織成立シ同年十月七日發會式ヲ舉

目的及事業種類

イ、目的 忠君愛國敬神崇佛ノ思想ヲ涵養シ智徳ヲ修養

シテ生活改善子弟教育ヲ謀リ相互ノ親睦ヲ眞

ニ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 家政ノ研究、村政ノ理解、生活改善ノ實行家

庭教育ト學校教育トノ聯絡、慰安、娛樂、其

ノ他必要ト認ムル事項、文書通信、講演、講

習會等時々開催ス

會員數及分布狀況

イ、會員 七〇名

ロ、分布 高麗村横手一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 狹間 龍定

同年十月七日發會式舉行

同年十月十七日合理的洗濯法講習會開

\*\*\*\*\*

名稱 東京府教化團體聯合會

事務所所在地

東京市麴町區有樂町二 東京府廳學務課

創設年月日 昭和三年三月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 平塚 廣義

沿革概要

東京府下ニ於ケル各教化團體ニシテ中央教化團體ニ加盟

セル團體ノ代表者ノ出席ニテ創立委員會ヲ開キ滿場ノ贊

成ヲ以テ當日直チニ創設ス

目的及事業種類

副會長	狹間をの	同	新井 綾
幹事	關口まき	評議員	關口しま
同	山口せき	同	山口くま
同	關口とく	同	關口なを
同	關口とみ	同	關口たい
同	高野あさ	同	山口くら
同	大川戸けい	同	大川戸まき

資産(種目別)

一、基本金 金十圓 豊岡町繁田武平氏寄附  
二、器具 茶吞茶碗三十個 笠田武平氏寄贈

維持方法

會員制 年額金二十錢宛ノ會費ヲ以テ維持費ニ充テ講演、講習  
等開催ノ場合ハ實費臨時徴集ス

昭和二年豫算額 歳入 三〇、〇〇〇  
歳出 〇

備考

昭和三年七月ヨリ合理的炊事法全戸實行



一、目的 本會ハ大正十二年十一月十日煥發セラレタル  
國民精神作興ニ關スル詔書ヲ奉戴シ國民精神  
ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

- 一、事業 一、加盟團體相互ノ聯絡提携ヲ圖ルコト  
二、教化事業關係者ノ協議會ヲ開催スルコト  
三、教化事業ニ關スル調査研究ヲナス  
四、教化事業ニ關スル講演講習會  
五、教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト  
六、其ノ他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事  
項

會員數及分布狀況

東京市並ニ接續町村  
五十九ノ加盟團體ヲ有ス

主ナル役職名並其氏名

會長 平塚廣義  
理事 田中藏六 同 落合寅平

名稱 社團法人 日本弘道會

事務所々在 東京市神田區西小川町二丁目一番地

創設年月日 明治九年三月十九日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團法人

ロ、代表者 伯爵 徳川達孝

沿革概要

吾カ日本弘道會ハ、今ヨリ五十前、泊翁西村茂樹先生ノ  
創立セラレタル所ニ係ル。其由來ヲ按スルニ、明治五年  
學制ノ發布セラレルヤ、其主旨トスル所治産昌業ノ事ニ  
偏シ、忠孝仁義ノ道ハ、措イテ之ヲ問ハサルヲ見、先生  
心窃ニ之ヲ惠ヒ、爾來一世風潮ノ趨勢ニ察シ、其流弊誠  
ニ測リ難キアルヲ知り、茲ニ慨然トシテ立ち、自ラ斯道  
ノ振興ニ任シ、九年三月始メテ同志ノ士ト相謀リ、東京  
修身學社ヲ興ス、是レ即チ本會ノ創始ナリ。  
十七年四月ニ至リ、東京修身學社ヲ日本講道會ト改稱シ  
規約ヲ定メ、役員ヲ置ク、先生ハ會長ニ推サレ、南摩翁

理事 池園哲太郎 同 龜岡豐二  
同 高島米峰 同 田中廣太郎  
同 田澤義鋪 同 後藤武夫  
同 小林一郎 同 宮原六郎  
同 廣江萬次郎  
監事 今泉定介 同 松村介石  
幹事 五月女求 同 長澤則彦  
同 門脇酉藏

維持方法

補助金 加盟團體負擔金

昭和三年度豫算額 歲入 一、一六五、〇〇〇  
歲出 同

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和三年度

東京府

三百圓

中央教化團體聯合會

千圓

\*\*\*\*\*

ハ副會長ニ舉ケラレタリ。是ニ於テ日本講道會ハ大ニ斯  
道ノ闡明振興ニ任シ、六月道徳ノ講演ヲ東京大學講議室  
ニ開キ同時ニ豫約法ヲ以テ、著譯書ヲ出版スルコトトシ  
數書ヲ刊行シ、又雜誌ヲ講道會叢ト改稱セリ。  
十八年九月會名ヲ日本弘道會ト改メ、規約ヲ更定シ、事  
務所ヲ日比谷神宮奉齋會内ニ置ク。次テ十一月築地西村  
邸ニ移ス。

三十三年十一月日本弘道會要領乙號ヲ發表ス。斯クテ益  
々盛大ニ赴ケルカ、三十五年八月ニ至リ、西村會長ハ病  
ヲ以テ薨去ス。此時各地支會ハ百三十ヲ算シ、會員ノ數  
一萬ニ達セリ。十月子爵谷干城君、先生ノ遺囑ニ依リ、  
推サレテ會長トナル。三十六年六月、事務所ヲ麴町區飯  
田町六丁目ニ移シ、七月雜誌ヲ弘道ト改稱セリ。  
四十一年五月、本會創立三十年記念大會ヲ開キ、盛大ナ  
ル式ヲ舉ケ、功勞者ノ表彰、追祭ヲ行フ、大正二年、九  
月弘道會館建設ノ議決シ、爾來基本金並ニ會館建設費ノ



募集ニ努ム。三年三月本會ノ組織ヲ改メ社團法人トナシ以テ益々本會ノ基礎ヲ固ウス。此月、神田區西小川町二丁目ニ會館建設敷地ヲ購入ス。

五年四月、事務所ヲ會館敷地内ニ移ス。六年四月神武天皇祭日ヲ以テ、敷地ノ地鎮祭ヲ行ヒ、六月會館ノ建築工事ニ着手シ、八月上棟式ヲ行ヒ、七年三月ニ至リ、全ク落成ヲ告ク、是ニ於テ四月ヲ以テ落成式並ニ創立四十年記念會ヲ舉行ス。コノ事天聽ニ達シ、特別ノ思召ヲ以テ金一千圓御下賜ノ光榮ヲ荷フ。

十一年ノ春、時代ノ趨勢ニ鑑ミ、社會事業社會教育ニ從事スヘキ人士ノ養成カ、刻下最モ必要ナル施設トシテ、本會ノ力ヲ致スヘキ事業ナルヲ認め、同年四月ヨリ新ニ社會教化學院ヲ設立セリ、初ハ、一期二年制ナリシカ、後改メテ一年制トナシ以テ今日ニ至ル。

#### 目的及事業種類

イ、目的 我日本弘道會ハ明治九年故文學博士西村茂樹

一臨時講習 國民ノ精神修業ニ必要ナル學術ヲ講習ス

一支會設置 本會ノ事業ニ準シテ各地方ノ便宜ニ從ヒ道德ノ鼓吹ト風俗ノ改善トヲ圖ランカ爲メ各地ニ支會ヲ設置ス

一巡回講話 本會ノ必要又ハ地方ノ要求ニ應シテ講師ヲ派遣シテ斯道ノ振興ヲ圖ル

一雜誌發行 毎月一回誌雜『弘道』ヲ發行シ道德ノ普及ヲ圖リ斯道研究ノ資ニ供ス

一女徳修養 待ニ女子部ヲ設ケ婦人會員ノ爲メニ講演會ヲ開キ本會雜誌『弘道』ニ於テ良妻賢母タラシムルニ必要ナル記事ヲ掲載シ、以テ女徳修養、家庭教育ノ資料ニ供ス

先生ノ創立ニシテ其趣旨目的ハ邦人ノ道德ヲ高クシ

國家ノ基礎ヲ鞏固ニセントスルニ在リ而シテ儒教析學及宗教ノ一方ニ偏倚セス諸教ノ長所ヲ採リ教育ニ關スル 勅語ノ彙訓ヲ遵奉シ本會所定ノ要領ヲ實行シテ社會ノ病弊ヲ降キ銳意道德ノ振興國運ノ伸張ヲ圖リ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ラントスルニアリ

#### ロ、事業

一道德講究 道德ノ講究闡明ヲ期ス

一道德調査 道德ニ關スル諸般ノ事項ヲ調査ス

一興風正俗 德風ヲ振興シ汚俗ヲ矯正セントコトヲ期ス

一道德講演 常集會ヲ開キ道德ノ講及談話ヲ爲ス

一通俗講演 通俗講演會ヲ開キ公衆ヲ誘導ス

一學院設置 社會事化學院ヲ設置シ優秀ナル社會教化事業従事者ヲ養成ス

一弘道文庫 道德ニ關スル圖書ヲ蒐集シ、斯道研究ノ資ニ供ス

一圖書發行 道德上有益ナル先哲ノ圖書ヲ印行ス

一書籍編纂 道德ニ關スル書籍ヲ臨時刊行ス

一善行表彰 善行ヲ表彰シ其功績ヲ顯揚ス

#### 會員數及分布狀況

會員數 五千三百七十二名

支會數 六十四支會

#### 主ナル役職名並其氏名

會長 理事 伯爵 徳川 達孝

副會長 理事 服部 宇之吉

主事 理事 廣江 萬次郎

#### 資産(種目別)

一、土地 十二萬八千八百九十二圓

二、建物 六千五百圓







獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

政府ヨリノ助成金 昭和二年度 金二百圓  
同 昭和三年度 金百圓

備考

會員ノ會費本年度ヨリハ、學生生徒ハ半額ト改メタル故、學生ノ入會者續々アリ。本年度ニ於テハ會員ノ數三百名程増加ノ見込。

名稱 國 柱 會

事務所所在地 東京市下谷區鶯谷國柱會館内

創設年月日 明治十三年

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 會員 組織  
ロ、代表者 代表者 保坂智宙

沿革概要

明治十三年横濱ニ蓮華會ヲ創立シ同十七年立正安國會ト改稱、以後東京ヲ中心トシテ主義ヲ四方ニ宣布シ明治二十四年以後關西ニ教勢ヲ張り大阪四ツ橋ニ大會堂ヲ建設ス、後コレヲ清水市三保ニ移ス、現在ノ最勝閣コレナリ。大正三年十一月三日國柱會ト改稱ス。宣傳力海内外ニ及ヒ各地ニ局ヲ設ケ、大震災以後東西兩部教鎮ヲ置ク。田中智學先生ノ創立ニ係ル。

目的及事業種類

イ、目的 國聖日蓮大士ノ指導ニ根據シ日本國體ノ精要ヲ發揮シ道義ヲ以テ字内ヲ統一スヘキ吾力建國ノ大主張ヲ遵奉シテ之ヲ國民的思想ト爲シ信念ト爲シ事業トナサントスルニ在リ

ロ、事業 一、言論傳道

二、文書傳道(日刊新聞及教書等)

三、施本傳道

會員數及分布狀況

會員ハ本部直屬及地方局所屬ノ別アリテ其ノ分布ハ海内外ニ及ヒ其數七千餘名地方局ハ現在八十四局ニシテ東西兩部教鎮之ヲ管ス

主ナル役職名並其氏名

イ、本部

統務會々長 保坂智宙  
常任統務 長瀧智大 常任理事 星野智融

(以上教務役員)

常任統務 小泉徳兵衛 統務 務杉浦 靜  
常任理事 豊田傳次郎 理事 中平清治郎  
理事 寺尾安兵衛 同 山口禎太郎

(以上財務役員)

ロ、教鎮

東部教鎮主事 田中芳谷  
國柱會講師  
西部教鎮主事 長瀧智大  
國柱會講師

資産(種目別)

資産ハ別ニ之ヲ有セス不動産及動産トモ財團法人國柱會資成部ノ資産ニ編入ス

同資成部ノ資産ハ昭和三年十二月末日現在左ノ如シ  
基本財産 三十二萬六千四百九十一圓三十七錢  
非基本財産 二千八百四十六圓七十五錢  
合計 三十二萬九千三百三十八圓 十二錢

維持方法

會員ノ會費及寄附金ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 四三、九六一、二〇〇  
歳出 三九、五五五、七四五  
昭和三年度豫算額 歳入 四六、五四五、四〇〇  
歳出 四六、五四五、四〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

政府ヨリノ助成金 大正十五年度 金三百圓  
同 昭和二年度 金二百圓  
同 昭和三年度 金二百圓

\*\*\*\*\*



名稱 財團法人東京基督教青年會

事務所所在地 東京市神田區美土代町三丁目三番地  
創設年月日 明治十三年

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

口、代表者 長尾 半平

沿革概要

明治十三年京橋鍛冶橋ニ事務所ヲ置キ、小崎弘道氏外數氏ニヨリテ創立セラレ、雜誌「六合雜誌」ヲ發行。明治二十七年現在ノ神田美土代町三丁目ニ會館ヲ建築シ、事業振興ス。明治三十六年九月財團法人トシテ内務大臣ノ認可ヲ受ク大正十二年大震災火災ニヨリ會館燒失直チニ救護事業ヲ起シ民心作興ニ盡ス。

目的及事業種類

イ、目的 青少年ノ全人格徳、知、體ノ三百ニヨリテ向上セシメ、市民トシテ、國民トシテ、マタ國際人トシテ有爲ナル人物ヲラシメントスルニアリ。

口、事業種類

宗教事業、教育事業、社會事業、學生事業、少年事業、國際事業、體育事業、出版事業

會員數及分布狀況

會員數 千八百二十名

會員ハ東京市並ニ府下ニ廣ク在住シテキルカ、目下新會館ノ復興建築中テ左ニソレノ事業施設カアル。

東京YMCA體育館 (神田美土代町三所在)

同 英語學校 (同上)

同 タイピスト學校 (同上)

學生寄宿舎一麥寮 (麻布新網町所在)

同 中野寮 (府下中野町所在)

青山少年會館 (府下澁谷町八幡通所在)

主ナル役職名並其氏名

理事長 長尾 半平

外理事 十七名

總主事 齋藤 勳 一

外主事 八名

名稱 財團法人 皇典講究所

事務所所在地 豊多摩郡澁谷町若木九番地

創設年月日 明治十五年二月一日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 財團法人 (明治三十一年半二月二十一日認可)

口、代表者 江木 千之

沿革概要

一、明治十五年二月一日 一品有栖川宮幟仁親王總裁ヲ擔任アラセラレ爾來皇族ヲ總裁ニ推戴ス

一、同 十五年ヨリ向十ヶ年間年々金二千四百圓下賜ノ旨宮内卿ヨリ通知アリタル旨達セララル

一、同年六月三日 東京市麴町五丁目八番地ニ設置ス

一、同年九月一日 開發

資産(種目別)

一、基本金 二萬三千三百二十八圓三十三錢

一、不動産(土地、建物) 六十萬四千五百六圓

一、器具其他什器 九千圓

計 六十三萬六千八百三十四圓三十二錢

維持方法

會費、寄附金、補助金、獎勵金、其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 六六、五一二、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 五九、一八二、一二〇

昭和三年度豫算額 歳入 五八、六四五、八七〇

昭和三年度決算額 歳入 六五、五六八、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

一金二百圓 東京市 昭和二年度

一金七百圓 宮内省 東京 昭和三年度

府及東京市 昭和三年度

内務省



- 一、同十六年五月二十二日 宮内省ヨリ講堂建築費ノ内  
へ金三百圓ヲ下賜セラル
- 一、同 二十三年七月七日 國學院ヲ設置ス
- 一、同 三十九年六月 國學院ヲ私立國學院大學ト  
改稱スルコトヲ認可セラル
- 一、同四十二年十一月十日 宮内省ヨリ金二萬圓下賜セ  
ラル旨ノ御沙汰ヲ傳ヘラル
- 一、大正八年一月二十二日 宮内省ヨリ大正八年度以降  
向十ヶ年間年々金一萬圓宛御下賜ノ旨御沙汰ヲ傳  
ヘラル
- 一、同 九年四月十五日 大學令ニ據ル國學院大學設  
立ノ件認可セラル

目的及事業種類

- イ、目的 皇國ノ國體ヲ講明シ道義ヲ發揚シ典故文獻ヲ  
研究シ且之ニ必要ナル教育ノ施行
- ロ、事業 一、教育機關トシテ國學院大學ノ經營

- 二、學階（神職任用資格）ノ授與
- 三、内務省ノ委託ニヨル神職ノ養成
- 四、各種ノ教化事業
- 五、思想ノ善導（雜誌發行、講演印刷物宣傳  
等）

會員數及分布狀況

本所ニ顧問（九名）贊襄（二十七名）協贊（三十七名）擴張委員（七  
十名）協議員（四十名）評議員（百三名）ヲ置キ知名ノ士及神官  
並官國幣社以下神社神職ニ囑託ス  
各府縣分所ニ分所長理事、商議員等ヲ置キ何レモ神職官吏又ハ  
知名ノ士ニ囑託ス  
國學院大學ニ商議員（二十名）ヲ置ク神職、教育家、學者知名ノ士  
ニ囑託ス  
尙 大學卒業生ニシテ全國ニ涉リテ神職、教職員、教化團體、著  
述業ニ就職セルモノ多數アリ

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員 總裁 大勳位邦彦王殿下

四、獎學資金 三千六百五圓六十六錢  
維持方法

基本金利子、神社並神職團體ノ寄附金及本所ノ收入ニヨル  
昭和二年年度決算額 歳入 二四九、八〇六、〇〇〇  
昭和二年年度決算額 歳入 二四六、七一三、〇五〇  
昭和二年年度決算額 歳出 二三三、六四一、一七五  
昭和三年年度決算額 歳入 三〇八、二六二、三七〇  
獎勵金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）  
昭和二年年度 昭和三年年度  
御下賜金 一萬圓 一萬圓  
内務省ヨリ神職養成補助金 九千圓 八千七百七十五圓  
文部省ヨリ補助金 二萬五千圓 二萬五千圓  
社會局ヨリ教化事業助成金 二百圓 二百圓

資産（種目別）

- 一、基本金 七十萬七千九百六十四圓八十一錢五厘
- 二、建物 二十九萬四千百十九圓三十八錢
- 三、特別積立金 四萬九千四百十二圓四十二錢

名稱 財團法人 全國神職會

事務所々在地 東京市外澁谷町若木九番地



創設年月日 明治二十五年三月  
經營主體又ハ代表者

經營主體 財團法人  
代表者 江木千之

沿革概要

明治維新以來歐米文化ノ吸收ニ急ニシテ動モスレハ我カ建國ノ精神ヲ忘レ皇國ノ前途詢ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ茲ニ於テ明治十年頃以來憂國ノ神職有志ハ競ヒ立チテ弊風匡正ニ努メ其ノ眞摯ナル運動ハ遂ニ明治二十五年本會ノ創立ヲ見ルニ至レリ爾來三十餘年間ニ互リ各府縣神職團體ハ何レモ本會ニヨリ統一セラレ且ツ有機的關係ヲ結ヒ本土ハ勿論屬領ニ分布スル一萬數千ノ神職各位ノ主腦トナリアラユル機會ニ氏子崇敬者ノ指導ニ任シ尙中央教化團體聯合會ニ加盟シ廣ク各教化事業團體ト協調シ神道界ノ全國的統制機關タルノ實ヲ擧ケツ、アリ更ニ大正十五年七月主務大臣ニ對シ財團法人ノ設立ノ出願ヲナシ

同年十月二十一日之レカ許可セラレ今日ニ至ル  
目的及事業種類

イ、目的 國體ヲ闡明シ神社ノ隆盛神職ノ向上ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、神社ニ關スル必要ナル事項ヲ調査スルコト

二、敬神思想ノ涵養ニ必要ナル施設ヲナスコト

三、雜誌及圖書ヲ刊行スルコト

四、前各號ノ外本會ノ目的ヲ達スル爲メ必要ナル事業

會員數及分布狀況

本會ト有機的關係ノ地方神職團體ハ四十九團體ニシテ

會員數 一四、七五一 (昭和三年調)

分布狀況ハ本土ハ勿論屬領ニ及フ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長	江木千之	同	紀俊
副會長	潮惠之輔	同	宮西惟助
專任理事	池田清	同	春田宣德
同	小原兄麿	同	桑原芳樹
同	石川勝	同	大神貴文
同	額賀大直	同	小野安昌
同	琴陵烈光	同	吉井良晃
同	三宅直馬	同	
監事	足立收	同	

ロ、職員

主事 小山文雄  
囑託 照本 寬

資産(種目別)

基本金 十二萬五千五百五十六圓九十九錢

維持方法

地方神職團體負擔金 官國幣社並府縣社以下神社ノ寄贈金

基金利子獎勵金 雜誌料金其他收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 三五、七二五、四二〇

昭和二年度決算額 歲入 二八、〇三八、九五〇

昭和二年度決算額 歲出 二五、八五九、九三〇

昭和三年度豫算額 歲入 三八、一九七、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金一千圓 獎勵金 大正十一年十二月二日 内務省

政府ヨリ 同 昭和二年度 金二百圓

同 同 昭和三年度 金二百圓

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人 奉公會

事務所々在地 東京市神田區表樂町二番地

創設年月日 明治二十七年三月十六日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 井上通泰



沿革概要

明治二十七年三月二十六日創立、明治三十六年二月十一日雜誌「奉公」發刊現時ニ及フ、明治四十四年東京及京都ニ於テ記念講演會ヲ開ク、大正八年九月奉公實業補習學校ヲ演松ニ開ク、大正十年七月二十七日三方原御料地拜借許可、大正十年七月一日附法人組織ノ申請大正十年九月二十六日許可、大正十五年一月二十七日御料地拂下願更正願書提出、大正十五年十月及十二月拂下代上納、昭和三年ヨリ静岡、千葉神奈川、埼玉、群馬ノ各縣ニ於テ國史講座ヲ開ク、

目的及事業種類

- イ、目的 奉公ノ精神ヲ宣傳實行スルヲ以テ目的トス
ロ、事業 一、月刊雜誌「奉公」ノ發行
二、講演會ノ開催
三、奉公學校ノ設立及經營
四、奉公叢書及奉公主義ノ圖書發行

會員數及分布狀況

- イ、會員數
維持會員 五六名
名譽會員 一七名
贊助會員 一九一名
普通會員 九〇六名
ロ、分布狀況 日本全國ニ亘ル

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員
會長 井上通泰 常任理事 鞍智芳章
理事 太田虎一同 中村修二
同 稻葉鶴次
ロ、職員
幹事 丹羽通雄
資産(種目別)
基金 一萬三千八百七十八圓

五、其他理事ニ於テ必要ト認メタル公益事業

維持方法

寄附金其他ノ收入ニヨル
昭和二年度豫算額 歳入 四、四五〇、〇〇〇
歳出 六、六〇五、五八〇
昭和二年度決算額 歳入 四、四〇五、三六〇
昭和三年度豫算額 歳入 七、〇五五、四六〇
歳出 七、〇五五、四六〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)
内務省補助金 昭和二年度 金一 百 圓
静岡縣補助金 昭和三年度 金二百七十五圓
備考
昭和四年度ヨリ引續キ國史科講座ヲ各縣ニ開キ奉公精神ノ普及ニ勉ム

名稱 社團法人 上 宮 教 會

事務所々在地 日暮里町元金杉一八〇〇番地
創設年月日 明治三十年四月十一日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 社團法人
ロ、代表者 加藤熊一郎

沿革概要

- 一、明治三十年四月十一日 創立ス
二、明治四十一年七月 社團法人トナル
一、大正十二年九月一日 震火ノ爲メ烏有ニ歸ス
一、大正十三年一月 府知事ヨリ社會事業ノ依託ヲ受ク
一、大正十三年八月 復舊ヲ終了シ社會事業並ニ教化事業ヲ併セ行フ
一、大正十五年八月 現在地ヘ移轉事業ノ擴張ヲ計ル

目的及事業種類

- イ、目的 聖德太子ノ遺訓ニ則リ歴代天皇ノ 聖旨ヲ奉シ佛教ヲ基礎ニシテ東西ノ文明ヲ融合シ専ラ精神修養ヲ圖ルヲ目的トス



口、事業 社會教化事業

社會事業ノ研究並施設

會員數及分布狀況

維持會員 百四十五名  
會友 百五十名  
主トシテ關東ヲ中心トス

主ナル役職名並其氏名

會長	加藤熊一郎	副會長	安達憲忠
理事	安藤嶺丸	同	山中見道
同	高島米峰	同	渡邊海旭
同	今井鐵城	同	柴田一能
同	今泉雄作	同	境野哲
同	長谷川良信	同	郵田丹陵
同	龜谷聖馨		
監事	吉原自覺	同	小島碩鳳
主事	高木武三郎		

資産(種目別)

基金 千〇五十八圓  
借地權 六千九百三十圓  
建物 二萬八千八百五十圓  
什器其他 二萬圓  
計 五萬六千八百三十八圓

維持方法

會員ノ離出スル維持費並ニ寄附金  
昭和二年度豫算額 歳入 一四、五〇〇、〇〇〇 円  
歳出 一、五九五、〇〇〇  
昭和二年度決算額 歳入 一一、五九五、〇〇〇  
歳出 一〇、〇五〇、〇〇〇  
昭和三年度豫算額 歳入 一〇、〇五〇、〇〇〇  
歳出 一〇、〇五〇、〇〇〇  
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
金二千圓(大正十三年六月七日)内務省  
金三百圓(同十四年二月十一日)同  
金二百圓(同十五年二月十一日)同  
金二百圓(昭和二年二月十一日)同

金二百圓(昭和三年二月十一日)内務省

\*\*\*\*\*

名稱 神宮奉齋會

事務所々在地 東京市麴町區飯田町六丁目二番地

創設年月日 明治三十二年九月四日

經營主體又ハ代表者 代表者 今泉 定介

沿革概要

明治五年伊勢神官ニ於テ大教ヲ宣布シ神宮教院ヲ設立シ  
神宮ノ尊嚴ヲ欽仰シ國體ヲ講明シタルヲ最初トシ明治十  
七年神宮教導職兼務ヲ廢セラルル同時ニ神宮教ヲ設立シ  
宗教部ニ編入セラル。同三十二年ニ至リ神宮教ヲ解散シ  
財團法人神宮奉齋會ヲ組織シ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 神宮ノ尊嚴ヲ欽仰シ皇祖ノ懿訓皇上ノ聖勅ヲ  
奉戴シ國典ヲ攻究シ國體ヲ講明シ國體ヲ修行

口、事業ノ種類

スルニアリ

- 一、神宮並八神奉齋所ヲ設ケ聖壽無窮國家隆昌ヲ祈念ス
- 二、國典攻究
- 三、國體修行
- 四、參宮會ノ組織
- 五、國體講明
- 六、敬神崇祖ヲ目的トシ堅實ナル事業ヲ經營スル團體ノ助成

會員數及分布狀況

會員數 十二萬餘名

現在

京都、大阪、長崎、新潟、名古屋、仙臺、函館、廣島、岡山  
金澤、上田、大垣、福島、鳥取、福岡、鶴崎、熊本、  
秋田、高知、松山、青森縣木造等ニ本部ヲ置キ本部下ニ更ニ







二、器具其他 一千五百圓  
合計 金十五萬一千五百圓

維持方法

- 一、會員ノ豫金
- 二、臨時寄附

昭和二年豫算額 歳入 五、二〇五、〇〇〇  
歳出 四  
昭和二年決算額 歳入 八、三一五、〇〇〇  
歳出 昭和三年度豫算額 歳入 五、八六五、〇〇〇  
歳出 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
二年度 金一百圓  
三年度 金一百圓

備考

昭和二年度ノ決算カ、二年度ノ豫算ニ比シ金三千餘圓ノ膨脹ヲナセシハ  
東京逓信局管内ノ従業員ニシテ、二十年以上ヲ勤績セルモノヲ  
二年十一月二十一日、淺草公園、傳法院ヲ會場トシテ、九百五十餘人ヲ招キ、勤績表彰慰勞會ヲ開キタルニ依ル

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人 鐵道保養院

事務所所在地 豊多摩郡大久保町大字西大久保一四五  
創設年月日 明治三十七年一月一日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 財團法人

代表者 津田龜次郎

沿革概要

國民精神ノ作興ハ特ニ交通運輸ノ衝ニ當ル鐵道従事員ノ精神教育ノ必要ヲ感シ明治三十七年鐵道公務負傷者ノ救護授産ト併セ鐵道全線ニ亘ル精神講演ヲ開始シ明治四十二年五月現在ノ名稱ヲ以テ事業ヲ擴張シ大正六年三月組織ヲ更メテ財團法人ト爲シ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、目的 全國鐵道軌道従事員郵便局従事員、各工場従事員ニ對シ精神講演ヲ爲シ其ノ人格向上ト國

民精神涵養ニ資ス

口、事業種類

精神講話、修養圖書雜誌發行、鐵道公傷者授産、救護教育映畫會ノ開催朝鮮人兒童ノ夜學、細民兒童ノ指導及保護

會員數及分布狀況

會員 五千五百五十人

分布狀況 國有鐵道全線

主ナル役職名並其氏名

一、役員

理事長 津田龜次郎 理事 工學 野村龍太郎  
理事 工學 古川阪次郎 同 門野重九郎  
同 西野惠之助 同 三木榮八  
同 經濟學 永井 亨 同 本山彦一  
同 博士 床次竹二郎  
顧問

口、職員

總務部長 津田詮三 事業部長 森島兵市  
社會教育部長 齋藤東吉 救濟部長 寺內用助  
隣保部長 酒井五郎 映畫班主任 大塚 朋  
講師 師 佐野秀生 同 前川眞二郎  
事業部各主任

高橋 慶重 佐藤伊太郎

篠崎 定吉 坂根 恒雄

土肥 眞介

資産(種目別)

一、基本金 三萬圓  
二、建物 二萬一千八百二十六圓  
三、器具其ノ他物品 九萬四千六百七十七圓  
合計 十四萬六千五百〇三圓

維持方法

事業收入、補助金、助成金、寄附金等ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 二八八、一五〇、〇〇〇  
歳出 二八八、一五〇、〇〇〇



昭和二年決算額 歳入 三三六、一三〇、三四〇  
 歳出 三二五、八四五、一二〇〇  
 昭和三年決算額 歳入 三二七、〇五〇、〇〇〇  
 歳出 三二七、〇五〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 御下賜金 三百圓 昭和二、三年度  
 内務省助成金 二百圓 同  
 同 獎勵金 一百圓 同  
 東京府助成金 五十圓 同  
 鐵道省補助金 二千圓 同

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人 中央報徳會

事務所所在地 四谷區三光町八番地

創設年月日 明治三十八年十一月二十日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財 團 法 人  
 ロ、代表者 理事 水町袈裟六

沿革概要

日露戰役ノ後ヲ受ケ、人心ノ一新地方開發ノ急務ヲ認メ  
 朝野ノ同志相謀リ明治三十八年十一月二十日日本會ヲ創立  
 ス  
 大正四年四月二十七日御内帑金五千圓下賜ノ恩命ニ浴シ  
 之ヲ基金トシテ大正五年一月二十日主務大臣ヨリ財團法  
 人ノ許可ヲ得タリ  
 明治三十九年四月ヨリ月刊雜誌「新民」ヲ發行シ大正五年  
 一月青年部ヲ設ケ雜誌「帝國青年」ヲ發行シ全國青年團體  
 ノ中央機關トシテ青年團ノ指導誘掖ニ努メシカ後此青年  
 部ハ本會ヲ離レ獨立シテ青年團中央部ヲ創設大正十一年  
 八月財團法人日本青年館ニ合併セラレタリ

目的及事業種類

イ、目的 地方ノ開發改良、自治ノ興振發展、道德經濟  
 ノ調和、教育産業ノ連絡、自治團體、公益團  
 體、及地方篤志家等ノ援助ヲ爲スヲ以テ目的

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

理事	水町袈裟六 同	一木喜徳郎
同	石原雅二郎 同	留岡 幸助
同	岡田良平 同	大久保利武
同	岡本英太郎 同	大野綠一郎
同	田子一民 同	田中廣太郎
同	武部欽一 同	添田敬一郎
同	塚本清治 同	鶴見左吉雄
同	中川 望 同	潮 惠之輔
同	桑田熊藏 同	矢作榮藏
同	佐上信一 同	水野鍊太郎
同	守屋榮夫 同	福澤泰江
同	梶原伸治 同	有賀長文
同	結城豊太郎 同	志村源太郎
同	湯川寛吉	

ロ、事業 月刊雜誌「新民」ヲ發行シ又市町村吏員ニ對シ  
 實務上參考トナルヘキ講義録「自治講座」ヲ發  
 行ス

全國樞要ノ地ニ講演會又ハ講習會ヲ開催シ並  
 各地ノ要求ニ應シ講師ヲ派遣ス

社會教育ノ一方法トシテ地方自治、海外列國  
 ノ狀勢家庭ノ訓育等ニ關スル良書ヲ選擇シ之  
 ヲ刊行ス

會員數及分布狀況

會員(昭和三年十二月末日現在)

特別會員 一二〇人 通常會員 八、八五〇人

分布ノ狀況ハ

全國(内地)及朝鮮、臺灣、樺太、支那ニ及ヒ北海道最モ多ク  
 新潟、長野、岐阜、三重、廣島、山口之ニ次キ各府縣皆會員  
 ヲ有ス



口、職員

幹事 向井 新同 近江匡男

資産(種目別)

一、御賜基金	五千圓
二、國庫債券	一千六百圓
三、建物 (事務所鐵筋コンクリート造宅木造)	八萬五千圓
四、器具類	三千六百圓
五、圖書類	三千七百圓
合計	九萬八千九百圓

維持方法

會員ノ豫金、寄附金、補助金獎勵金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	五二、二〇〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	五〇、七五八、七五
	歳出	四六、三六四、六四
昭和三年度豫算額	歳入	七七、四八〇、五八
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
金五千圓	御下賜金	大正四年四月二十七日
金二百圓	政府ヨリノ補助金	昭和二年度(二月)

金九百圓 同

同 三年度(二月)

備考

本會ノ會計年度ハ曆年ニ依ルヲ以テ補助金ハ其年度ニ收入ス

名稱 財團法人 修養園

事務所所在地 千駄ヶ谷町六八番地

創設年月日 明治三十九年二月十一日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 財團法人  
口、代表者 男爵 平沼騏一郎

沿革概要

財團法人修養園ハ現主幹運沼門三カ青山師範學校在學中ノ創立ニ係リ、社會ノ風教ヲナケキ、國家ヲ盛ンナラシムルハ、國民精神ヲ剛健ニシテ七千萬人總親和總努力ノ善風ヲ作興セサルヘカラサルヲ痛感シ流汗鍛鍊、同胞相

愛、ノ二大主義ニ基キ、同志相提携シテ、各自ノ修養ヲ圖リ、社會ノ風教ヲ改メ、皇國ノ進運ヲ貢獻センコトヲ念願シテ、同志ヲ糾合シ、大ニ校風ヲ改メ善ノ運動ヲ起シタルニ端ヲ發シ、同校卒業後、憂國ノ至情止ミ難ク、徒手空拳ノ一書生ノ身ヲ以テ、汗愛ノ二大主義ヲ呼號シテ天下ニ同志ヲ求メ、惡戰苦闘數年、幸ニ故東京高等工業校長手島精一氏、故森村男爵現顧問瀧澤子爵、其他ノ先輩各位ノ後援ト熱心ナル同志諸君ノ共鳴聲援ニヨリ、今日ノ發展ヲ見タルモノナリ

沿革ヲ追ヒ略叙スレハ、明治三十九年二月十一日創立セラレ、明治四十一年一月二十一日ニ『向上』誌第一卷第一號ヲ發刊シ、明治四十四年二月二日第一向上合ヲ設立シ、大正二年十月五日、淺草區藏前ニ本部事務所ヲ新築シ、大正四年八月十七日、第一回全國中堅青年講習會ヲ開催シ、大正六年五月三日、故子爵田尻稻次郎氏(大正十二年八月十五日薨去)ヲ團長ニ迎へ、大正十二年二月

目的及事業種類

イ、目的 流汗鍛鍊、同胞相愛ノ二大主義ニ基キ同志提携シテ各自ノ修養ヲ計リ社會ノ風教ヲ矯シ以テ皇國ノ進運ニ貢獻スルニアリ。

口、事業 一、講習會、講演會、修養會ノ開催(明魂發揮)

二、雜誌及圖書ノ刊行



三、寄宿舎、修養會館、圖書館ノ經營俊才ノ養成

四、國力振興運動並ニ團體訓練ノ實施

五、其他本國ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

會員數及分布狀況

一、聯合會 三一 (府縣聯合會)

口、支部 七三九

八、終身團員 一、八二三人

二、團員 九五、八五四人

ホ、準團員 五十萬人(約)

(臺灣、滿洲、朝鮮、内地、海外等)

主ナル役職名並其氏名

イ、役員(外ニ評議員六十一名氏名ヲ略ス)

顧問 子爵 澁澤 榮一 同 男爵 森村市左衛門

團長 男爵 平沼 騏一郎 主幹 蓮沼 門三

常務理事 二木 謙三 同 宮田 修

同 岸田 軒造 理事 竹内 浦次

理事 牧野 秀 同 中山 頼信

同 増田 具治 同 萬代 重昌

監事 男爵 中島 久萬吉 同 増田 義一

口、職員

講師 勝部 耕藏 同 和田 長平

同 二上 與吉 同 赤阪 繁太

庶務主任 三宅 精一 地方係主任 黒木 善一

編輯部長 座間 止水 社會事業部主任 尾形 榮造

代理部主任 福田 猛生 宿泊所主任 澤井 義榮

資産(種目別)

一、建物 十六萬五百十九圓

二、什器備品圖書其他 二萬一千五百三十四圓

三、山林 二萬五千圓

合計 二十萬七千五十三圓

維持方法

創設年月日 明治四十年十月十六日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織

口、代表者 松村 介石

沿革概要

明治四十年十月日本教會ヲ起ス(麴町和田倉門外商工中學校内)

明治四十二年十一月 和強樂堂ニ移轉ス

明治四十五年五月 日本教會ヲ道會ト改稱ス

大正四年十二月 現在ノ地ニ移轉ス

目的及事業種類

イ、目的 道會ハ一方ヨリ見レハ宗教團體ナリ、併シ既

成宗教ト異リ、極樂ヲ願ヒ天國ヲ念スルモノ

ニ非ス、現社會ヲシテ天國又ハ極樂ヲラシム

ルヲ主眼トスルカ故ニ、宗教ノ宣傳ト同時ニ

國民ノ精神的教化ヲ爲スヲ以テ目的トス

口、事業 一、貧民救済 二、突發的災害ノ救済 三、

一、團費 (全國ノ團員納入ノモノ)

二、寄附金

三、補助金、獎勵金、其他雜收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 一三六、三七〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一四二、三五六、八七五

昭和三年度豫算額 歲入 一六九、四二六、〇〇〇

昭和四年度豫算額 歲入 二二三、七二〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金三千圓 御下賜金 昭和二年十二月二十八日

金七百圓 內務省 助成金

金二百圓 東京府 助成金

\*\*\*\*\*

名稱 道會

事務所所在地 澁谷町神山五十九番地



著述 四、講演—本部ニ於テハ東京各所ニ時々大講演會ヲ開キ、又本部講堂ニ於テハ毎日曜説教ヲナシテ教化ニ勉ム、地方支部ニ於テハ松村會長、香山吉助幹事及會員中ノ有志カ出張シテ講演ヲナス、各大學校ノ學生及本部職員ニ依テ組織セラルル數十名ヨリ成ル教化宣傳隊ハ時々天幕ヲ持テ日本全國ヲ旅行シ、各地ノ青年會處女會、在郷軍人會、工場等ニ於テ教化講演ヲナシツツアリ右宣傳隊ハ東京市内ニ於テモ路傍講演ヲナシツツアリ

會員數及分布狀況

會員ハ現在約二千五百名ニテ日本全國ハ勿論、支那、南洋、南米等ニ及ヒ、各地ノ支部名稱ヲ舉ケレハ左ノ如シ  
東京—慶應義塾大學道會支部、早稻田大學道會支部、東京帝國大會道會支部、向島岡田道會支部、芝道會支部、本所道會支部、蒲田道會支部、大森道會支部、  
神奈川—横濱道會支部、川口村片瀬道會支部、

千葉—小見川道會支部、新島村扇島道會支部、佐原道會支部、茨城—太田道會支部、笠間道會支部、麻生道會支部、潮來道會支部、木原村大須賀津道會支部、舟島村舟子道會支部、堅倉道會支部、群馬—大間々道會支部、新治道會支部、愛知—名古屋道會支部、岐阜—坂下道會支部、付知道會支部、兵庫—神戸道會支部、明石道會支部、江井ヶ島道會支部、二見道會支部、修道村芦屋道會支部、山口—下ノ關道會支部、長府道會支部、岩手—一ノ關道會支部等ナリ。

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 松村 介石  
幹事 香山 吉助  
同(會計主任) 安永 虎三  
ロ、職員

幹事(編輯) 佐藤 政二郎

同(會計、内務)田 井 貞 一

資産(種目別)

一、基本金 凡 一萬四千圓  
二、建物 凡 三萬圓  
三、器具其他物品 凡 二千圓  
四、印刷物 凡 三千圓  
合計 凡 四萬九千圓

維持方法

會員ヨリノ會費、寄附金、補助金獎勵金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 一、二、五七四、〇〇  
歳出 一、二、二五四、〇一  
昭和二年度決算額 歳入 一、一、八二二、四五  
歳出 一、三、二五四、〇〇  
昭和三年度決算額 歳入 一、三、二五四、〇〇  
歳出 一、三、二五四、〇〇  
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金二百圓 御下賜金(松村會長(銀杯ト共ニ) 大正十三年一月二十六日)  
金二百圓 政府ヨリ補助金 昭和二年度  
金二百圓 同 三年度

名稱鐵道青年會

事務所々在 本部 東京市麴町區富士見町一ノ二〇

支部 大阪市北區牛丸町六五

創設年月日 明治四十一年十二月六日

經營主體又ハ代表者 代表者 新渡戸 稻造

沿革概要

明治四十年頃現在常務理事益富政助氏東京ヲ中心トスル鐵道各驛同機關庫東京電氣局車庫等ノ招聘ニヨリ其ノ所屬從事員ニ對シテ精神講話ヲ試ミタル事カ動機トナリ竟ニ明治四十一年十二月、故大隈侯爵故江原素六氏後藤子爵、新渡戸博士等發起人トシテ後援ヲ與ヘラレテ日本ニ於ケル唯一ノ團體タル鐵道青年會ノ創立ヲ見ルニ至レリ



爾來今日迄二十有一年終始一貫我國鐵道軌道一般交通運輸從事員ノ精神的教化指導ニ努メツ、アリ、尙大正三年新タニ社會事業部ヲ設ケ鐵道從事員ノ公傷退職者、同重傷者、同殉職者ノ遺族保護救濟ヲ計リ現ニ此ノ方面ニモ專心努力シツ、アリ

目的及事業種類

- イ、目的 本會ハ(教化部)基督教主義ニヨリ日本帝國並ニ植民地ニ於ケル交通事業ニ從事スル青年ノ修養思想ノ善導、品性ノ陶冶、知識ノ研磨、技術ノ練磨、心身ノ慰安ヲ圖リ更ニ從事員ノ家族ノ爲メニ慰問ノ事業ヲ營ムコトヲ以テ目的トス

ロ、事業ノ種類

- 一、編輯部 月刊雜誌「鐵道青年」ノ發行頒布及隨時「パンフレット」ノ刊行  
二、宗教部 個人的巡回訪、隨時隨處ニ於ケル傳導

上ノ特別集會、並ニ集團的聖書ノ研究等ニヨリ基督信徒タル從事員ノ靈的向上ヲ計ル、尙各派基督教會ニ對スル應援ニモ努ム

- 三、興風部 鐵道部内ニ於ケル「忠誠」、「廢酒」、「純潔」ノ精神ヲ作興スルコト  
四、講演部 鐵道省ノ委囑ニヨル全鐵道管内ニ亙ル繼續的精神修養講話會ヲ主トシ、同學術講演會、並ニ交通事故防止、交通道德涵養ニ關スル特別講演會、尙、本年度ヨリ鐵道全般ニ亙ル鐵道婦人講話會ヲ開ク  
五、出版部 鐵道業務及學術ニ關スル一般從事員向キノ書籍ヲ初メトシ、又家庭向キノモノトシテ娛樂、興味、實用的、並ニ修養ニ關スル單行本ノ刊行

六、家庭部

歐洲名映畫「青い鳥」及本會特製實寫「歐洲文化の跡を訪ねて」ノ鐵道部内ノ巡回慰問

七、家庭部

交通從事員ノ家庭ヲ對象トシ、官舎ノ會、手藝講習會等、及ヒ病院ヲ中心トスル傷病者ノ修養並ニ慰安會

會員數及分布狀況

現在會員數 二萬五千餘名  
所屬別ニスレハ 國友鐵道、私設鐵道、電氣鐵道並軌道鐵道學  
校生徒全數  
地理的ニスレハ 本邦全土、  
朝鮮、樺太、臺灣、沖繩、滿洲

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員  
顧問伯爵 後藤 新平 同 床次竹二郎  
會長 新渡戸 稻造 常務理事 益富 政助

- 理事 井上敬次郎 同 長尾 半平  
同 生江 孝之 同 日疋 信亮  
評議員 田子 一民 外三十四名

ロ、職員

西田 袈吉 外二十一名

資産(種目別)

- 一、基本金 三千四百圓  
二、建物 二棟 三萬五千圓  
三、器具其他 五千圓  
四、印刷物 五千圓  
合計 四萬八千四百圓

維持方法

會員ヨリ納付スル(會費月三十錢)並出版部賣上益金、臨時寄附金政府助成金ニ依ル

- 昭和二年度豫算額 歲入 七九、三〇〇、〇〇  
昭和二年度決算額 歲入 七九、五一二、〇二  
歲出 七八、九八三、四三



昭和三年度換算額 歳入 七九、五〇〇、〇〇  
 獎勵金並補助金下附ノ有無 歳出

金百圓 昭和二年度 内務省

\*\*\*\*\*

名稱 愛國青年社

事務所々在 東京市本郷區駒込蓬萊町六番地

創設年月日 明治四十三年八月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 岩谷直次郎

沿革概要

日露戰爭後、地方町村ノ疲弊ト國力不振民心荒怠ノ情勢ヲ深憂シ社主岩谷直次郎ハ一身一家ヲ犠牲トスルノ覺悟ヲ以テ明治四十三年八月高知市ニ愛國青年社ヲ創立シ機關雜誌愛國青年ヲ發行シ大正九年八月社ヲ高知市ヨリ大阪市ニ移シ更ニ大正十年十月東京ニ移シ全國巡遊ノ計畫

ヲ樹テ三府十三ヶ縣ニ渡ツテ各府縣青年大會ヲ開催シ大正十一年四月十六日東京市神田區駿河臺下中央佛教會館ニ於テ全國青年大會ヲ開催シ愛國青年團ヲ創立シ全國各府縣内町村ニ支部ヲ設置シ修養講演講習會等ヲ開催シ創立以來十九年間、終始一貫專ラ社會教化ニ努力セリ大正十三年一月十五日教化團體聯合會ノ組織ニ參加シ昭和三年四月同會組織變更ト共ニ同年八月七日東京府教化團體聯合會ニ加盟シ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 建國ノ精神ニ基キ忠君愛國ノ精神ヲ涵養シ社會共存共榮ノ原理ニ立脚シテ青年生活ノ向上ヲ圖リ善良ナル日本國民トシテ忠實ナル義務ヲ遂行スルニ青年教化ヲ以テ目的トス  
 ロ、事業 講演、講習會、活動寫眞會ノ開催圖書、雜誌ノ發行

會員數及分布狀況

獎勵金並補助金下附ノ有無 昭和二年度助成金百圓 内務大臣ヨリ

\*\*\*\*\*

名稱 皇道會

事務所々在 牛込區矢來町二六

創設年月日 明治四十五年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 北原種忠

沿革概要

創立ノ際ハ專ラ精神修養ニ關スル圖書ヲ出版シ教育勸語ニ關スル資料ヲ學校等ニ供給シタリ、翌大正二年ヨリ機關雜誌皇道ヲ發刊シ各地ニ講演會ヲ開キ漸次會員モ増加シ同七年正親町伯爵ヲ會長ニ戴キ事業ヲ擴張シ會員増加スルニ從ヒ各府縣主要地ニ支部又ハ分會ヲ設置シ以テ人格ノ修養ト精神ノ作興トニ力ヲ致シ夏季ニ於テハ時々講習會ヲ開催シ來レリ

會員 全國各府縣ニ 一萬二千餘名

支部 全國各府縣ニ 六百三十八ヶ所

主ナル役職名並其氏名

社長 岩谷直次郎

理事 峰田一步

幹事 竹本武治

資産(種目別) 昭和三年十二月三十一日現在

一千八百三十六圓二十四錢五厘 會館建設資金

一千二百圓 圖書販賣現品

百二十四圓七十錢五厘 現金

合計 三千百五十六圓九十五錢也

維持方法

會員ノ會費、圖書雜誌ノ販賣收入金ヲ以テ維持ス

昭和二年度決算額 歳入 一二、〇〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳出 一〇、三八六、五五五

昭和三年度決算額 歳入 一〇、八〇〇、〇〇〇



尙又大正六年ヨリ皇道少年團ヲ組織シ有志少年ノ教養ト訓練トヲ圖リツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 國民精神ノ發揮ト國民道德ノ振興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

- ロ、事業ノ概要
  - 一、講演會講習會ノ開催
  - 二、教育的活動映畫ノ無料公開
  - 三、思想問題ノ研究
  - 四、婦人問題ニ關スル懇話會
  - 五、少年團ノ訓練
  - 六、圖書ノ出版

會員數及分布狀況

會員數ハ 二萬七千四百六十二名  
分布ノ狀況ハ全國ニ亘リ尙ホ朝鮮臺灣ニモ及ヘルガ、東京市各區、八王子、横浜、湘南、静岡、岡崎、豊橋、名古屋、大阪、高

知、仙臺等ニ支部ヲ設置シアルヲ以テ支部所在地ハ比較的多少、其他ハ遠隔セルニ隨テ漸次分布ノ稀薄ナルヲ見ル、

主ナル役職名並其氏名

會長 缺員  
顧問 子爵澁澤 榮一 同 男爵 平山 成信  
常務理事 北原 種忠  
相談役 大谷 嘉兵衛 同 今泉 定介

資産(種目別)

器具 六百五十三圓  
印刷物 一千三百二十八圓  
計 一千九百八十一圓

維持方法

寄附金、會費、補助金其他雜收ニ依ル

昭和二年度豫算額 歲入 二二、五七八、〇〇  
歲出 二二、七五八、七〇〇  
昭和二年度決算額 歲入 二二、五八六、三〇〇  
歲出 二二、八二三、〇〇〇  
昭和三年度豫算額 歲入 二七、八二三、〇〇  
歲出 二七、八二三、〇〇

名稱 斯 道 會

事務所々在 東京市小石川區久堅町三番地

創設年月日 明治四十五年七月十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 田 邊 賴 眞

沿革概要

明治四十五年七月十四日東京市九段偕行社ニ於テ其發會式ヲ舉行セルニ起レリ。當時ハ三十七八年役ニ於ケル戦捷ノ餘弊ヲ承ケテ國情民俗忽チ驕慢放肆ニ流レ畏クモ成申詔書ノ渙發ヲ拜スルニ至リタルモ其頹勢ハ容易ニ矯正スヘクモアラス。是ニ於テ同憂ノ士相謀リテ本會ヲ組織シ教育勅語ト成申詔書ノ聖旨ヲ奉體シテ其德化ヲ廣メ其普久ヲ講シ以テ斯道ノ復興ニ盡サンコトヲ誓フニ至レリ本會ハ故土方久元伯ヲ會長トシ特ニ老體ヲ煩シ東北關西各府縣ニ巡講シテ明治天皇ノ御聖德ヲ宣布シ、善ク時局

ニ處スルノ道ヲ高調力説シタリ、當時講師トシテ最モ其勞ニ當リシハ土方老伯ヲ始メ村上、井上、箕、三上ノ諸博士及ヒ田邊幹事はレナリ。

目的及事業種類

聖旨ヲ奉體シ國民思想ノ統一ヲ目的トス。  
活動寫眞ヲ利用シ時々講演會ヲ開キ無料ニテ入場セシメ又ハ小冊子ヲ刊行シ無代ニテ配布ス。  
中心人物ハ各家庭ニ就キ個人傳道ニモ努力シ效果ヲ收メツ、アリ。

會員數及分布狀況

一萬五千八百人  
全國的ナリ

主ナル役職名並其氏名

顧問 東 郷 平 八 郎  
同 澁 澤 榮 一  
會長 田 邊 賴 眞



理事長 龜岡 豊 二一

資産(種目別)

器具其他物品價格	一千三百五十圓
書籍類價格	二千五百八十圓
現金	一千八百六十圓
合計	五千七百九十圓

維持方法

會費及寄附金募集ニ關シ大ニ弊害アルヲ確認シ創立以來現今ニ至ルマテ決シテ之ヲ受ケス中心人物ノ私財ニ依リテ經營シ來レリ。

昭和二年度豫算額	歳入	一、二五〇、〇〇
	歳出	一、三三〇、八〇
昭和二年度決算額	歳入	一、三五〇、八〇
	歳出	一、三五〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、三五〇、〇〇
	歳出	一、三五〇、〇〇

獎勵金補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 金二百圓 政府ヨリ補助金 昭和二年度  
 金一百圓 同 三年度

備考

創立以來約十年間毎月一回宛、機關雜誌「斯道」ヲ會員ニ配布セシカ維持ニ困難シ、大正十二年大震災後、百三十五號ヨリ休刊セリ。

\*\*\*\*\*

名稱 高輪義士會

事務所所在地

東京市京橋區南八丁堀櫻橋南側帝國興信所内  
(本部芝區高輪泉岳寺内)

創設年月日 大正元年十二月十四日

經營全體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織

口、代表者 後藤 武夫

沿革概要

元ト高輪保義團ト稱シ大正元年以來義舉ノ記念日タル十二月十四日一般參拜者ニ對シ甘酒ヲ饗シタルカ其後時代

ノ推移ニ鑑ミ事業擴張ノ必要ヲ認メ大正八年十一月高輪

義士會ト改稱シ別記ノ事業ヲ遂行シ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 本會ノ目的ハ純日本思想タル武士道精神ヲ鼓

吹シ忠孝ノ大義ヲ宣揚シ以テ世教道徳ヲ補フ

ニ在リ

口、事業 一、泉岳寺内義士塋域ノ神聖ヲ保持スルニ努

ムルコト

二、義舉記念日ヲトシ祭儀ヲ莊嚴ナラシム

三、義士公會堂ノ建設

會員數及分布狀況

イ、會員 六百名

口、分布狀況 東京市内及隣接町村

主ナル役員名並其氏名

イ、役員

會長 後藤 武夫

副會長 高岡 新藏 同 松下寅次郎

委員長 長谷由兵衛 同 大澤浦太郎

同 吉田三右衛門 同 杏名徳太郎

同 山口兼吉 同 小泉一雄

同 秋山銀三郎 同 小川助太郎

同 廣瀬定治郎 同 小坂元吉

口、職員 專任幹事 石守 晃

資産(種目別)

一、基本金 一萬一千六百圓

二、建物(事務所)器具其他物品ハ總テ帝國興信所ノ所有物ヲ使

用ス

維持方法

總テ預金利子ヲ以テ之ニ充ツ

昭和二年度豫算額 歳入 八、五〇〇、〇〇

歳出 八、五〇〇、〇〇



昭和二度決算額 歳入 八、五〇〇、〇〇  
 歳出 八、四五〇、〇〇〇  
 昭和三年度決算額 歳入 八、四〇〇、〇〇〇  
 歳出 八、四〇〇、〇〇〇  
 奨励金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金二百圓 昭和二年二月十八日助成金トシテ内務省  
 ヨリ下附  
 金一百圓 同三年二月十六日同上

名稱 大日本士道會

事務所々在 地 東京市神田區末廣町二八  
 創設年月日 大正二年四月

經營主體又ハ代表者 代表者 山下 義 韶

沿革概要

大正二年四月發起人相集リ創立相談此ノ動機ヲ得社會風  
 潮ハ日ニ逐フテ輕薄トナリ青年ノ士氣漸ク衰ヘントスル  
 ニ當リ同志ノ大團結ヲ作シ團體ノ力ヲ以テ一切ノ情弊ヲ

打破シテテ斯道ノ健全發展ノ爲メ設立ス

目的及事業種類

イ、目的 斯道ノ發展ヲ圖リ以テ國家社會ニ貢獻スルコ  
 トヲ努ムルト同時ニ他面ニ於ケル斯界ノ裏面  
 幾多ノ情弊ヲ一洗シテ革清ヲ期ス  
 ロ、事業 一、青年少年武道實習心身鍛鍊  
 一、教化ニ關スル講演

一、精神講話及事業ニ關スル研究  
 一、武道大會ヲ開キ同時ニ思想善導訓話其他

會員數及分布狀況

本會正會員 百二十名

主ナル役職名並其氏名

會長 山下 義 韶  
 副會長 松井 百太郎  
 同 萩原 七郎  
 理事幹事長 宮本 半藏

津田 繁 三郎

其他幹事

維持方法 寄附金、會員會費及其他ノ收入ニヨル

昭和二度決算額 歳入 一、五〇〇、〇〇  
 歳出 一、三五六、一五  
 昭和二度決算額 歳入 一、一六三、五九  
 歳出 一、一五二、五六  
 奨励金並補助金下附ノ有無  
 金三百圓 内務省ヨリ助成金 (大正十四年 同十五年)

名稱 社團法人 聖訓奉旨會

事務所々在 地 東京市牛込區市ケ谷田町三丁目二番地  
 創設年月日 大正二年十一月三日  
 經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社團 法人

口、代表者 子爵 清岡 長言

沿革概要

本會ハ大正二年十一月三日ノ創立ニシテ、内務文部兩大  
 臣ヨリ社團法人ノ許可ヲ得、大正八年ニハ大分、神奈川兩  
 縣支部ヲ大正九年ニハ青森縣支部ヲ、大正十三年ニハ  
 關西支部ヲ設立セリ。内務省ハ特ニ本會ノ事業ヲ贊贊シ  
 テ大正十年ヨリ毎年三千圓内外ノ國庫補助ヲ下附セラレ  
 東京府又本會ヲ助成スルコト數度ニ及フ。今ヤ東京大阪  
 京都ノ三府ニ於ケル各府教化團體聯合會並京都府融和團  
 體聯合會ノ加盟團體トシテ重ヲ爲シツ、アリ過去十五ケ  
 年間ニ於ケル本會主催ノ講演會ハ其ノ數三千數百回ニ及  
 ヒ、世界興亡一覽、皇幹臣枝、神社者國家之宗祀也、祭  
 神御系圖、神社參拜ノ眞義、其他圖書ノ頒布又數萬部ニ  
 達シ民心啓發ノ上ニ貢獻セシトコロ顯著ニシテ、新聞「聖  
 訓主義」ノ發刊既ニ第七十八號ニ達シ、破邪顯正文教ノ  
 振興ニ寄與セリ。其他本會ノ事業トシテ、或ハ菅公祭ヲ



執行シテ、詩歌ノ詠進書畫ノ表彰ヲ爲シ、或ハ招魂慰靈祭ヲ執行シテ、物故セル本會員ニ對シ追遠致敬ノ禮ヲ盡シ、或ハ御所離宮等ノ特別拜觀、或ハ御齒簿ノ特別奉拜等其他アケテ數フヘカラス。

目的及事業種類  
 イ、目的 皇祖列聖ノ聖訓ヲ奉體シ國民道德ノ振興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

- ロ、事業
- 一、講演會講習會ノ開催
  - 二、成人教育講座ノ開設
  - 三、新聞「聖訓主義」ノ發行
  - 四、斯道ニ關スル圖書ノ編纂刊行
  - 五、善行者功勞者ノ表彰
  - 六、其他評議員會ノ決議ヲ經テ必要ナリト認メタル事項

會員數及分布狀況  
 約 三千名  
 東京、横濱、京都、大阪ノ四大都市ヲ最多トシ青森縣、大分縣、朝鮮之ニ次キ新潟、山形、岩手、兵庫、徳島、北海道其他各縣ニ

散在ス  
 (會社、工場、商店ヲ會員トシテ其ノ社員職工店員ノ教養ヲナシツ、アリ其ノ數ニ至リテハ數萬人ニ達ス)

主ナル役員名並其氏名

會長(理事)子爵清岡 長言	顧問侯爵蜂須賀正韶
同 伯爵 二荒 芳徳	同 星野 錫
同 頭山 滿	同 大谷 嘉兵衛
監事 子爵 唐橋 在正	理事 伊藤實三郎
同 伊藤 末尾	櫻井 稻麿
同 齋藤 惇	目黒 潔
評議員 伊藤 萬助	市田 彌三郎
同 西川 甚五郎	同 田村 駒次郎
同 鳴海 文四郎	同 佐々木 嘉太郎
同 西條 清兵衛	同 杉本 鶴五郎

外六名  
 資産(種目別)

基本金 一萬四千六百二十三圓二十七錢  
 器具其他物品 二千七百六十五圓七十三錢  
 合計 一萬七千三百八十九圓

維持方法  
 會費、寄附金、補助金、基本金利子、其他ノ收入

昭和二年度豫算額	歳入	二一、七七〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一五、七四〇、六一
昭和三年度豫算額	歳入	一九、五七〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳出	一九、五七〇、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
金千七百圓	昭和二年度	内務省補助金
金二百圓	同	獎勵金
金千六百圓	同	補助金

備考  
 綱領  
 一、國體ヲ闡明シ 敬神尊皇ノ信念ヲ高メ國民精神ノ作興ヲ期ス

一、聖訓ヲ奉體シ 一視同仁ノ宣化ヲ勗メ人格觀念ノ徹底ヲ期ス  
 一、時運ヲ明察シ 修身齊家ノ修養ヲ努メ人類文化ノ創造ヲ期ス

名稱乃 木 講  
 事務所所在地 麴町區紀尾井町六番地  
 創設年月日 大正四年二月十一日  
 經營主體又ハ代表者 代表者 陸軍大將 一 戸 兵 衛

沿革概要  
 大正四年二月十一日故高橋靜虎發起人トナリテ本講ヲ設立シ總取締ニ故陸軍大將井口省吾故陸軍大將子爵大迫尙敏、大迫大將薨去ニ付陸軍中將摺澤靜天總取締代理ヲ勤メシカ陸軍大將一戸兵衛總取締ニ就任セルニ付摺澤中將總取締代理ヲ解任セリ現在ハ總取締一戸兵衛外陸軍中將



摺澤靜天、海軍中將寺垣猪三、陸軍中將河西惟一、陸軍少將林鍊作四名取締トシテ就任シ外幹事若干名ト共ニ事業ノ經營ニアタリ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

本講ハ修養團體ニシテ乃木大將御夫婦ノ心ヲ以テ心トシ神ヲ敬ヒ業ヲ勵ミ質素ヲ守ルヲ目的トス

一、雜誌發行 二、出張講演 三、毎月例会開催

會員數及分布狀況

東京 二一、埼玉 二、千葉 二三、茨城 一六、神奈川 三  
 福島 二、岩手 一、青森 二、栃木 二、群馬 六、山形 一  
 静岡 一五、山梨 七、長野 三一、愛知 五、大阪 一四  
 岐阜 五、新潟 二、富山 一、和歌山 一、鳥根 一、鳥取 一  
 京都 四、兵庫 六、徳島 二、廣島 三、愛媛 六、長崎 一七  
 大分 七、熊本 一五、福岡 三、臺灣 三、朝鮮 二、北海道 九  
 南米 一、  
 二百四十講社

主ナル役職名並其氏名

講員約 一萬七千五百

總取締 陸軍大將 一戸兵衛

取締 陸軍中將 摺澤靜天

同 海軍中將 寺垣猪三

同 陸軍少將 林鍊作

同 海軍主計少將 加藤八太郎

同 井上眞吾

常務幹事 町田金六 同 福田武三

同 町田照雄

資産(種目別)

基本金 三千六百十六圓  
 器具其他物品 百五十圓  
 印刷物 二百五十圓

維持方法

機關誌乃木講友代ノ收入、講員其他ノ寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

昭和二年度豫算額 歳入 八、〇八〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 五、九三五、一一  
 歳出 四、九七三、二二

昭和三年度豫算額 歳入 六、二二〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金五百圓 大正十一年一月二十一日 下賜

金二百圓 大正十四年九月十日 各宮殿下賜

金百圓 昭和二年二月 政府ヨリ助成

金百圓 昭和三年二月 同

備考

講社並講員ハ年々月々ニ増加ノ處アリ近來ハ工場方面ニ於テ乃木講社ヲ經營セルモノ九工場、主ナル工場左ノ如シ  
 石川島造船所、東洋電機横濱工場、大林組工場、吉村木工場、  
 日本ソレヂツト工場

名稱 鐵道道友會

事務所所在地 東京市牛込區矢來町六六番地

創設年月日 大正四年六月

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織

口、代表者 大谷尊由

沿革概要

明治四十一年鐵道從來員ノ修養講話ヲ開始シ大正四年以後ハ鐵道省所定ノ定期講話ニ從事シ又特別講話ヲ開キテ從業員ノ慰安ト修養ニ努力シツ、アリ又公傷退職者ノ救濟ヲ開始シ現ニ十一名ヲ救濟シ居リ一方大正六年道友學會ヲ經營シ從業員子弟ノ東都遊學ニ資スル等常ニ交通機關ノタメニ盡シツ、アリテ大正十三年四月教化團體聯合會ニ加盟今日至ル。

目的及事業種類

イ、目的 鐵道並ニ諸交通機關ノ從業員ノ精神修養並ニ慰安ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業 一、巡回講話 二、公傷者救濟

三、道友學會 四、雜誌發行

五、講習會



會員數及分布狀況

1、會員數 七千三百名

口、分布狀況

東京鐵道局管内	一、二二二名
仙臺鐵道局管内	一、三二五名
札幌鐵道局管内	一、四四六名
大阪鐵道局管内	九五五名
名古屋鐵道局管内	一、二〇〇名
門司鐵道局管内	一、一五二名

主要役員名並其氏名

1、役員

會長	大谷 尊由
理事	大道 良太 同 村井 二郎 吉
同	梅山 英夫 同 後藤 環 爾
常務理事	松原 致遠

監事 實 關 善 教 同 梅山 英夫

口、職員

庶務主任 前田 鶴三 編輯主任 木村 岫三

資産(種目別)

一、基本金	四千圓
二、建物	一萬二千圓
三、設備品	五千圓
合計	二萬一千圓

維持方法

本願寺、内務省、鐵道省等ヨリノ補助下附金、事業收入金、會費等ニ依ル。

昭和二年度豫算額 歳入 一、一五二、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 一、三二五、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 一、二〇二、五〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

1、目的 赤穂義士ノ遺烈ヲ宣揚シ名節ヲ砥勵シ大詔聖旨ヲ普及シ國民思想ヲ善導スルヲ以テ目的トス

口、事業 一、大詔聖旨ノ徹底、國民精神作興ニ努ムル

二、義士精神ノ普及ニ努メ講演、映畫會開催

三、義士ニ關スル文書ノ刊行

四、義士ニ關スル史實ノ研究、遺蹟顯彰

五、義士ニ關スル文藝ノ普及會報ノ發行

六、義士ノ祭典

七、義士會館、義士文庫ノ建設

會員數及分布狀況

東京市ヲ中心トシ全國各地ニ會員ハ分布セリ。東京府下ニ約一千名各地方ニ一千五百名聯合義士會加盟團體左ノ如シ。長野義士會、信濃義士會、赤穂義士會、富山共盟義士會、長岡義士會、十勝義士會、高鍋義士會、

名稱 中央義士會

事務所所在地 東京市京橋區元數寄屋町二ノ九對鶴館内

創設年月日 大正五年二月二十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 龜岡 豊二

沿革概要

創立大正五年二月二十八日、同年十二月十四日發會式ヲ舉行ス。創立委員長(故)福本誠君選バレテ第一回幹事長トナル。

大正十年九月二日福本誠君病歿セシ爲評議員會ヲ開キ後任者トシテ名譽協賛會員龜岡豊二君ヲ推薦シ今日ニ及フ目的及事業種類



主ナル役職名並其氏名

イ、役員

名譽會員 侯爵 淺野 長勳 外若干名  
 評議員 三輪田元道 高島平三郎 外若干名  
 幹事長 龜岡 豊二  
 常任幹事 井筒 調策  
 幹事 福本 榮 外若干名

資産(種目別)

一、器具及什器 六百圓  
 二、圖書及印刷物 一千二百圓  
 合計 一千八百圓

維持方法

寄附金並ニ會員ノ會費ヲ以テ之ニ充ツ  
 昭和二年度豫算額 歳入 六、〇〇〇、〇〇  
 歳出 三、〇二七、九一  
 昭和二年度決算額 歳入 二、五四八、五五  
 歳出 六、〇〇〇、〇〇  
 昭和三年度豫算額 歳入 六、〇〇〇、〇〇  
 歳出 六、〇〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金三百圓 大正十四年二月 内務大臣ヨリ下附  
 金一百圓 昭和二年二月 同  
 金一百圓 同 三年二月 同

\*\*\*\*\*

名稱 日本魂社

事務所所在地 東京市京橋區南八丁堀櫻橋南側

創設年月日 大正五年四月三日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 個人 經營

口、代表者 後藤 武夫

沿革概要

外來思潮ノ影響ヲ受ケ國民思想動搖シ道義ノ頹廢甚シキニ際シ人心ノ安定ヲ圖ルハ一ニ日本建國ノ理想ニ基キ固有ノ良風美俗ヲ支持スルニ在リト信シ大正五年四月三日ノ神武天皇祭ヲ期シテ本社ヲ創立シ同年六月一日國民精

神作興雜誌「日本魂」ヲ發行シテ専ラ日本精神ノ鼓舞作興ニ努メ更ニ別記ノ事業ヲ遂行シツ、今日ニ至ル  
 目的及事業種類

- イ、目的 日本道德ノ精髓タル天皇中心主義忠孝主義ノ鼓吹ニ努メ以テ國民精神ヲ作興シ國運ノ隆昌ヲ圖リ延テ世界ノ平和ニ貢獻スルニ在リ
- 口、事業 一、雜誌及圖書ノ發行 二、講演會ノ開催 三、有爲人物ノ養成 四、模範人物ノ表彰 五、善風美俗ノ支持 六、陋習迷信ノ打破 七、人格教育ノ高調 八、青年團ノ統一指導 九、學生ノ國家思想涵養 十、世界文化ノ研鑽 十一、勞資協調ノ實行

會員數及分布狀況

社友 三六、五〇〇  
 支社 五六

會員數及分布狀況

東京市及近郊 一三、五〇〇  
 横濱市及近郊 五〇〇  
 大阪市及近郊 五、〇〇〇  
 京都市及近郊 二、五〇〇  
 神戸市及近郊 八〇〇  
 名古屋市及近郊 一、〇〇〇  
 全國各地 一三、二〇〇

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

社長 後藤 武夫  
 幹事 平松 莊一 同 藤田 守一  
 同 前田 昌德 同 宮崎 享  
 同 中山 賢一 同 興石 正義

口、職員

專任幹事 芳井 直利

資産(種目別)

固定資本トシテ特ニ計上スヘキモノナキモ建物、器具、其他物品



印刷機械等總テ社長ノ經營スル帝國興信所ノ所有物ヲ使用ス尙  
所要ノ經費ハ社長後藤武夫之ヲ負擔シ、一切寄附金ヲ募集セス

維持方法  
社長後藤武夫全部之ヲ負擔ス

昭和二年年度豫算額	歳入	七七、〇〇〇、〇〇
	歳出	〇
昭和二年年度決算額	歳入	七五、三〇〇、〇〇
	歳出	七八、五〇〇、〇〇
昭和三年年度豫算額	歳入	七五、〇〇〇、〇〇
	歳出	七九、〇〇〇、〇〇

(決算不足額ハ全部社長之ヲ負擔ス)

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

金二百圓 昭和二年二月助成金トシテ内務省ヨリ下附  
金二百圓 昭和三年二月上

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人聖德太子奉讃會

事務所々在 東京市麻布區我善坊町三十二番地

創設年月日 大正五年十月十一日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

沿董概要 代表者 侯爵細川護立

大正五年十月十一日聖德太子一千三百年御忌奉讃會ヲ設  
立シテ大正十年四月十一日大和法隆寺ニ於テ奉行シタル  
聖德太子一千三百年御忌聖靈大會ヲ奉讃シ次テ記念事業  
ヲ遂行シタリ

其後大正十三年二月二十二日主務大臣ニ對シ財團法人設  
立ノ出願ヲ爲シ同年九月十一日之ヲ許可セラレ今日ニ至  
ル

目的及事業種類

イ、目的 聖德太子ノ偉德鴻業ヲ奉讃闡明スルヲ目的ト

ス

ロ、事業 一、講演會ヲ開キ又ハ宣傳文書ヲ發行配布ス

ルコト

二、遺跡ヲ保護シ且ツ法隆寺勸學院ノ維持發  
展ヲ圖ルコト

三、五十年毎ニ舉行セラル、聖靈大會ヲ奉讃  
スルコト

四、法隆寺ニ於テ五年毎ニ執行セラル、御忌  
法要ヲ奉讃スルコト

五、記念展覽會ヲ開催スルコト

六、特殊ノ事項ヲ研究調査セシメ表彰及懸賞  
ノ方法ニ依リ學藝ヲ獎勵シ又ハ著作編纂  
物ヲ出版ス

七、施樂ヲ行フコト

八、其他聖德太子ニ關係セル事業

會員數及分布狀況

顧問	四名
評議員	百七十名
内	東京 一二五 京都 一七
	大阪 八 兵庫 九

奈良	四	神奈川	二
札幌	一	小樽	一
名古屋	一	福岡	一
仙臺	一		

特別委員 三十二名

新潟縣名香山翼贊會

主ナル役職名並其氏名

總裁 久邇宮朝融王殿下

イ、役員

會長 侯爵細川護立	理事 松井茂
副會長 子爵澁澤榮一	理事 正木直彦
理事 伊東忠太	理事 藤岡勝二
理事 林春雄	理事 江崎政忠
同 加藤正治	理事 園琢磨
同 高楠順次郎	同 桐島像一
同 高島米峯	主事 山岡超舟
同 黑板勝美	



口、職員

庶務主任 増永吉次郎  
會計主任 川口 孝

資産(種目別)

一、基本金	三十六萬五千五百圓
二、恩賜金	五萬一千圓
三、器具其他物品	二千五十八圓
四、印刷物	一千七百五十圓
合計	金四十二萬三千八百圓

維持方法

資産ヨリ生スル利子、寄附金、出版物賣上金等ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額

歳入 四六、一七六、五五

昭和二年度決算額

歳入 五七、五二〇、一二

昭和三年度豫算額

歳入 二四、三一三、四三

獎勵金並補助金下附ノ有無

歳入 六九、二二〇、七〇

金四萬圓	御下賜金	大正十年四月一日
金五百圓	東宮殿下ヨリ御下賜金	大正十年四月五日

金一千五百圓 各宮家ヨリ賜金  
金一千圓 久邇宮朝敵王殿下ヨリ賜金 昭和四年二月五日

備考

熱海翼賛會ヲ初メ各府縣ニ亘リ逐次設立加盟ノ見込ナリ

\*\*\*\*\*

名稱 株式會社天業民報社

事務所所在地 東京市下谷區上野櫻木町一番地

創設年月日 大正六年五月

經營主體又ハ代表者 伊、經營主體 株式會社

口、代表者 田中巴之助

沿革概要

明治二十三年「師子王」誌ノ發行ニ始マリ以後「妙宗」日蓮主義ト改題シ、大正八年雜誌「毒鼓」ヲ發行、大正九年「毒鼓」及明治四十二年發行ノ旬刊「國柱新聞」ヲ合併シ日刊「天業民報」ヲ起シテ今日ニ至ル、故ニ過去ヨリ通算ス

會員數及分布狀況

天業民報支局ヲ設置スルコト左ノ如シ

日本橋支局	京都支局	大邱支局
濱松支局	神戸支局	長春支局
横濱支局	下關支局	上海支局
名古屋支局	大連支局	大牟田支局
大阪支局	小樽支局	長崎支局

其他全國ニ取次店ヲ有ス

要スルニ信仰的ニ集マル内外各地ノ報友 七千餘

賛同的ニ購讀スルモノ六萬ヲ算ス

主ナル役職名並其氏名

社長	田中巴之助	山川傳之助
取締役	田中巴之助 同	小泉徳兵衛
同	遊馬慶太郎 同	長瀬米次
同	豊田傳次郎 同	杉浦 靜
監査役	早田傳之助 同	
同	稻津幸次郎	
主筆	山川傳之助	

レハ三十七年ニ亘リ日刊發行以來滿七年一ヶ月ヲ經過ス  
昭和三年五月ヨリ月刊雜誌、「明治」「立正教壇」「天業政治」「天業民力」ヲ發行ス

目的及事業種類

イ、目的

美事善行ヲ獎勵シ思想壇上ノ非違ヲ糾正シ社會諸般ノ問題ニツキ日本國體ヨリ見タル正當ナル解決ヲ下シ以テ人心ノ右傾ト左傾トヲ防キ進ンテ日本國體ノ眞精神ニシテ神武天皇ノ詔勅タル積慶、重暉、養正ノ大道ヲ發揮シ開發シ以テ國民ノ眞實ナル日本天皇ノ臣民タラシムルニアリ

ロ、事業

一、日刊天業民報、月刊雜誌、書籍ヲ刊行ス  
二、社内ニ講演部ヲ置キ全国各地ニ右ノ趣旨ヲ講演シ之カ普及ニ努ム  
三、全國各鐵道主要驛、全國要路ノ大官、知名ノ士ニ天業民報ヲ寄贈ス



編輯主任 鹽崎滿彦 同 武田甲子太郎  
 講演部長 志村智鑑  
 編輯監補 保坂麗山 同 高知尾誠吉

資産（種目別）

一、基本金  
 二、建物、土地、事務所使用権利金、七九、八七九、二八五  
 三、器具、其他物品、 七二、八五三、五二〇  
 四、印刷物 三二、〇八五、六五九  
 合計 一八四、八一八、四六四

維持方法

信仰の法友、賛同の諸友ノ民報料金を主トシ不足額二萬五千乃至三萬五千ハ株式会社代理部ノ益金、及同志ノ寄附金を以テ充當シ今日迄差障ヲ生スルコトナシ

昭和二年度決算額 歳入一〇七、五五三、六四  
 歳出一三二、七四七、四七

獎勵金並補助金下附ノ有無（昭和二、三年度）

金二百圓 政府ヨリノ補助金 昭和二年度

二十一日國民教化講演會ヲ開催ス其後開會スルコト六十六回同年十二月十五日京橋會館ニ於テ發會式ヲ舉行ス内務大臣東京市長及東京商業會議所會頭ヨリ祝辭ヲ寄セラ。大正八年一月十九日佛教講座ヲ開始ス其後開會スルコト九十六回。同十月十六日儒教講座ヲ開始ス其後開會スルコト五十二回。大正九年三月二十三日神道及國史講座ヲ開始ス其後開會スルコト二十回。大正十年四月二十九日政道及法制講座ヲ開始ス其後開會スルコト四十八回。大正十三年二月三日御成婚奉祝講演會ヲ開催ス。同十月三日勝海舟遺蹟保存清明文庫設立ノ計畫ヲ發表ス。大正十四年十一月三日ヨリ同月八日迄上野公園日本美術協會ニ於テ勝海舟事蹟史料展覽會ヲ開催シ同期中 高松宮殿下 山階宮藤麗王殿下 竹田宮大妃殿下ノ台臨ヲ辱フシ尙閉會後御恩召ニ依リ重要資料九十餘點ヲ宮中西溜間ニ陳列シ同所ニ於テ 皇后陛下 東宮殿下ノ台覽ヲ辱フシタリ。大正十五年九月二十四日西郷南洲先生五十年祭ヲ

金二百圓 同 同 三年度  
 備考

組織ハ株式會社ナルモ發行ノ日刊天業民報ヲ始メ刊行書類ハ日本國體ノ醇義ヲ宣揚シ社會教化ノ指導ヲ以テ任トシラレリ上記印刷物代ハ頒布用在庫書籍ノ代ナリ  
 基本金トシテハ計上ナキモ資本金ハ六十萬圓ニシテ拂込株金ハ二十三萬四千九百圓ナリ

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人 清明會

事務所所在地 荏原郡馬込町三三三番地

創設年月日 大正七年四月二十八日

經理主體又ハ代表者 一、經營主體 財團法人

二、代表者 男爵平山成信

沿革概要

大正七年四月二十八日宮原六郎本會ヲ設立ス。同年七月

執行シタリ。昭和二年二月十二日大正天皇奉悼講演會ヲ開催ス。同十二月九日王政復古六十周年記念講演會ヲ開催ス。昭和三年四月十一日江戸開城六十周年記念ノ爲帝都郊外洗足池畔ニ建設セル勝海舟先生遺蹟保存清明文庫工事落成式ヲ舉行ス、同日江戸開城六十周年記念講演會ヲ開催ス。同年十月十三日東京食都六十周年記念講演會ヲ開催ス。昭和三年十月二十日ヨリ十日間清明文庫ニ於テ東京食都六十周年記念ノ爲勝、西郷、兩雄追憶展覽會ヲ開催シ開期中 秩父宮殿下御台臨ノ光榮ヲ蒙リタリ。同年十一月二十日ヨリ十日間清明文庫ニ於テ御大禮奉祝ノ爲海軍史料展覽會ヲ開催シ開期中 高松宮殿下御台臨ノ光榮ヲ蒙リタリ。

目的及事業種類

一、目的 教育勅語ノ聖旨ヲ奉シテ教化ノ淵源ヲ究メ且憲法發布勅語ノ聖旨ヲ體シテ臣民翼賛ノ本義ヲ明ニシ忠良ナル國民ヲ教養スルヲ目的トス



口、事業種類

- 一、清明文庫ヲ設立スルコト
- 二、清明學舎ヲ設立スルコト
- 三、清明講座ヲ開催スルコト
- 四、清明講演會ヲ開催スルコト
- 五、清明武育會ヲ開催スルコト

會員數及分布狀況

六百餘名

東京府及千葉縣ニ居住ス

主ナル役職名並其氏名

理事 會長 男爵 平山成信  
 (イロハ順)  
 理事 男爵 井上清純 同 服部宇之吉  
 同 本多辰次郎 同 大橋新太郎  
 同 矢野恒太 同 紀平正美

資産(種目別)

同	宮原六郎 同	志田鉀太郎
同	清水澄	
監事	澁谷嘉助 同	菅原恒寛
土地	三〇、〇〇〇、〇〇	
家屋	六六、五〇〇、〇〇	
門及外圍	三、五〇〇、〇〇	
速記及原稿	三、一五七、五〇	
未收寄附金	一、〇〇〇、〇〇	
銀行預金	四、二六七、七七	
合計	一〇八、四二五、二七	

維持方法

寄附金ニ依ル

昭和三年度決算額 歳入 六九、八〇七、八八  
 歳出 八三、五八一、五八  
 昭和四年度豫算額 歳入 三一、七〇〇、〇〇  
 歳出 三一、七〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金一千圓 御下賜金 大正十四年十二月四日

金三百圓 内務省助成金 大正十四年二月十一日  
 金二百圓 同 十五年二月十一日  
 金二百圓 同 昭和二年二月十一日  
 金二百圓 同 三年二月十一日

\*\*\*\*\*

名稱 日本青年修養會

事務所所在地 瀧野川町大字中里二四〇番地

創設年月日 大正七年五月十三日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織

口、代表者 高田 功

沿革概要

大正七年五月十三日創立ト同時ニ月刊雜誌「青年タイムス」ヲ發行、其ノ利益ヲ以テ教化事業ニ従事、大正十一年三月東京市本郷區根津須賀町ニ青年宿泊所ヲ設置(十二年閉止) 大正十四年ヨリ農作物增收ノ實地指導ヲ開始

目的及事業種類

イ、目的 青年男女ニ健全ナル國民、善良ナル公民タルノ素質ヲ得セシムルヲ以テ目的トス

口、事業ノ種類

- 一、修養ニ關スル講演講習
- 二、圖書刊行
- 三、農業ノ實施指導
- 四、兒童保健園ノ經營
- 五、青年保健園ノ經營
- 六、簡易圖書館ノ經營
- 七、保健農園ノ經營

會員數及分布狀況

會員總數 十萬八千人

會員ノ分布狀況ハ全國殆ント人口ニ正比例ス



主たる役員並其氏名

會長	高田 功
副會長	阪部 熊吉
同	森本 光男
顧問	森本 信次郎
設立者	高田 功
	森本 信次郎

資産(種目別)

現金(銀行預金)	二千圓
刊行圖書	八千五百六十二圓
著作權及紙型	二萬二千圓
器具什器	五百圓
農園權利金	一萬二千圓
保健園權利金	三千圓

維持方法

圖書刊行ノ利益金及ヒ保健園ノ收穫ヲ以テ之ニ充當シ不足ノ場  
合ハ設立者及ヒ篤志家ノ寄附ニヨリ支辨ス

創設年月日 大正七年六月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 後藤 靜香

沿革概要

皇室ヲ中心トシ宗派年齡男女等ノ別ナク社會教化ヲ目的  
トシテ大正七年六月一日創設以來、後藤靜香ノ單獨執筆  
ニヨル修養冊子ノ普及ヲ中心トシテ順次各種ノ教化事業  
並ニ社會事業ハ何レモ奇蹟的發展ヲナセリ、目下發行ノ  
月刊修養冊子五種ハ何レモ新聞廣告ヲセス又賣店ニ依頼  
セス凡テ個人ヨリ個人ヘノ確實ナル歩ミヲ續ケ全部本社  
ヨリ發送シテ愛讀スル誌友約七十萬ニ達シ尙毎月約二萬  
ノ新加入者アル現況ナリ  
而シテ此ノ誌上ヲ通シテ發表スル幾多ノ事業ハ着々トシ  
テ進ミツツアリ

目的及事業種類

イ、目的 皇室ヲ中心トシタル社會教化ヲ以テ目的トス  
ロ、事業

昭和二年年度豫算額 歳入 二七、二八〇、〇〇

昭和二年年度決算額 歳入 二七、二八〇、〇〇

昭和三年年度豫算額 歳入 三五、八〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金一百圓 内務省ヨリ助成金 昭和二年二月十一日

金一百圓 同 三年二月十一日

備考

一、保健農園ノ一萬二千坪、兒童保健園ノ三萬坪ハ東京自動車  
學校長鈴木靖二氏ノ無償提供ニ依ルモノナリ

二、刊行圖書ノ重ナルモノハ中學講義録ニシテ本年八月迄ニ完  
了ノ豫定ナリ

\* \* \* \* \*

名稱希望社

事務所所在地 東京府下西大久保二三六番地

一、社會ノ倫理化—善風作興ニ關スル方面

教化ニ關スル印刷物發行、敬神思想ノ涵養(神  
前早天修養會、祈願雜巾奉納等)、敬老事業、各種  
修養會及講習會ノ開催、各種救護及慰問事業、  
合理的炊事法及洗濯法ノ普及等

二、教育ノ生産化—勤勞教育ニ關スル方面

勤勞女學校及日本印刷學校ノ經營、多摩勤勞中  
學ノ應援學生勤勞班ノ派遣、男女修養寄宿舎ノ  
經營、精勤者ノ表彰等

三、産業ノ教育化、相互教育ニ關スル方面

良書ノ提供、讀書中心ノ相互修養會ノ獎勵、講  
師派遣等

會員數及分布狀況

會員組織ニアラサルモ本社ニ名簿ヲ有シ毎月本社發行ノ修養冊  
子(五種)ヲ購讀スル誌友約七十萬アリ、而モ毎月平均一萬以上  
ノ割ニ増加シツツアリ、



全国各地ハ勿論、軍艦並ニ海外ニモ普及セリ、  
福岡縣ハ既ニ五萬以上、埼玉、兵庫兩縣ハ何レモ三萬以上、東  
京、大阪、長野、愛知ハ各二萬以上ノ誌友ヲ有ス、  
又福岡、佐賀、埼玉、群馬ノ諸縣ハ縣下各市町村ニ何レモ五十  
名以上、平均百名内外ノ誌友普及セリ、

尙人口一萬人ニ對スル誌友普及ノ割合ハ本年二月初ノ調査ニ於  
テ埼玉二六三、佐賀二二四、福岡二二二、群馬一六四、長野  
一五三、奈良一五一、鳥取一四二、兵庫一三七等ナリ  
カクテ組織アル全國的教化網ハ年ト共ニ完全ニ敷カレツツアリ

主ナル役職名並其氏名

社主 後藤 靜 香  
社員 大石 勝 治

外約二百名

資産(種目別)

土地(事務所建築地) 五〇、八〇〇、〇〇〇  
建物(事務所用) 二〇一、〇〇〇、〇〇〇  
機械器具其他物品 一二五、〇〇〇、〇〇〇

印刷物 一五、〇〇〇、〇〇〇  
合計 三九一、八〇〇、〇〇〇  
負債 二二一、九三〇、〇〇〇

維持方法

誌代及出版部收入寄附金其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 七五九、二五〇、四四〇  
歳出 八二五、二四五、六二五  
昭和二年度決算額 歳入 八三〇、六四〇、八八〇  
歳出 八三〇、六四〇、八八〇  
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
金三千圓 御下賜金 昭和二年十二月  
昭和二年度 同 政府補助金 二百圓  
政府補助金 五百圓  
昭和三年度 御下賜金 三百圓 慶福會補助金 一千圓  
政府補助金 三百圓

名稱 働 く 會

事務所所在地 麻布區本村町百五十三番地

創設年月日 大正七年七月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 峯 田 一 步

沿革概要

大正四年四月小資本企業調査ヲ了ヘテ歸朝セラレタル峯  
田氏ハ近代思想中特ニ黄金偏重物質萬能ノ風靡然トシテ  
我カ國ニ彌漫シ農村ノ子弟相踵イテ都市ニ集注シ爲ニ農  
村ノ漸次荒廢スルヲ痛歎シ朝野ノ名士ト相諮リ帝國農村  
保護協會ヲ設立シテ農村ニ巡回講演ヲナシ又娛樂ヲ與ヘ  
以テ農村ノ振興ヲ計ルト共ニ一面農村ヲ後ニ都會ヘノ移  
住スル者ノ誘惑魔ニヨリ隨落失望敗殘スル者ノ多キヲ憂  
ヘ是等ヲ救済保護ヲ爲スヘキ大正七年働ク會ヲ創立スル  
ニ至レリ爾來「稼クニ追付ク貧乏ナシ」「不平ハ出世ノ行  
止リ」ノ二大標語ニヨリ幾多ノ辛酸ヲ嘗メ地方出ノ青年  
ヲ鞭撻指導シ簡易宿泊ノ斡旋、簡易食堂簡易宿泊所ヲ施  
設シテ無産者ノ救済ヲ計リ「味ノ素食堂無斷湯呑所」ヲ設

ケ「無料統ヒ縫ヒ」ヲ開始シ機關雜誌「はたらく」ヲ發行シ  
以テ仕事ハ忠實ナルヘキヲ主張シツ、慰安ヲ與ヘ裡ニ忠  
孝ノ大道ヲ鼓吹シ今ニ及ヘリ

目的及事業種類

1、目的 精神作興、思想善導、労働助長、勤勞鼓吹  
口、事業種類

簡易宿泊所、通俗講演、簡易食堂、労働者慰安  
講演、職業紹介、牛馬ノ湯、人ニ茶接待、獨  
身者ヘ無料統ヒ縫ヒ巡回隊

會員數及分布狀況

會員 一萬餘人  
分布狀況 全國的

主ナル役職名並其氏名

會長 峯 田 一 步  
幹事 峯 田 伴 助 同 高橋源次郎  
同 鈴木卯之助 同 鈴木 治  
會計 外山 鋼 子



維持方法

助成金及會長出資金ニ依ル

昭和二年年度決算額	歳入	一二、一〇五、〇〇〇
	歳出	六、五一七、〇〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	一二、四〇四、〇〇〇
	歳出	一一、二五〇、〇〇〇
昭和三年年度決算額	歳入	一一、二五〇、〇〇〇
	歳出	一一、二五〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金一千圓	昭和二年度	慶福會
金二百圓	同	内務大臣
金五十圓	同	東京府知事
金八百圓	昭和三年度	慶福會
金二百圓	同	内務大臣
金五十圓	同	東京府知事

備考

東京市内尋常高等小學校生徒ニ對シ(二十一校)毎日善事ヲ働キシ事ヲ記入ノ爲本會ヨリ日記帳ヲ提供シ受持調導ト聯絡ヲ探リ勸勞ノ精神ヲ涵養シツ、アリ

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人 生活改善同盟會

事務所々在地 東京市麴町區大手町一丁目七番地文部省内  
創設年月日 大正九年一月二十五日

經營主體又ハ又表者 代表者 公爵伊藤博邦  
沿革概要

大正九年一月二十五日發會シ大正十一年七月十一日財團法人設立ノ申請ヲナシ同年十一月十二日文部大臣ノ認可アリタリ

本會ハ創立以來講演會講習會ヲ開催シ生活改善ノ各種調査ヲ行ヒ今ヤ各地ノ支部ト提携シテ愈々其ノ宣傳實行ニ努力シツツアリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ社會民衆ヲ教育シ國民生活ノ改善向上ヲ期スルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、衣食住社交儀禮ノ改善ニ關スル調査  
二、生活改善ノ實物宣傳普及實行ノ促進

會員數及分布狀況

會員數

贊助會員	二二二名
特別維持會員	一二名
維持會員	九五四名
普通會員	一一、五六二名
計	一二、七四〇名

支部所在地

石川、秋田、岡山、愛知、室蘭、門司、  
鹿兒島、松本、廣島、銚子、新潟、一宮、  
京都、米澤、高知、龍ヶ崎、甲府、

主ナル役員名並其氏名

會長 公爵 伊藤 博邦
副會長 星野 錫
同 本野 久子

三、講演會講習會、展覽會等ノ開催

四、會誌並ニ調査報告ノ發刊

五、其他生活改善上必要ナル事項

資産(種目別)

一、基本金	三千八百圓
二、器具其他物品	二千五百六十八圓二十二錢
三、印刷物	二千四百九十七圓七十五錢
合計	八千八百六十五圓九十七錢

理事長	井上敬次郎	
常務理事	吉武定夫	
理事	池園哲太郎	飯田旗郎
	井上 秀	本郷昌武
	戸野みちゑ	土肥修策
	大野絲一郎	小尾範治
	吉岡彌生	武部欽一
	棚橋源太郎	山本留次
	塚本ハマ	松平俊子
	間島與喜	三輪田元道
	水野萬壽子	宮田 修







名稱 婦人復興會

事務所所在地 東京市外濠谷町上通り一ノ十六

創設年月日 大正九年三月

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織

口、代表者 鈴木 珠

沿革概要

國民精神作興ノ御詔書ヲ奉體シ婦人相互ノ精神の向上ニ努メ奢侈遊惰ノ弊風ヲ去リ質實剛健ノ氣風ヲ作興シ國民精神ノ涵養ヲ計リ徹底的の改善又實際ト理論ノ實現ヲ期シ一方婦人ノ宿泊及授産ニ就テ物質的のヨリ精神のヘノ道ヲ執リ職業輔導ノ一トモナシ失業セル婦人ノ救済職業ノ援助ヲナス他女子ノ思想的の修養ヲ專ニナス爲メ講演會講習會ヲ開催、活動寫眞會パンフレット等ヲ以テ指導ノ方法ヲナス

目的及事業種類

イ、目的 國民精神作興ノ御詔書發ニ際シテ御聖旨ヲ奉

體シ婦人相互ノ精神の向上ニ努メ奢侈遊惰ノ弊風ヲ去リ質實剛健ノ氣風ヲ作興シ國民精神ノ涵養ヲ計リ實際生活ノ上ニ徹底的の改善スルヲ目的トス

口、事業種類

講演講習會授産所並ニ宿泊等、パンフレット及宣傳ビラ發行

會員數及分布狀況

會員數ハ約二千名位ニシテ全国各地ニ散在ス其ノ主ナル處ハ左ノ通り  
長野縣(支部アリ)  
群馬縣  
埼玉縣  
千葉縣等ナリ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 死亡ニ付目下選考中

金一百圓 内務大臣ヨリ補助金ノ下附ヲ受タ 昭和二年

\*\*\*\*\*

名稱 鐵道共敬會

事務所所在地 東京市淺草區橋場町一〇四

創設年月日 大正九年五月二十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 安藤 嶺丸

沿革概要

大正九年共產的思想ノ襲來ニ對シ、國民精神涵養ノ急務ナルヲ感シ、特ニ團體的生活者ニ向ツテ最モノノ緊切ナルヲ認メ鐵道省公認教化團體トシテ、全國鐵道従業員ニ對スル精神講話ヲ擔當スルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 佛陀ノ精神ヲ奉戴シ、自他共敬ノ主張ニ立チテ、鐵道従業員ノ思想善導

理事 黒岩 芳惠 同 黒岩 春野  
同 木下 梅子 同 秦 春江  
同 安岡 てい  
常務理事 鈴木 珠

口、職員

高橋 咲 木下 和歌

資産(種目別)

家屋、什器、機械(ミシン)類、寝具等ニテ 一金四千四百圓

維持方法

經費ノ大部分ハ設立者之ヲ負擔ス、他ハ同志ノ寄附、又ハ補助

金ヲ以テ之ニ充ツ

和昭二年度豫算額 歳入 一、二〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、二〇〇、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 一、二〇〇、〇〇〇

奨励金並補助金下附ノ有無



口、事業 一、巡回精神講話

二、文書(雜誌「きょうけい」無料配付)

三、特別講演

四、従業員家族慰安

五、殉職並ニ殉難者葬儀法要

六、傷病者慰問

會員數及分布狀況

一、會員數 一萬五千餘

二、分布狀況 全國(特ニ東北、北海道、九州)

主ナル役職名並其氏名

會長 酒井日慎  
 専務理事代表者 安藤嶺丸  
 理事 壬生雄舜 同 久保觀雅  
 同 相澤湛海 同 田中海應  
 同 原田靈道 同 織田活道  
 同 加藤文雄

主事 小林良甫

維持方法

一、聯合各宗派ノ出資

二、會員會費

三、特志寄附

昭和二年度豫算額 歳入 一五、二五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一五、二五〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 一七、一五〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金二百圓 昭和二年度

金一百圓 同 三年度

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人 皇 民 會

事務所所在地 東京市赤坂區中ノ町十四番地

創設年月日 大正九年七月十二日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財 團 法 人

口、代表者 海軍中將宮岡直記

沿革概要

大正四年皇國青年團又ハ大日本帝國青年團ノ名ノ下ニ地方青年團在郷軍人分會教育會宗教團體ト連絡ヲトリ専ラ國民思想ノ善導ニ盡瘁セントメ講演會ヲ開催シ印刷物ヲ頒布シ來リ大正八年一月皇民一性會ト改名シ目的ニ向ツテ奮勵努力シタル結果世人ノ認ムル所トナリ同志モ意ヲ強フシ益々本會ヲ擴張シ一層積極的ニ目的遂行ヲ計ルタメ大正九年七月十二日組織ヲ改善シ基礎ヲ鞏固ニスルタメ財團法人トシ皇民會ト改名セリ。

目的及事業種類

イ、目的 國民思想善導

口、事業 一、講演會講習會ヲ開催スルコト

二、會報ヲ發行シ時々教化ニ必要ナル書籍ヲ

刊行頒布スルコト

三、今上陛下御成婚記念文庫及皇民會館ヲ維持シ之レヲ公開シテ一般教化ノ用ニ供ス

ルコト

四、其他社會教育ニ關スル事業ヲナスコト

會員數及分布狀況

一、支部數 四六

二、會員數 一、五二七

主ナル役職名並其氏名

イ、役員  
 會長 宮岡直記  
 常務理事 小原正恒 同 龜岡豊二  
 理事 北條時敬 同 松井 茂  
 評議員 伊豆凡夫 同 東郷吉太郎  
 同 加藤熊一郎 同 高島平三郎  
 同 山田三良 同 泉二新熊



評議員	青木菊雄	同	小林一郎
同	山口彈正	同	宮岡直記
同	北條時敬	同	龜岡豊二
同	松井茂	同	小原正恒
職員	小山甲子生	井筒調策	瀧澤武雄

資産(種目別)

一、基本金	一萬圓
二、銀行預金	二萬一千二百二十九圓七十二錢
三、振替貯金	八十七圓八錢
四、現金在高	十五圓八十四錢
五、倉 儲	七千二百二十二圓八錢
六、什器備品	一千九百五十五圓四十錢
七、圖書	一萬七千八百三十三錢
合計	五萬五千二百七十九圓九十五錢

維持方法

一、篤志者ヨリノ寄附金	
二、會員ノ會費	
三、基本金ノ利子	
昭和二年度決算額	歳入 六、四四八、〇〇
昭和二年度決算額	歳入 九、八一九、四五
昭和三年度決算額	歳入 五、二三五、七〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)	歳出 八、〇〇〇、〇〇
金二百圓 內務省ヨリ助成金下附	昭和二年度
金二百圓 同	同 三年度

名稱 國 風 會

事務所所在地 東京市麻布區永坂町九番地  
創設年月日 大正九年十一月一日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 私 設 團 體  
ロ、代表者 上 泉 德 彌

沿革概要

大正九年十一月一日第一次明治神宮祭ニ際シ全國ヨリ代  
 參者トシテ上京セル青年團員ヲ基礎トシ創立セルモノニ  
 シテ以來江藤哲一氏會長ニ就任山本峯吉氏理事長トナリ  
 各地ニ活動寫眞講演會ヲ開催シ専ラ青年ノ指導啓發ニ努  
 メタリシカ大正十年八月二十六日上泉德彌氏會長ニ就任  
 自ラ經營主體トナリ組織及會則ヲ現在ノモノニ改正シ本  
 部ヲ東京市麴町區有樂町一丁目四番地ニ置キ活動寫着機  
 四臺ヲ以テ各地ニ講演會映寫會ヲ催シ傍ラ適當ナル出版  
 物ヲ刊行シテ大日本主義ノ宣揚普及ニ努メタリシカ曩ノ  
 大震災ニ際會シ全財産ヲ喪ヒ翌年前記ノ場所ニ再ヒ本部  
 ヲ設ケ活動ヲ開始シ漸ク復興ノ緒ニツキタル折柄大正十  
 五年再度ノ火災ニ遭遇シ全燒ノ厄ニ遭ヒ再ヒ全財産ヲ烏  
 有ニ歸セリ

目的及事業種類

- イ、目的 本會ハ大日本主義ヲ發揚シテ大ニ皇祖以來ノ  
 國風ヲ進メ正義人道ニ基キ世界ノ平和ヲ完成  
 スルヲ以テ目的トス
- ロ、事業 一、社會組織ノ研究  
 二、人倫相互ノ間ヲ融和シ特ニ地主、小作人  
 事業家勤勞者等ノ協調ヲ計ル事  
 三、貯金並ニ移植民ノ獎勵  
 四、會員ノ需ニヨリ諸種ノ調査並ニ協議ニ應  
 ス  
 五、圖書雜誌ノ刊行  
 六、講演會、活動寫眞會ノ開催、民衆娛樂ノ  
 普及



會員數及分布狀況

イ、會員數

役員 二百九十七名  
 名譽會員 六百二十一人  
 普通會員 約七千六百人

ロ、分布狀況

分布狀況ハ内外各地ニ分布シアルモ比較的關東並ニ東北地方ニ多ク職業ハ各種ヲ網羅シ支部所在地ハ八十六ヶ所ニシテ縣別ニ舉クレハ左ノ如シ

東京府	四	神奈川縣	四	茨城縣	四
岡山縣	四	廣島縣	七	山口縣	三
函館	二	安東縣	一	ハワイ	一
大分縣	一	長野縣	一	大阪府	二
福岡縣	四	新潟縣	二	德島縣	二
滋賀縣	一	札 幌	一	大 連	一
青 島	一	長崎縣	一	岐阜縣	一
京都府	一	栃木縣	二	富山縣	二
山形縣	一	石川縣	二	山梨縣	一
樺 太	一	京 城	一	兵庫縣	一

鹿兒島縣 一 愛知縣 三 愛媛縣 一  
 奈良縣 一 和歌山縣 一 三重縣 一  
 島根縣 一 臺 灣 一 以上

合計 八十六ヶ所

主ナル役職名並其氏名

顧問

伯 爵 清 浦 奎 吾
元帥陸軍大將 子爵 上 原 勇 作
子爵 澁 澤 榮 一
海軍大將 男爵 出 羽 重 遠
會 長 海軍中將 上 泉 德 彌
副會長 江 藤 哲 二
理事 海軍中將 江 口 麟 六
同 海軍中將 佐 藤 卓 藏
同 山 本 峯 吉 同 大久保高明
同 川 島 清 治 郎 同 田鍋安之助
同 上 泉 德 正 同 井原長吉

資産(種目別)

一、基本金 三萬圓(安田修徳會寄附金五萬圓内殘金)  
 二、器具其他物品 一千四百六十五圓十錢  
 三、印刷物 三千八百三十三圓六十錢  
 合計 三萬五千二百九十八圓七十錢

維持方法

寄附金、贊助金、會費、補助金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年年度豫算額 歳入 八、七四六、五〇  
 昭和二年年度決算額 歳入 六、〇八五、三二  
 歳出 五、六一七、六四  
 昭和三年年度豫算額 歳入 一一、五三八、〇〇  
 歳出 一一、五三八、〇〇  
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 二百圓 内務大臣ヨリ補助金 昭和二年  
 一百圓 同 三年度

名稱 財團法人 明治神宮講

事務所所在地 千駄ヶ谷町字穩田百二十一番地

創設年月日 大正十年一月一日創立

大正十年三月一日事業開始

大正十三年十月二十八日財團法人許可

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 丸尾重吉

沿革概要

別紙添附書ニ依ル創立ノ動機、使命趣旨、目的、事業、  
 講社、講員、神饌田設置ノ各項ニ依リ力ノ限リヲ盡シテ今  
 日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 明治神宮ヲ崇拜シ敬神崇祖ノ念ヲ涵養シ教育



口、事業

勅語ヲ信仰シテ實行スルヲ以テ目的トス

參宮指導講社設立趣旨ノ普及  
 講演及パンフレット配付  
 神候田設置ノ普及  
 講報發行

宿泊部 參宮者ノ宿泊。休憩

會員數及分布狀況

講社ノ數 一千四百七十三講社

講員ノ數 十二萬餘人

全国各地

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員
  - 常務理事 丸尾重吉
  - 理事 大村喜覺
  - 監事 坂本俊馬
- 口、奉仕員

獎勵金並補助金下附ノ有無

金一百圓 內務省助成金 昭和三年度

備考

イ、本年中ニ成可ク全國一萬二千町村ニ講社設立致シ度計畫中  
 口、悲痛ナル農村經濟、青年男女都市流出ニ依ル農村ノ衰微ノ  
 實狀ヲ見ルニ忍ヒス農村ニ適當セル副業ヲ與フル爲廢物ニ  
 等シキ鶏ノ羽毛工業ヲ農村ニ獎勵スヘク之カ指導員講習所  
 ヲ開始スルコトニ目下準備中ニアリ

\*\*\*\*\*

名稱 皇國修養會

事務所所在地 牛込區矢來町五二番地

創設年月日 大正十年四月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 東郷吉太郎

沿革概要

- 奉仕員 山下正夫 同 揚張一郎
- 同 松下作三 同 新津俊男
- 同 丸尾まさ 同 丸尾敏男
- 同 丸尾春三郎

資産(種目別)

- 一、基本財産 一萬圓
- 二、建物(會館) 二萬八千五百六圓六十錢
- 三、器具器具其他ノ物品 六千圓
- 四、借地敷金 五百圓

合計 四萬五千六圓六十錢

維持方法

宿泊者ノ納入スル維持金(二食付一泊一圓) 基本金ヨリ生スル利息

昭和二年度豫算額	歳入	二〇、六〇〇、〇〇〇
	歳出	四
昭和二年度決算額	歳入	一四、九二一、七〇〇
	歳出	一六、五五七、五五〇
昭和三年度豫算額	歳入	二四、六〇〇、〇〇〇
	歳出	

大正十年四月十日日本部ヲ前記ニ創立シ鈴江幸次郎氏(現理事長)之カ經營ノ任ニ當リ一方教化事業トシテ一般社會思想善導ノ目的ヲ以テ全國的ニ精神作興ノ講演並ニ講習會等ヲ開催シ、他面社會事業トシテ専ラ苦學生ノ養成ニ努力シ尙進テ社會細民救済ノ目的ヲ以テ隨所ニ實費診療所及無料宿泊所ノ設立計劃中ナリ

目的及事業種類

イ、目的 皇室ヲ中心トシ國民思想ヲ善導スルヲ以テ目的トス

口、事業

- 第一期
  - 一、皇國修養會館、皇國實務學校 皇國實科女學校ノ設立
  - 二、修養圖書ノ刊行
  - 三、講演及講習會ノ開催
  - 四、優秀ナル苦學生ノ養成
- 第二期
  - 一、實費診療所、無料宿泊所ノ設立







維持方法

設立者ノ寄附ニヨル

昭和二年年度豫算額	歳入	二、五〇〇、〇〇
	歳出	二、五〇〇、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	二、八二九、四二
	歳出	二、八二九、四二
昭和三年年度豫算額	歳入	二、五〇〇、〇〇
	歳出	二、五〇〇、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人 日本青年館

事務所々在 地 四谷區霞ヶ丘町十一番地

創設年月日 大正十年九月二日

經營主體又ハ代表者 代表者 井上準之助

沿革概要

大正九年十一月二十二日畏クモ皇太子殿下ヨリ全國青年團員ニ對シ優渥ナル令旨ヲ賜リタルニ感激シ之ヲ恒久ニ記念セシメ本館ノ建設ヲ決議シ大正十一年十二月工ヲ

起シ大正十四年十月竣工セリ

爾來全國青年團員ノ中央部機關トシテ講習會講演會ヲ開催シ講師ヲ派遣スル等教育的施設ヲ講スルト共ニ青年團ニ關スル調査研究ヲナシ又一方宿泊及會館ノ經營ニ當リ本館建設ノ目的ヲ發揮スルニ努メタリ、然ルニ一方各府縣聯合青年團ノ聯合團タル大日本聯合青年團ノ成立ヲ見青年團ノ中央機關トシテ活動スルニ至リシ也本館ノ事業中教育ニ關スル一切ノ事務ヲ之ニ繼承シ本館ハ之カ財的後援ヲナスコト、ナリ、昭和二年度以降之ヲ實施スルニ至レリ其後本館ハ全國青年團員ノ俱樂部トシテ地方青年團員其他ニ對シ簡易ニ宿泊セシムルト共ニ會館ノ貸與ヲナシ併セテ大日本聯合青年團ノ事業ヲ後援スルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 大正九年十一月二十二日 皇太子殿下ヨリ令旨ヲ賜リタルコトヲ記念センカ爲ニ日本青年館ヲ建設シ之カ維持及管理ヲ爲シ併セテ全國青年團ノ發達ヲ助長ス

ルヲ以テ目的トス(寄附行爲第二條)

ロ、事業 一、宿泊部ヲ經營シ地方青年團員其他學校、

教化團體等ノ宿泊ニ便宜ヲ圖ルコト

一、會館部ヲ經營シ大日本聯合青年團ノ講習

會講演會、其他一般會合音樂會講演會等

ニ便宜ヲ圖ルコト

一、代理部ヲ設置シテ地方青年團及青年訓練

所等ノ必需ノ廉價代理取次ヲナスコト

會員數及分布狀況

會員組織ニ非ス

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

理事長	井上準之助
理事	田澤義鋪 同 吉田 茂
同	伊達源二郎 同 武部 欽一

同 大野綠一郎 同 丸山 鶴吉

同 後藤文夫 同 志賀直方

同 池園哲太郎 同 藤德三郎

同 片桐佐太郎 同 小橋廣衛

同 野見山俊次

同 曾我祐邦

ロ、職員

主事 杉原一彦 同 大久保利政

同 惠美唯義 同 三橋 正

囑託(大日本聯合青年團主事)

後藤隆之助 熊谷辰治郎

土生武猷 多羅尾光道

資産(種目別)

一、基本金	四一〇、五三〇、一八
二、建物	一、五七八、九二八、三六
三、器具其他物品	三四、七五三、三八



合計 二、〇二四、二一一、九二二

維持方法

基本金ノ利子、宿泊及會館ノ經營ニ依ル收入、補助金獎勵金等  
ニ依ル

昭和二年年度豫算額 歳入 一四五、四七九、〇〇

昭和二年年度決算額 歳入 一五一、六四七、六九  
歳出 一四一、〇九七、九二

昭和三年年度豫算額 歳入 一一七、七四八、〇〇  
歳出

獎勵金並補助金下附ノ有無

金十萬圓 御下賜金 大正十四年十月二十日

金二百圓 東京府ヨリ補助金 昭和二年度

\*\*\*\*\*

名稱 奉仕會

事務所々在地 東京市麴町區飯田町六丁目二十四番地

創設年月日 大正十年十一月三日

經營主體又ハ代表者 **イ、經營主體 會 員 組 織**

**口、代表者** 海軍中將 佐藤鐵太郎

沿革概要

戊申詔書ノ聖旨ヲ奉戴シ國民思想ノ善導ヲ目的トシテ大正十年十一月三日設立ス、男爵若王子文健副會長トシテ就任、專務理事葛生仁三郎ト共ニ専ラ會務擴張ニ盡力各地ニ同志ノ糾合ヲ計ルト共ニ評議員佐藤臯藏、木村戒自伊豆凡夫、小林一郎、今泉定介ノ諸氏其他ノ人々ニテ各縣ニ涉リ講演ヲ爲ス。大正十三年一月三日更ニ敬神思想普及ノ目的ヲ以テ神宮參拜會ヲ興シ、子爵三室戶敬光會長ニ就任ス。大正十三年十二月十日海軍中將佐藤鐵太郎會長ニ就任ス、大正十五年八月二十八日教化團體聯合會ニ加盟ス爾來會長自ラ全國ニ講演行脚シテ國民教化ニ努メ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、戊申詔書ノ聖旨普及 一、講演會

會員數及分布狀況

東京	八、一六五	大阪	三八二	京都	二三六
神奈川	五〇六	千葉	五、九一〇	靜岡	一、〇八一
愛知	七一五	茨城	三、〇七七	三重	四〇〇
福井	四〇〇	長野	一、七〇六	新潟	一、二六五
石川	三四九	富山	四八七	岩手	三六三
青森	六〇〇	岐阜	六二一	兵庫	四〇八
福岡	一、〇〇〇	長崎	三六九	愛媛	三二二
高知	二一六	其他	二、五九四		
合計	三一、一六二				

會員分布狀況中昨年度ト今年度ト相違スルモノハ本會神宮參拜會員ハ參宮ノ終了ト共ニ會員ノ資格ヲ失フヲ以テ、從テ會員數ニ異動ヲ生スル譯ナリ

主ナル役職名並其氏名

**イ、役員**

會長	海軍中將 佐藤鐵太郎
副會長	男爵 若王子文健
神宮參拜會長	子爵 三室戶敬光
顧問	子爵 遊澤榮一 外二十七名
評議員	文學士 小林一郎 外十名
口、職員	
專務理事	葛生仁三郎 外四十四名

資産(種目別)

土地建物	三一、三一〇、〇〇
銀行預金其他	一五二、二六七、〇五
家具什器其他	一六、九一九、六七
合計	二〇〇、四九六、七二

維持方法

會員ノ會費及寄附金

昭和二年年度豫算額 歳入 一〇〇、〇〇〇、〇〇



昭和二年決算額 歳入 七五、八六二、六二  
 歳出 一〇〇、〇〇〇、〇〇  
 昭和三年決算額 歳入 一〇〇、〇〇〇、〇〇  
 歳出 一〇〇、〇〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 金一百圓 昭和二年二月十八日 助成下附セラレ  
 金一百圓 同 三年二月十五日 同

\*\*\*\*\*

名稱 講道館文化會

事務所所在地 東京市小石川區大塚坂下町一四  
 創設年月日 大正十一年一月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 嘉納治五郎

沿革概要

會長カ多年ニ亘ル柔道ノ研究ヨリ體得シタル精力ノ最善  
 活用ト云フ原理ト之ヲ社會生活ニ於テ實行スル場合必然  
 認メサルヲ得サル自他共榮トノ二大原理ニ基ツイテ道德  
 ト經濟ヲ説キ先ツ我カ國民ヲ指導シ進ンテ之ヲ廣ク人類

ニ及ホサント決心シタルニ始マリ大正十年一月一日日本會  
 ヲ創立シ創立ノ趣旨宣言綱領ヲ發表シ同年四月三日發會  
 式ヲ學ケタリ爾來會長ハ全國各府縣ハ勿論臺灣、朝鮮、滿  
 洲構太ニ至ル迄數次歴巡シテ講演會ヲ開キ各地ニ支部又  
 ハ分團ヲ設ケ尙月刊雜誌及圖書ヲ發行シテ本會ノ趣旨ノ  
 普及徹底ヲ圖リツ、アリ

目的及事業種類

イ、目的 精力最善活用ト自他融和共榮ノ二大原理ニ基  
 キ思想ノ善導ト生活ノ改善ヲ圖ルニ在リ

ロ、事業

一、柔道修養思想善導並ニ生活改善ニ關スル圖書ノ

發刊

- 一、月刊雜誌「作興」ヲ發行
- 一、講演會講習會ノ開催及講師派遣
- 一、生活改善ニ關スル研究調査及施設
- 一、道德、體育、衛生ニ關スル研究調査及施設

金二百圓 政府ヨリノ補助金 昭和二年  
 金二百圓 同 三年度

\*\*\*\*\*

名稱 東洋文化學會

事務所所在地 豊多摩郡大久保町西大久保四三八番地

創設年月日 大正十一年一月設立漢學振興會ト稱シ同五月

五日現會名ニ改ム

經營主體又ハ代表者 代表者 男爵平沼騏一郎

沿革概要

大正十一年大隈重信侯爵ヲ會長トシテ創立、漢學振興ヲ  
 計畫シ、衆議院議員ト聯絡ヲ取り漢學振興建議案ヲ提出  
 スルコト三回大東文化協會設立ニ及ンテ漢學振興事業ヲ  
 引續キ爾來月刊雜誌「東洋文化」ヲ發行シ時々講演會講習  
 會ヲ開キ趣旨ノ宣傳ニ努メ、古典研究、學者養成ノ計畫  
 目的及事業種類

會員數及分布狀況

支部 二五  
 分團 七三

主ナル役職名並其氏名

會長 嘉納治五郎  
 主事 子爵花房太郎 同 本田親民  
 同 落合寅平 同 高島平三郎  
 同 村川堅固 同 野村寛一

維持方法

維持會員ノ豫出金、寄附金、圖書收入其他ヲ以テ經費ヲ支辨シ  
 收入不足スルトキハ會長之ヲ負擔ス

昭和二年決算額 歳入 四〇、四〇〇、〇〇  
 歳出 一五、五五〇、〇〇  
 昭和二年決算額 歳入 一五、二九一、〇〇  
 歳出 四〇、〇〇〇、〇〇  
 昭和三年決算額 歳入 四〇、〇〇〇、〇〇  
 歳出 四〇、〇〇〇、〇〇  
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)



アリ東洋文化ヲ闡明シ、以テ我カ國體ヲ強固ニスルヲ目的トス

雜誌「東洋文化」發行

講演會開催、古典ノ研究、學者養成等ヲ事業トス

會員數及分布狀況

凡一千名、内地各府縣朝鮮支那ニ及フ

主ナル役職名並其氏名

會長	男爵 平沼騏一郎		
顧問	犬養 毅	同	子爵金子堅太郎
同	高田早苗	同	伯爵松平頼壽
會計監督	内藤久寛		
理事	内田周平	同	樺山資英
同	鹽澤昌貞	同	鈴木喜三郎
同	副島義一	同	田邊爲三郎
同	中川小十郎	同	中村進午
同	平沼淑郎	同	牧野謙次郎

同 松平康國 同 山岡萬之助

評議員 五十名

幹事 上野賢知 同 川田瑞穂

同 相良政雄 同 松本 洪

同 三鹽熊太

委員 三名

資産(種目別)

基本金 一〇、〇〇〇、〇〇〇

圖書什器 五〇〇、〇〇〇

合計 一、〇五〇、〇〇〇

維持方法

維持費ハ會員ノ會費雜誌賣上代、理事其他ヨリノ寄附金ニテ支辨ス

昭和二年年度豫算額 歳入 一四、五〇〇、〇〇〇

昭和二年年度決算額 歳入 一二、〇〇〇、〇〇〇

昭和三年年度豫算額 歳入 一二、〇〇〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

金一百圓 昭和二年

備考

特殊ノ雜誌ニシテ購讀者少ク、會費ノ收入ハ少ク維持困難ナリ

\*\*\*\*\*

名稱 國性文藝會

事務所所在地 東京市下谷區櫻木町一番地

創設年月日 大正十一年十一月

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 獨立經營

ロ、代表者 田中巴之助

沿革概要

創設當時ハ専ラ劇藝術ニヨリテ國性涵養ヲ計リ千葉縣市川町ニ學修所ヲ置キ専門家ヲ養成シ屢々公開上演セシモ震災ノ爲メ會員一時全滅ニ歸シ經營不能ノ爲メ中止ノ處學修所燒失ノ爲メ事務所ヲ東京ニ移シ爾後國性民曲新舞

踊ヲ創始シ方今主ラ此方法ニヨリテ藝術教化ニ邁進ス

目的及事業種類

國體宣揚ヲ藝術方面ヨリシテ主トテ忠孝國性ノ發揚ヲ目的トス雅樂、舞樂劇、能樂、狂言、聲曲、舞踊、等ニヨリ全部新作ニシテ、國史、社會、宗後等ヲ題材トシ、門下會員等ニヨリテ實演ス

會員數及分布狀況

大震災前ハ二千内外ノ會員アリテ事業ノ後授ラ爲シタルモ、災後東京橫濱トモ全滅ノ狀況トナリテ一時中止ノマ、其後組織的ニ會員ヲ募ラス總シテ田中巴之助門人中、特ニ師命ニヨリ技術練習ニ從ヘルモノ會務ニ奉仕シツ、アリ追テ新曲略訂發表ノ上大ニ會員ヲ募ルノ考案中

主ナル役職名並其氏名

講師 河野 桐谷

幹事 吉村 富吉

維持方法

講師幹事田中巴之助及門下有志ノ出資ニテ維持ス



獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

内務省ヨリ助成金三百圓ト二百圓ト百圓ト三度下附アリ

\*\*\*\*\*

### 名稱 東京積善會

事務所所在地 東京市赤坂區新町三丁目四十五番地

創設年月日 大正十二年一月一日

經營主體ハ又代表者 代表者 宮岡直記

#### 沿革概要

大正十年以來社會教化ノ目的ヲ以テ活動寫眞ヲ利用シ講演會其他ヲ試ミ其ノ效果ノ顯著ナルヲ認メ大正十二年一月本會ヲ設立シタリ  
爾來各方面ニ亙リ各種ノ方法ヲ以テ映畫宣傳ヲ爲シ年々事業ヲ擴張シテ今日ニ及ヘリ

#### 目的及事業種類

イ、目的 社會教化ヲ内容トスル活動寫眞ノ利用ニ依リ

民衆ヲ啓發シ併セテ社會事業、地方改善教育

及産業ノ振興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、活動寫眞フィルム貸付

二、活動寫眞映寫機貸付

三、活動寫眞映寫技師ノ派遣

四、活動寫眞説明者派遣

五、巡回活動寫眞講演會開催

六、有德善行者ノ活動寫眞ニ依ル表彰

#### 主ナル役職名並其氏名

會長 宮岡直記

幹事長 五味政知

幹事 龜岡豊治

同 小山俊雄

#### 資産(種目別)

一、器具其他物品 九千圓

#### 維持方法

資産ヨリ生スル收入 寄附金

昭和二年年度決算額 歳入 七〇〇、〇〇〇

昭和二年年度決算額 歳出 四〇〇、〇〇〇

昭和三年年度決算額 歳入 九〇〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

### 名稱 大東文化協會

事務所所在地 東京市麴町區富士見町六丁目十六番地

創設年月日 大正十二年二月十一日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 小川平吉

#### 沿革概要

我國思想界ノ惡化ヲ防キ、建國以來扶植培養セル本邦固有ノ文化ニ立脚シ、之ヲ發揚宣揚ヲ期スル爲メ第四十四

第四十五、第四十六議會ニ亙リ衆議院ニ於テ「漢學振興

ニ關スル建議案」ヲ上提、全會一致之ヲ可決シ貴族院ニ

於テモ同趣旨ノ議決ヲ爲セリ、遂ニ大正十二年二月十一

日朝野有志相會シテ本會ヲ設立シ、政府モ本會ノ趣旨ニ

賛シ補助金下附ヲ議スルニ至レリ、同年九月二十日財團

法人ノ許可ヲ得、爾來政府補助金其他ノ收支ヲ以テ、

大東文化學院ノ經營維持、教化、出版、研究、調査等ノ

事業ヲ行ヒ趣旨ノ貫徹普及ニ努ム、大東文化學院ハ専門

學校令ニ據リ大正十二年九月二十日認可セラレ同十五年

一月ヨリ開校ス

#### 目的及事業種類

イ、目的 東亞固有ノ文化ヲ振興スルコト

ロ、事業

一、我皇道ニ遵ヒ及國體ニ醇化セル儒教ニ據リ國民

道義ノ扶植ヲ圖ルコト

二、東洋文化ヲ中心トセル大東文化學院ヲ經營維持



スルコト

- 三、文書講演其ノ他ノ方法ヲ以テ前示目的ノ達成ニ努メ且海外ニ亙リ斯學ノ振展ヲ圖ルコト
- 四、高等及普通教育ニ於ケル漢學ニ關スル教科ノ編制並教科書及教授法ノ改善ヲ圖ルコト
- 五、東亞ノ美術音樂等ノ維持發達ヲ圖ル事業ヲ行フコト

會員數及分布狀況

各府縣、北海道、朝鮮、支那、臺灣、

(特ニ、東京府、千葉縣、愛知縣、新潟縣、北海道、廣島縣)

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 副會頭 小川 平吉 同 山本悌二郎
- 學院總長 大津淳一郎 常任理事 荒川 五郎
- 同 伯爵 酒井 忠正 同 木下成太郎
- 監事 粕谷 義三 同 田所美治

同 藤田 四郎

庶務教化 川口 壽 出版 尾張真之介  
學院 山口 傳一 會計 有田 平藏

資産(種目別)

- 一、不動産 一五〇、〇〇〇、〇〇
- 二、基金 四五、四三一、〇〇
- 三、備品 二四、四〇二、三八
- 四、圖書 二九、三二六、五五
- 五、公債其ノ他 一二、九六〇、九八
- 合計 二六二、一三〇、九一

維持方法

- 一、會員ノ離金 二、寄附金
- 三、補助金獎勵金及其ノ他ノ收入

昭和二年度豫算額 歲入) 一五四、三三〇、〇〇  
 昭和二年度決算額 歲入) 一五四、二七八、〇〇  
 歲出) 一三九、七六三、五六

昭和三年度豫算額 歲入) 一五三、八九五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

- 金十五萬圓 政府ヨリノ補助金 昭和二年度
- 金十五萬圓 同 三年度
- 金二百圓 社會局助成 同 二年度

\*\*\*\*\*

名稱 國 本 會

事務所所在地 東京市芝區二本榎一丁目十五番地

創設年月日 大正十三年二月十一日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 日 蓮 宗

口、代表者 酒 井 日 慎

沿革概要

大正十二年十一月換發セラレタル國民精神作興ノ 御詔書ニ基キ別項目的貫徹ノ爲全國的大運動ヲ起シ講演ニ映

畫宣傳ニ又機關紙ノ發刊ニ夙ニ努力ヲ繼續シテ大正十五年ニ及ヒ日蓮宗社會課ノ創設ト共ニソノ事業ノ一切ヲ該課ニ委ネ機關紙「東光」ヲ廢シテ「日蓮主義」ヲ以テ是ニ換ヘ從來ノ運動ヲ繼續シテ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

立正安國ノ祖訓ヲ體シ民心作興ノ聖旨ヲ奉シテ國體ヲ護リ國本ヲ固フシ社會ノ福祉ヲ増進スルヲ以テ目的トシ講演會、映畫宣傳會、兒童教化、社會事業ノ獎勵助成等其他ノ事業ヲ行フ

會員數及分布狀況

全國及領土ニ及ヒテ會員約一萬、日蓮主義ニ購讀者數約六萬

主ナル役職名並其氏名

總裁 酒井 日 慎

副總裁 缺 員

顧問 各若干名

監事 理事 理事長 增田 海 圓



幹事及書記 若干名

維持方法

經費ノ一切ヲ日蓮宗々務院ニ於テ負擔ス

\*\*\*\*\*

### 名稱 帝國文化協會

事務所々在 地 東京市神田區一ツ橋通二十一番地

創設年月日 大正十三年三月一日

經營主體又ハ代表者 **イ、經營主體** 個人 **經營**

**ロ、代表者** 上村 藤若

沿革概要

大正十二年九月一日ノ關東大震災火災ハ日本國民トシテ永久忘ルヘカラサル大厄難ニシテ、國力ノ恢復ト民心併興ノ極メテ喫緊ニシテ有力ナル教化團體ノ創設サル、ノ急務ナルヲ痛感セル時恰モ同年十一月十日國民精神作興詔書ノ換發セラレタルヲ以テ聖訓ヲ奉體シ人心ヲ淨化シテ

協力一致ノ實ヲ學ケ、勤勞ヲ鼓吹シテ天職ヲ樂シマシメ

産業ヲ興隆セシメテ無爲徒食ノ人々ヲ根絶シテニ少青年

婦女ヲ善導スルノ目的ヲ以テ大正十三年三月一日日本會ヲ

創設シ上村藤若主宰ノ下ニ事務所ヲ東京市麴町區丸ノ内

ビルデングニトシテ事業ヲ開始ス。五月一日國民的修養

雜誌「向上之婦人」ヲ月刊發行シテ婦人會員ニ配布シ、同

年十月ニ男子會員ノ爲メニ「向上之青年」ヲ發行配布スル

ト同時ニ講演會、修養會、民衆娛樂會、及善行者ノ表彰

職業指導、防火宣傳、癩病院、廢兵院其他慰問等諸種ノ

教化事業及救濟事業ヲ開始ス。

爾來銳意事業ノ擴張伸展ヲ計リ昭和三年末ニ於テハ會員

三十三萬支部長委員二千名ヲ算スルニ至ル。昭和四年一

月前記繼續事業ノ外體育部結核撲滅期成同盟會、少青年

團體指導部ヲ新設シ思想善導遊說隊(十隊)ヲ編成全國ニ

派遣スル等ノ新規事業ヲ實施セリ。

目的及事業種類

### イ、目的 聖旨ヲ奉體シ國民精神ノ精華ヲ經トシ各國文化ノ粹ヲ緯トセル穩健着實ナル思想ヲ以テ帝國文化ノ啓發向上ヲ圖リ以テ民風ノ作興各種産業ノ隆ニ貢獻セントス

### ロ、事業

- 一、機關雜誌及圖書ノ刊行
- 二、講演會ノ開催
- 三、修養會ノ開催
- 四、民衆娛樂會ノ開催
- 五、教育部ノ施設
- 六、善行者ノ表彰
- 七、農村振興ノ施設
- 八、體育部ノ施設
- 九、少青年團體指導
- 十、結核撲滅運動
- 十一、其他ノ社會的諸事業

會員數及分布狀況(昭和三年六月末日現在)

	男子會員	女子會員	計
朝鮮支部聯盟	二、〇〇九	一〇、五三七	一二、五四六
四國支部聯盟	四、七二二	一五、四六二	二〇、一七四
中部支部聯盟	一一、三二八	四三、〇〇六	五五、三三四
關東支部聯盟	一一、一二八	二四、九二二	三六、〇四〇

男子會員

中國支部聯盟 五、二八八

九州支部聯盟 一七、一八四

奧羽支部聯盟 四、三七六

近畿支部聯盟 六、三四四

北海支部聯盟 一、一一六

滿樺支部聯盟 七五三

臺灣支部聯盟 四五八

合計 六五、六九六

女子會員

中國支部聯盟 一五、二〇四

九州支部聯盟 四二、七六八

奧羽支部聯盟 一四、一四〇

近畿支部聯盟 一八、七九八

北海支部聯盟 六、六二一

滿樺支部聯盟 三、三二〇

臺灣支部聯盟 一、四〇八

合計 一九六、一七六

計 二〇、四九二

五九、九五二

一八、五二六

二五、一四二

七、七三七

四、〇七三

一、八六六

二六、一八七二

### 主ナル役職名並其氏名

#### イ、役員

會長(事務取扱) 上村 藤若

顧問 一戸 兵衛

同 平沼 淑郎

同 蜷川 新

同 許議員 加藤 咄堂

同 同 稻毛 詛風

同 同 南部 修太郎

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

同 同 同

棚橋源太郎  
人見東明  
山脇房子



評議員 正田淑子 事務理事 上村藤若  
口、職員

主事 山梨金司 同 宮田金太郎  
同 藤枝強三郎 同 藤間哲夫

資産(種目別)

- 一、基本金 三萬六千五百二十七圓
- 二、器具其他物品 四千八百五十三圓
- 三、印刷物 八千九百七十圓
- 合計 五萬三千五百五十圓

維持方法

會費、寄附金、補助獎勵金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額 歲入 三、八五、九〇〇、〇〇  
歲出 三、七二、三六五、二〇〇  
昭和二年度決算額 歲入 三、八四、九五九、五〇〇  
歲出 四、八六、〇〇〇、〇〇  
昭和三年度豫算額 歲入 四、八六、〇〇〇、〇〇  
歲出 四、八六、〇〇〇、〇〇

名稱 誠 忠 會  
事務所所在地 豊多摩郡淀橋町柏木三八三番地  
創設年月日 大正十三年七月三十日  
經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織  
口、代表者 井上龍太郎

沿革概要  
大正十二年十一月十日換發セラレタル詔書ノ聖旨ヲ奉體  
シ本會ヲ創立  
大正十三年七月三十日現在ノ本部ニ於テ各名士ヲ募リ發  
會式ヲ舉ク  
大正十三年七月講堂建設爾來毎月十三日ハ當講堂ニ於テ  
定時講演會ヲ催シ其他隨時各地ニ於テ講演會ヲ開催セリ  
昭和三年九月本部内ニ青少年ノ練武場ヲ設ケ爾來青少年  
ノ練武ノタメ開放今日ニ及フ  
昭和四年三月誠忠會、少年團組織

目的及專業種類

イ、目的 建國ノ大道ニ則リ思想善導ニ力メ質實剛健ナ

ル國民精神ノ涵養ヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、隨時講演及演藝ヲ開催シ國民思想ノ善導ニ力ム
- 二、明治大正ノ功臣志士ノ遺墨手跡等ヲ蒐集シテ公衆ノ從覽ニ供ル精神教育ノ一助トナス
- 三、地方會員及其他團體等ノタメ誠忠會館ヲ設立シ其ノ便宜ヲハカル
- 四、機關誌「誠忠」並ニ圖書ノ出版
- 五、其他前項ノ目的達成上必要ナリト認メタル事項

會員數及分布狀況

東京府下二千百名ニシテ千葉、埼玉、栃木、山梨、静岡、大阪  
京都、和歌山ノ各地ヲ通シ一千五十名  
合計 三千百五十名

主ナル役職名並其氏名

會長 男爵 永山武敏

代表者 理事 井上龍太郎

資産(種目別)

- 一、基本金 二千圓
- 二、建物金 三千圓
- 三、器具其他 三百圓
- 合計 五千三百圓

維持方法

基本金ノ利子及寄附金ニ依ル

昭和三年度豫算額 歲入 三、五〇〇、〇〇  
歲出 三、五〇〇、〇〇

名稱 大日本護國會

事務所所在地 本所區原庭町三十一番地  
創設年月日 大正十四年二月十一日  
經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織  
口、代表者 片岡君惠



沿革概要

我々ハ三千年ノ光榮アル國家ヲ有シ此ノ誇ルヘキ皇室ヲ戴イテ世界人類ノ先驅トナリ世界的國家ノ正義人道ノ模範ニナツテ居リマス然ルニ近代滔々タル歐米思想ノ逆潮ハ動モスレハ此國家及ヒ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ建國ノ大精神ヲ無視スルニ至ツテ居リマス。此ノ無形ノ思想ノ浸漸ニ因ル暗々冥々裡ノ外寇ハ眞ニ怖ルヘク又排撃シナケレハナリマセン。同時ニマタ精神的護國ノ大任ヲ全ウセナケレハナリマセン。即チ之舉國一致ノ問題テアルト共ニ全國民ノ最大義務テアラネハナリマセン。

此處ニ於テ大正十三年十一月以來數度我等同士ノ參集ヲ求メ教化ノ徹底ヲ圖ルヘク方途ヲ協議シ其具體的方法トシテ大日本護國會ヲ組織スルコトヲ決シ翌十四年二月十一日ノ紀元節ヲトシ之ヲ設立シタル次第テアリマス。爾來會員逐次増加スルト共ニ從來ノ規程ニ幾多ノ修正ヲ加ヘ近縣支部設置ト相待ツテ教化ノ事業タル實ヲ舉クルニ

努力シ來タツタモノテアリマス。更ニ昭和四年二月財團法人中央教化團體聯合會加盟團體ノ一トシテ今日ニ至ツタモノテアリマス。

目的及事業種類

1、目的 皇室中心主義ヲ遵奉シ精神的護國ノ大任ニ邁進ス

2、事業

- 一、國家ノ干城タル必任義務兵ニ同情シ其ノ後援ヲナス
- 二、社會政策ノ見地ヨリ貧者病者失業者ノ救済ニ盡力ス
- 三、講演會、慰安會ヲ開催シ教化ニ關スル印刷物ヲ發行ス

會員數及分布狀況

大日本護國會本部 五三三名  
南總支部 一、四二六名

大日本護國會茨城支部

一、〇六五名

主ナル役職名並其氏名

1、役員

會長 片岡君惠  
理事長 松本幸  
理事 渡邊志盛 同 佐藤庄太郎  
同 沼倉授 同 鈴木恭治郎  
評議員 森兼道 同 山崎榮岳  
同 中村茂雄 同 長谷川宇太郎

資産(種目別)

一、基本金 二千五百五十圓  
二、建物 二千圓  
三、器具其他物品 二千五十四圓  
四、印刷物 三百圓三十錢  
合計 六千九百四圓三十錢

維持方法

個人支辨ニ因ル

昭和二年度豫算額 歲入 一、一五九、二五  
歲出 一、一五八、九五  
昭和二年度決算額 歲入 一、一五八、九五  
歲出 一、一五〇、三四  
昭和三年度豫算額 歲入 一、一五〇、三四  
歲出 一、一五〇、三四

備考

本會婦人部設置最近發會式ヲ舉クル豫定

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人立正會

事務所々在地 荏原郡池上町大字雪ヶ谷四十一番地  
創設年月日 大正十四年四月一日  
經營主體又ハ代表者 1、經營主體 財團法人  
2、代表者 宮原六郎

沿革概要

大正十四年四月二十八日發會式ヲ舉行ス



大正十五年四月二十八日立正教會開堂式ヲ舉行ス

大正十五年五月十六日立正講座ヲ開講シ爾來繼續シテ每日曜日ニ開催シ昭和二年七月迄ニ七十五回開會シ法華經全部ヲ詳細ニ講了シタリ、

目的及事業種類

イ、日蓮上人證號救賜ノ聖旨ヲ奉體シ日蓮主義ニヨリテ國民教ニ資スルヲ目的トス

ロ、事業種類

- 一、日蓮上人證號救賜紀念ノ爲東京府荏原郡馬込町字八幡丸ニ建立セル立正大師銅像ヲ護持スルコト
- 二、立正教會ヲ設立スルコト
- 三、立正講座ヲ開催スルコト
- 四、立正講演會ヲ開催スルコト

會員數及分布狀況

- イ、會員數 百餘名
- ロ、分布狀況 東京府及千葉縣下ニ居住ス

主ナル役職名並其氏名

理事長	宮原六郎
理事	加藤信義 同 中野昇
同	山田英二 同 内海穎二
同	澁谷今助
監事	澁谷嘉助 同 綿貫助次郎
同	大谷權次郎

資産(種目別)

銅像及臺石	二九、六〇〇、〇〇
地上權及借地權	一、五〇〇、〇〇
家屋及什器	五、五〇〇、〇〇
合計	三六、六〇〇、〇〇

維持方法

寄附金及銅像參拜者ノ志納金ニヨル

昭和三年度決算額	歳入 二六四、三〇
	歳出 五六五、九七
昭和四年度豫算額	歳入 一、二〇〇、〇〇
	歳出 一、二〇〇、〇〇

名稱 明治會

事務所所在地 下谷區櫻木町一番地

創設年月日 大正十四年六月五日

經營主體又ハ代表者 代表者 田中巴之助

沿革概要

- 一、田中巴之助先生五十年來ノ唱道タル國體觀念普及ノ運動ニ共鳴セル同志、就中大正十三年ヨリ連月開催セル 明治天皇御製講演ニ感激セル同志ノ熱望ニヨリ大正十四年六月五日田中先生主唱者トシテ創立セリ
- 一、田中先生ノ主唱ニヨリ全國ニ萬餘名ノ連署ヲ以テ大正十四年ヨリ三ヶ年ニ亘リテ議會、政府及宮中ニ請願セル明治節制定ノ願意貫徹シテ昭和二年三月三日明治節ノ勅定ニ感激シテ全國的ニ新國民運動ヲ起シ會勢ノ大擴張ヲ企テ、同年十二月ニハ會員一萬ニ達スルニ至レリ

一、爾來二回ノ國體宣揚夏季講習會、二回ノ全國會員大會其ノ他不斷ノ活動ニ依リ今ヤ全國ニ七十ノ支部三萬ノ會員ヲ有スルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 篤ク 先帝ノ御遺訓今上ノ聖旨ヲ奉シテ 明治大帝ノ威徳大業ヲ鑽仰シ 大帝垂訓ノ洪猷ヲ服膺スルコトニ依テ國民精神ノ統一ヲ期シ因テ以テ國家興立ノ實ヲ擧ケントス

ロ、事業

- 一、本部ニ於テハ每週一回常設講座ヲ開キ、明治天皇御製講義、國體思想及歴史ノ講義演及國性藝術ヲ催シ、不斷主義ノ宣傳ヲナスコト
- 二、毎月一回雜誌『明治』ヲ發行シ國體精神ノ普及徹底ヲ計ルコト
- 三、講演、國性藝術、映畫宣傳ニヨリテ各地ニ國體思想ノ普及ヲ計ルコト







事務所所在地 北豊島郡長崎町一九一九番地

創設年月日 昭和三年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 増子 懷永

沿革概要

- 一、昭和三年二月十一日創立
- 二、同年三月ヨリ四月ニ亘リ第一回女子實生活講習會ヲ京都市ニ開ク
- 三、同年十一月全國有志婦人會ヲ代表シテ大禮奉祝ノ賀表ヲ捧呈ス

目的及事業種類

- イ、目的 全國主婦會相互ノ連絡提携
- ロ、事業
  - 一、地方主婦會ノ助成
  - 二、實生活及授産ノタメニスル講習會開設
  - 三、主婦會幹部及指導者ノ養成
  - 四、主婦會ニ關スル各種ノ調査研究
  - 五、地方婦人ノ職業紹介及失業婦人ノ救済

會員數及分布狀況

本會連絡團體ハ十二府縣五十七團體ニシテ會員數約五千名ナリ

主ナル役職名並其氏名

理事	甫守 ふみ	同	大江 スミ
同	嘉悦 孝子	同	吉岡 彌生
同	山脇 房子	同	安井 哲
同	増子 懷永		
主事	増子 せい	同	富田 順子

資産(種目別)

- 一、基本金 一千圓
- 二、器具 二百圓
- 三、書籍 三百圓
- 合計 一千五百圓

維持方法

理事者ノ献出金及ヒ有志者ノ寄附金ニヨル

昭和三年度豫算額 歳入 一、三〇〇、〇〇〇

歳出

\*\*\*\*\*

- 中部
- 山梨縣教化事業協會 (加盟團體二八) 掲載團體一五
  - 静岡縣教化團體聯合會 (加盟團體四七) 掲載團體三〇
  - 愛知縣教化團體聯合會 (加盟團體約一三) 掲載團體一三
  - 岐阜縣教化團體聯合會 (加盟團體三八) 掲載團體三一
  - 三重縣斯民會 (加盟團體二二) 掲載團體二二



名稱 山梨縣教化事業協會

事務所所在地 山梨縣廳社會課

創設年月日 昭和二年一月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 蜂須賀善亮

沿革概要

社會ノ世相ニ鑑ミ縣下教化團體ノ連絡統一機關ヲ設置シ以テ益々斯業ノ振興ヲ圖ルヘク寄々協議シ居タルトコロ偶々昭和二年一月十五日日本縣學務部長ハ縣下教化團體ノ代表者ニ會同ヲ求メ協議ノ結果即日本會ノ設立ヲ見直チニ二十團體ノ加盟アリ其ノ後八團體増加シ現在二十八團體加盟シ居レリ

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 教化事業ノ連絡提携  
教化事業ノ獎勵助成

教化事業ノ講習、講演並調査研究

教化事業ニ關スルポスター、パンフレットノ

刊行

其ノ他必要ナル事項

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下二十八團體ニシテ其名稱ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 鹽山禁酒會 勝沼禁酒會 西保禁酒會 大日本立正會
- 平瀬報德社 相川村五親會 日蓮青年會 山梨靈光會
- 作興會 敬神樹德會 南湖報德社 御影報德社
- 觀音婦人會 貫川村婦人會 篠尾報德社 諏訪保護會
- 上手報德社 大草教化會 南都留佛教會 甲府教會
- 山梨以徳會 甲府教會婦人會 山梨佛教會 自警會
- 居リ禁酒會 篠尾染風會 勿忘會 壬寅賞行會
- 倉手

主ナル役職名並其氏名

- 總裁 鈴木信太郎
- 會長 蜂須賀善亮
- 副會長 大森禪戒



理事 山田 繁吉

昭和二年年度決算額 歳入 二七一、〇〇〇

昭和二年年度決算額 歳出 二二一、〇〇〇

昭和三年年度決算額 歳入 四九九、六八〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金百圓 昭和二年度 獎勵金 内務省

金百圓 同 同 山梨縣

金二百圓 同 三年度 同 中央教化團體聯合會

備考 現在本縣ニ教化團體四十六アルモ未加盟團體十八ニ對シテハ加  
盟方勸誘シ居レリ  
未設置町村ニ對シテハ設置方懇進シ居レリ

名稱 佛教靈光會

事務所々在地 會場市川大門町五丁目禪林寺

理事 村松 保三 同 丹澤 武三

同 橋田 平八郎

資産(種目別)

市川納稅銀行株券二十二株

基本金 額面 千百圓

器具其他 十圓

維持方法

銀行株券配當及預金利子ニ經常費トス

寄附金ハ主ニ臨時費トス

昭和二年年度決算額 歳入 一七〇、〇〇〇  
昭和二年年度決算額 歳出 一六七、二七〇  
昭和二年年度決算額 歳入 六〇、〇二〇  
昭和二年年度決算額 歳出 二二四、五六〇  
昭和三年年度決算額 歳入 一〇六、一〇〇  
昭和三年年度決算額 歳出 一〇六、一〇〇

\*\*\*\*\*

創設年月日 明治二十年八月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 有泉 直松

沿革概要

明治十年頃當時ノ市川大門村ヨリ東京ニ遊學セシ、智識階級ノ青年ノ歸郷ニヨリ思想上三派トナリテ一ハ基督教ノ市川教會、一ハ青年矯風會、一ハ當時有泉小米松氏外數名ニヨリ創立セラレタル山梨佛教靈光會ナリ共ニ信スル處ニヨリ社會教化ノ爲ニ貢獻シテ今日ニ至レリ

目的及事業種類

佛教思想ニヨリ社會教化ヲナスコト

事業ニ講演、講習會ヲ開催

會員數及分布狀況

三百名アリテ町内及近村ニ分布シ居レリ

主ナル役職名並其氏名

役員  
理事 有泉 米松 同 一瀬 吉嗣

名稱 日本メソヂスト甲府教會婦人會

事務所々在地 甲府市櫻町甲府教會内

創設年月日 明治二十四年二月

經營主體又ハ代表者 代表者 丘 村 敏

沿革概要

明治二十四年二月宣教師ミス、プレストン女史ニ依テ創立サレ會長トシテ久シク經營セラレタル後、小林牧師夫人及林友恵ヲ經テ今日ニ至ル

目的及事業種類

社會教化ヲ以テ目的トシ宗教ノ普及傳道ヲ謀ルト共ニ廣ク貧困者罹災者病者等慰問救済ス

會員數及分布狀況

四十名

主ナル役職名並其氏名

役員  
會長 丘 村 敏  
副會長 金澤 てふ子



口、職員

營業部長 廣瀬久子  
會計 倉本松代  
書記 三枝常盤

資産(種目別)

基本金 百圓  
器具其他 百圓  
合計 二百圓

維持方法

會費寄附金ベザリ、活動寫眞

昭和二年決算額 歳入 二二〇、〇〇〇  
歳出 二一五、〇〇〇  
昭和二年決算額 歳入 一一三、二〇〇  
歳出 一〇〇、〇〇〇  
昭和三年決算額 歳入 三〇〇、〇〇〇  
歳出 三〇〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 南湖報徳社

事務所所在地 中巨摩郡南湖村西南湖

創設年月日 明治二十九年三月二十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 入倉善三

沿革概要

- 一、明治二十九年三月二十八日創立
- 一、明治三十三年六月十五日内務省ヨリ認可サル
- 一、大正五年三月滿二十ケ年ノ期滿チタルヲ以テ更ニ向フ六十ケ年ヲ一期トシテ繼續スルコトトセリ
- 一、大正十三年大日本報徳社へ加盟セリ
- 一、昭和三年四月十三日定款變更ノ件本社ヨリ認可サル
- 一、昭和三年七月三十日定款變更ノ件内務大臣ヨリ認可セラレ今日ニ至ル

目的及事業種類

- イ、目的 二宮尊徳先生ノ遺教ヲ遵奉シ報徳ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

口、事業

- 一、報徳ノ研究
- 二、分度ノ確立勤儉推讓ノ獎勵
- 三、地方自治ノ改善發達ニ關スルコト
- 四、救貧、防貧、其ノ他一般ノ指導教化

會員數及分布狀況

百八十九名ヲ有シ西南湖ハ殆ト全部加入シ居レリ

主ナル役職名並其氏名

役員  
理事 社長 入倉善三  
副社長 丹澤義行  
常務理事 安藤峯亮  
參事 入倉勉保 同 大鹽易之  
同 大木市造 同 加賀美直盈  
同 上田利一 同 深澤大吉  
同 松野登 外三人  
監事長 丹澤義吉

資産(種目別)

一、基本金 三萬一千三百二十七圓八十九錢  
二、建物(敷地) 七千圓  
三、器具其ノ他 二百圓  
合計 三萬八千五百二十七圓八十九錢  
(外ニ恩賜林借地反別十町八段へ植樹シ置ケリ)

維持方法

報徳金ノ造成及運用上ノ餘剰金ヲ以テ維持シ居レリ

昭和二年決算額 歳入 一〇、五〇〇、〇〇  
歳出 一〇、五〇〇、〇〇  
昭和二年決算額 歳入 一〇、二四〇、〇〇  
歳出 一〇、二四〇、〇〇  
昭和三年決算額 歳入 一〇、二四〇、〇〇  
歳出 一〇、二四〇、〇〇  
獎勵金並補助金下附ノ有無

本社ニテハ村内婦人會、青年團少年團等ニ年々若干宛ノ補助金ヲ交付シ居ルモ未ダ他ヨリ何等援助ヲ受ケタルコトナシ

\*\*\*\*\*



名稱 御影村報德社

事務所所在地 中巨摩郡御影村二〇八〇番地

創設年月日 明治四十年六月

經營主體又ハ代表者 代表者 藤卷清次

沿革概要

日露大戰後明治三十八年青年會員、十八名ニテ新聞配達  
植林野道ノ修理ニヨリ得タル賃金一百十二圓ニ依リ肥料  
資金ニセントスル計畫ヲ立ツト共ニ同四十年六月會員ノ  
加入ヲ獎メ四十名トナリ資金四百圓ヲ得タリ依テ御影報  
徳社ヲ設立シ報徳ノ主旨ニ基キ專ラ貯金及金融機關トナ  
リ一面思想善導生活改善勸儉力行ヲ獎勵シ今日ニ至ル  
目的及事業種類

イ、目的 二宮尊徳先生ノ遺教ヲ遵奉シ勸儉推讓シ報徳  
事業ヲ立ツルヲ以テ目的トス

ロ、事業種類

一、常會講演、一、報徳金ノ貸附、一、敬神（二宮

神社參拜）一、祭祝、故人ノ祭祝供養、一、社  
員（優良）表彰、一、勤儉貯蓄ノ實行、一、勤  
農共同無代共同作業、縣道修理其他農會、施設  
ノ後援

會員數及分布狀況

三十七名 村内一般

主ナル役職名並其氏名

役員

社長 藤卷清次

評議員 大芝豊四郎

清水立透

齋藤榮造

大芝榮太郎

三枝丑太郎

大芝國三郎

資産（種目別）

基本金 七千八百圓

器具其他 二百圓

計 八千圓

維持方法

シ次テ甲府教會ヨリ時々牧師ヲ聘シ講演會ヲ開キテ趣旨

宣傳ニ努メ以テ今日ニ至ル

目的及事業種類

禁酒ヲ勵行シ思想善導スルニアリ

會員數及分布狀況

二十四名

主ナル役職名並其氏名

名譽會長 長 田 操

會長 橋 田 侃

資産（種目別）

基金 八十五圓

維持方法

會長ノ支辨

基本金利子ニヨル

昭和二年決算額 歳入 一六〇、〇〇〇

昭和二年決算額 歳出 一五〇、〇〇〇

昭和二年決算額 歳入 一四八、〇〇〇

昭和三年決算額 歳入 一七〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

共同作業補助金 一百圓

同 苗代金 十四

同 採種園金 十八圓

名稱 金澤禁酒會

事務所所在地 東八代郡右左口村金澤區

創設年月日 大正二年四月二十日

經營主體又ハ代表者 代表者 橋 田 侃

沿革概要

大正二年四月二十日同志相會シテ禁酒ヲ勵行スヘク誓盟



名稱 諏訪神社保護會

事務所所在地 鹽崎尋常高等小學校

創設年月日 大正四年十一月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 工屋 恭相

沿革概要

從來社殿、境内、荒廢シ殆ト省ルモノ無シ。殊ニ農繁收穫ノ際ハ麥、稻ヲ積込ミ附近ハ恰モ稻、麥ノコナシ場ノ如ク、或ハ子供ノ遊ヒ場ナリキ。時ニ現副會長花形順作氏及現特別會員諸氏大正四年十一月十日 大正天皇即位大典記念トシテ本會ヲ設立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

- 神威尊嚴ヲ保チ、敬神崇祖ノ觀念ヲ涵養シ道徳心ノ弛緩ヲ矯救シ誓ツテ神社ニ奉仕スルノ實ヲ收メントス
- 一、社殿境内ノ掃除拂拭 一、記念植樹並保護
- 一、勤勞精神ノ涵養 一、功勞者表彰
- 一、落穂拾ヒ

會員數及分布狀況

一六一名アリテ村内一般ニ分布シ居レリ

主ナル役職名並其氏名

會長 士屋 恭相  
副會長 花形 順作

資産(種目別)

基本金 百二十九圓五十錢  
器具其他 五圓  
計 百三十四圓五十錢

維持方法

本會基本金利子ヲ以テ充當ス

昭和二年度決算額 歲入 六、〇〇 円  
歲出 六、〇〇  
昭和三年度決算額 歲入 七、〇〇  
歲出 七、〇〇

基金(資産)前記ノ他會員落穂拾ヒノ共同作業費三圓五十錢アリ

名稱 鹽山禁酒會

事務所所在地 東山梨郡七里村鹽山町上杉會二二七番地

創設年月日 大正五年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 岡 定 六

沿革概要

大正五年二月十一日設立ノ當時ハ七里禁酒會ト稱セシモ大正六年二月十一日鹽山禁酒會ト改ム大正七年九月十二日日本禁酒同盟會ニ加入大正八年十月成績優秀ニヨリ國ノ光優勝旗ヲ得大正九年十月拔群ノ成績ニヨリ第一優勝旗ヲ得大正十年四月日本國民禁酒會同盟ニ加入シテ今日ニ至ル

目的及事業種類

- 目的 本會ハ嚴禁酒ノ誓約ヲ以テ組織シ社會矯風道徳及生活改善ノ進歩ヲ以テ目的トス
- 事業 講習講演、宣傳片配布、ポスター配布

會員數及分布狀況

會員數 六百三十名

東山梨村一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 岡 定 六  
副會長 宮 原 朝 定  
顧問 古 屋 久 昌  
宣傳部長 古 屋 清 長  
婦人部長 岡 達 子  
少年部長 岡 定 英

資産(種目別)

器具見積價格 二十四

維持方法

會費及寄附金

昭和二年度決算額 歲入 一五〇、〇〇 円  
歲出 一四八、五〇〇  
昭和三年度決算額 歲入 一四五、〇〇〇  
歲出 一四五、〇〇〇



昭和三年度豫算額 歳入 一六〇、〇〇〇  
歳出 一四五、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 觀音婦人會

事務所所在地 中巨摩郡龍王村慈照寺内

創設年月日 大正六年一月二十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 大森 禪 戒

沿革概要

大正五年九月創立相談會ヲ開キ大正六年一月二十二日發會式ヲ舉行シ本村ヲ中心ニ附近各町村ニ於ケル主婦等五百名餘リ來會縣知事夫人山脇春子女史一場ノ祝辭ヲ述ヘラレ其ノ後着々事業ノ進展ヲ計リ以テ今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 觀音ノ精神ニ基キ婦徳ノ涵養ト社會及家庭ノ淨化ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 宗教的儀式、講演、講習、娛樂、毎年二、三回宛開催シツツアリ

會員數及分布狀況

四百五十名  
附近各町村ニ分布シ居レリ

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長 大森 禪 戒

理事長 大森 照 代

理事 十 名

ロ、職員

會計 田川 鑑 法

維持方法

會員ノ納金ト特殊寄附金トニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 八五、〇〇〇  
歳出 八五、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 八五、〇〇〇  
歳出 二七〇、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 八八、四〇〇  
歳出 二九〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 勝沼禁酒會

事務所所在地 東山梨郡勝沼町二、九八六

創設年月日 大正七年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 小菅 清 策

沿革概要

設立當時ハ會員僅カニ三十二名タリシ處漸次其ノ趣旨普及シ基礎又確立シテ現今ニテハ町内ニ於テ有力ナル團體ノ一トナレリ

目的及事業種類

イ、目的、禁酒ノ勵行思想ノ善導教化ヲ以テ目的トス

ロ、事業 文書宣傳、講演、活動寫眞會

會員數及分布狀況

百七名アリ

主ナル役職名並其氏名

理事(常任) 小菅 清 策 同 鈴木 良 直

同 三 枝 明 同 小林 春 吉

同 今村 高 五 郎 同 奥山 薰 雄

維持方法

會員ノ篤志寄附金ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一五〇、〇〇〇  
歳出 一五〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一五〇、〇〇〇  
歳出 一五〇、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 一五〇、〇〇〇  
歳出 一五〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 南都留佛教會

事務所所在地 南都留郡谷村町長安寺内

創設年月日 大正八年四月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 原 激 信



沿革概要

大正八年四月十五日南都留郡寺院一同本會ヲ組織シ事務所ヲ郡役所内ニ置キ歴代ノ郡長ヲ會長ニ推薦シ常務理事三名ヲ置キ會務ヲ執行ス郡役所廢止後ハ理事二名ニテ會務ヲ處理ス

目的及事業種類

イ、目的 國民精神ノ振作統一ヲ圖リ濟世利民ヲ目的トス  
ロ、事業 講演、講習會、活動寫真等ニ依リ國民ノ思想善導ニ勤メ日曜學校等ニ依リ兒童ノ保護善導ヲナス

會員數及分布狀況

正會員 六十四名  
賛成會員 八十七名

主ナル役職名並其氏名

常務理事 原 激 信 同 佐々木祖道

評議員 八名

資産(種目別)

基本金 七百二十一圓

ソウトシマスシ内ニハ生活が兎角華美ニ流レテ精神上ニモ物質上ニモ我々ノ生存ヲ脅ヤカソウトシマスノテ國家ノ一員トシテ安閑トシテ居ル場合デナイト云フノテ同志ト此ノ會ヲ立テマシタカ大變ニヨイ事デアルト云フノテ大正十二年一月町内全體ノ會ニナリ現在ニ至リマシタモノテス

目的及事業種類

イ、目的 生活ノ改善  
ロ、事業ノ種類 社交上ノ虚禮廢止 時間勵行  
敬神念慮ノ涵養 町内貧困者ノ救済

揭示傳道

會員數及分布狀況

四十六名ニテ町内全部ニ分布シ居ル

主ナル役職名並其氏名

役員

常務理事 標 庄 作

維持方法

會費 基本金利子及補助金

昭和二年度決算額	歳入	一二一、五〇
	歳出	一二一、二〇
昭和三年度決算額	歳入	二〇一、三〇
	歳出	二〇一、三〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 金十圓 二年度 經費補助 山梨縣教化事業協會

名稱 壬戌實行會

事務所々在 地 甲府市銀治町十番地

創設年月日 大正十一年二月

經營主體又ハ代表者 代表者 標 庄 作

沿革概要

歐洲大戰ノ餘波トシテ外カラハ惡イ思想カ我國民ヲ犯カ

理事 望月直吉

同 本間建重

職員 會計 齋藤竹一

維持方法

毎月所定ノ會費徴收

昭和二年度決算額	歳入	一六〇、〇〇
	歳出	一五四、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	一四八、〇〇
	歳出	一六三、九〇

名稱 大日本立正教會

事務所々在 地 東山梨郡奥野田村西廣門田百四十番地

創設年月日 大正十一年十月十三日改設



經營主體又ハ代表者 代表者 平野 玄林  
沿革概要

本會ハ從來奥野田村禁酒會ト稱シ大正二年一月十日山梨縣日蓮主義青年會加盟爾來團體トシテ面目ヲ施シ居候處大正十一年十月十三日大日立正教會ト改稱シ立正主義、國民精神作興、社會生活改善、社會思想善導等ノ宣傳ニ務ム

山梨縣教化事業協會組織ナルヤ同會ニ加盟社會教化ノ第一線ニ立チテ今日ニ至レリ

目的及事業種類

現時社會ノ思想善導生活安定、國民道德ノ特色國民精神作興ニ關スル御主旨宣傳ヲ目的トス  
社會思想善導ニシテ前項ノ目的ヲ以テ社會事業ノ一端トス

會員數及分布狀況 八十二名

名稱 川窪 自警團

事務所所在地 西山梨郡能泉村川窪青年集會場

創設年月日 大正十二年九月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 高野 徳市

沿革概要

大正十二年九月一日ノ大震災直後各自保護ヲ目的トシテ設立シ爾來其ノ目的ニ隨ヒ事業ヲ遂行シテ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 郷土ノ惡風ヲ矯正シ各自相警マシムルヲ以テ目的トス

ロ、事業 夜警、道路ノ改修、 公益ニ關スル事業

會員數及分布狀況 三十二人

主ナル役職名並其氏名

團長 高野 徳市 副團長 長田 利文  
部長 長田 種茂 同 高野 善次

主ナル役職名並其氏名

會長 平野 玄林 副會長 廣瀬 清太郎  
會計係 那須 武市 記錄係 那須 守平  
同 那須 喜造 同 天野 筆

資産(種目別)

器具其他 十圓

維持方法

全會ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額 歳入 一〇〇、〇〇〇  
歳出 一〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 八〇、〇〇〇  
歳出 七九、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 九五、〇〇〇  
歳出 九五、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

昭和二年十月十三日 金十四圓補助サル

\*\*\*\*\*

班長 窪 寺 實 同 高野 別  
同 長田 子夫 同 長田 廣

資産(種目別)

一、基本金 五十圓

維持方法

團員ノ勞働ヨリ得ル收益金ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 三〇、〇〇〇  
歳出 三〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 二八、〇二五  
歳出 一六、二五〇

昭和二年度豫算額 歳入 六〇、七七〇  
歳出 六〇、七七〇

\*\*\*\*\*

名稱 作 興 會

事務所所在地 西八代郡市川大門町

創設年月日 大正十三年三月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 有泉 信吉



沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書渙發セラルルヤ恐懼感奮シ有泉信吉外十名ノ同志相會シテ種々研究ノ結果本會ヲ設立セリ爾來各種事業ヲ遂行スルト共ニ會員亦増加スルト共ニ基礎モ確實ニナリ以テ今日ニ至レリ

目的及事業種類

1、目的 皇室中心主義ヲ奉體シ思想善導社會教化ヲ目的トス

2、事業 講演會、講習會、活動寫真會生活改善ノ實行

會員數及分布狀況

五十三名

主ナル役職名並其氏名

役員  
幹事長 有泉 信吉  
幹事 野村 芳三 同一ノ瀬政一

幹事 溝井類三 同一ノ瀬世高  
同 小林重運

資産(種目別)

基本金 三百圓

維持方法

會員負擔金、寄附金、補助金

昭和二年度決算額 歲入 一〇三、六〇〇

昭和二年度決算額 歲出 一、〇〇三、六〇〇

昭和三年度決算額 歲入 一三五、六〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無

昭和二年度ニ於テ山梨縣教化事業協會ヨリ金十圓ノ補助ヲウケ

備考

昭和二年度ニ於テ九二〇圓ノ寄附金アリタルヲ以テ靈柩車ヲ購入シ町ニ寄附セリ從テ決算豫算ヨリ著シク増加セリ

名稱 大草村上條東割教化會

事務所所在地 北巨摩郡大草村上條東割

創設年月日 昭和二年二月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 廣瀬佳幸

沿革概要

昭和二年二月十一日東割地内教林寺ニ於テ發會式ヲ舉ク

昭和三年二月十一日總會開催ス

目的及事業種類

1、目的 社會教化事業ノ進展ヲ圖ルヲ以テ目的トス

一、講話 講習會、俳句研究會、敬老會、實業視察

會員數及分布狀況

四十二名

主ナル役職名並其氏名

總務 池田 一布  
會長代理 廣瀬 佳幸

名稱 静岡縣教化團體聯合會

事務所所在地 静岡縣廳社會課

創設年月日 昭和四年一月二十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 長谷川久一

沿革概要

昭和四年一月二十二日本會ヲ組織シ今日ニ至ル

目的及事業種類

1、目的 本會ハ國民的信念ヲ涵養シ國民道德ノ向上ヲ

圖リ社會教化ノ實ヲ舉クル爲メ教化團體聯絡提

携シテ教化事業ノ促進スルヲ以テ目的トス

2、事業 一、聯合各團體代表者並篤志家ノ協議會開催



二、社會教化ニ關スル調査研究並講習講演會開催  
 三、其他本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事項  
 會員數及分布狀況

本會加盟團體左ノ如シ

大日本報徳社	護國親善會	庵原詳佛敎奉詔會
安倍郡社會教化會	榛原郡佛敎積善會	濱名郡佛敎報國會
岳南佛敎會	岳陽婦人會	君ヶ代同盟會
沼津積善會	温讓會	竹麻敎化團
稻梓自彊會	南中佛敎々化團	下河津村敎化團
富士根佛敎團	今泉佛敎辛酉會	庵原村佛敎證道會
藤枝四恩會	東山村敎化團	於呂濟美會
吉野村風俗改善同盟會	下田町報徳自治會	靜岡乃木講
中泉乃木講	長泉乃木講	西山口乃木講
掛川乃木講	笠原村乃木講	熊村乃木講
龍川村乃木講	袋井町乃木講	國本社靜岡支部
國本社濱松支部	國本社沼津支部	國本社富士郡支部
國本社安倍郡支部	國本社藤枝支部	國本社三島支部
濱松市報徳館	見付報徳館	川崎報徳館
駿河東報徳館	南山支張所	城下出張所

志太出張所 三島出張所  
 主ナル役職名並其氏名

會長	長谷川久一
副會長	佐々井信太郎
同	足立達夫
理事	中村四郎 林常明
同	松永安衛 大石廉一
同	三家重三郎 鈴木良平
同	龜谷弘岳 中川喝立

維持方法  
 補助金及各團體ノ負擔金ヲ以テ維持ス

昭和三年度豫算額 歳入 八九五、〇〇  
 獎勵金並補助金下附ノ有無

金二百圓	昭和三年度 中央敎化團體聯合會
金四百圓	同 靜岡縣

名稱 大日本報徳社

事務所々在地 小笠郡掛川町掛川九三七

創設年月日 明治八年十一月十二日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 社 團 法 人

口、代表者 岡田良平

沿革概要

二宮尊徳翁ノ門人、安居院義道、弘化嘉永ノ頃適々遠州地方ニ集リ來リ、報徳ノ敎ヲ説キ、興國安民ノ法ヲ説ク岡田佐平治翁始メテ其門ニ入り、嗣子良一郎二宮翁ニ親灸シ、敎ヲ受クルコト六年歸國ノ後、報徳事業ニ從事シ、明治八年十一月各社ヲ糾合シ同志ヲ結合シテ、濱松縣ノ認可ヲ得テ、遠江國報徳社ヲ創立ス民法施行ニ際シ、明治三十一年十月十九日、公益法人ノ許可ヲ得、事業ノ擴張ニ伴ヒ各館出張所ヲ設ク

大正十三年、定款ヲ改正シ、報徳社ノ大合同ヲ爲シ全國各地ノ報徳社ヲ指導監督スルト共ニ直接事業ヲ經營シ、

傍ラ結社ノ勸誘ヲナス

目的及事業種類

イ、目的 二宮先生ノ遺教ニ據リ、報徳ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

口、事業 一、敎化事業

二、經濟事業

三、公益事業

右三種ノ事業遂行ノ爲ニ左ノ事項ヲ施設ス

- 一、毎月定日通俗講演會ヲ開ク
- 二、人材養成ノ機關ヲ設ク
- 三、善行精業者ノ旌表ヲ行フ
- 四、報徳結社ヲ勸メ民風ノ作興ヲ圖ル
- 五、圖書ノ出版及機關雜誌發行
- 六、報徳金蓄積ノ法ヲ設ク
- 七、低利資金ノ貸附ヲ行フ
- 八、家政整理及人事相談ニ應ス



- 九、産業ノ施設及獎勵ヲ爲ス
- 十、自治ノ改善及發達ヲ援助ス
- 十一、社會問題ヲ研究シ社會事業ノ施設ヲナス
- 十二、以上ノ外必要ナル事項ヲ行フ

會員數及分布狀況

一、會員數 四、四三八人 本社員  
 五六一社 所屬報德社(所屬社一社ヲ本社  
 員一人ト見做ス)  
 二七、二七五人 所屬社々員  
 合計三二、二七四人

二、分布狀況

靜岡縣	神奈川縣	東京府	千葉縣	埼玉縣
群馬縣	茨城縣	福島縣	宮城縣	岩手縣
青森縣	秋田縣	山形縣	北海道	山梨縣
愛知縣	三重縣	長野縣	岐阜縣	新潟縣
富山縣	福井縣	滋賀縣	京都府	兵庫縣
大阪府	和歌山縣	鳥取縣	島根縣	香川縣
愛媛縣	高知縣	福岡縣	大分縣	佐賀縣
熊本縣	宮崎縣	山口縣		

主ナル役職名並其氏名

理事社長	岡田良平
理事副社長	佐々井信太郎
常務理事	山田猪太郎 同 八木辰馬 同 鈴木良平
理事	飯田榮太郎 同 片平九郎左衛門 同 原慶次郎
參事	中村藤吉以下二十七人
監事	山田實太郎 岡田壯平 樽松長平
口、顧問	宮本雄一郎 田邊三郎平 鈴木理一郎
ハ、職員	一木喜徳郎
名譽講師	細田多次郎 土井龜之進
書記	中村和二郎 以下六名
主事	鷺山恭平 以下十二名
主事補	小山豊作 以下八名
組合取締	吉岡金一郎 以下百三十名
事務囑託	朝日 支一 以下四名

資産(種目別)

昭和三年度豫算額 通常 四九、八九二、九五 四八、五九二、九五  
 特別 三、七八八、〇〇 三、七八八、〇〇  
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 金二百圓 内務大臣ヨリノ助成金 昭和二年度  
 金二百圓 同 同 三年度

土臺金	七四、八五六、六四
善種金	六三八、六七〇、八三
加入金	一八、三三〇、四九
預り金	三、九九四、七二
東照宮維持金	四三二、二〇
無息軒翁 安居院翁 伊藤翁 碑保存備金	一二七、七六
準備金	二、二五五、〇〇
計	七三八、六六七、六四
宅地	二、〇五一
畑、森林、池沼	二、四二三
本館	一四五、三五
公會堂	一〇一、三〇
事務所其他建物	一八九、八〇
計	四三六、四五

維持方法

報徳金ノ収益及寄附金	歳入	歳出
昭和二年豫算額	五、八五一、二〇	五、八五一、二〇
特別	一、五七九、二〇	一、五七九、二〇
通常	四、二七二、〇〇	四、二七二、〇〇
昭和二年決算額	四、四六九、二五	四、四七五、九〇
特別	二、〇九六、六五	二、〇九六、六五
通常		

沿革概要

憲法發布ニ感激シ青年輩目醒、明治二十三年五月夜學會  
 ヲ設ケ知徳ヲ涵養シ人物陶冶シテ國恩ニ報謝セシ事ヲ誓



フニ際シ未タ村民ハ陋習墨守シ冠婚葬祭者修ヲ極メ又傳  
 奕流行シテ惡風感化サレ勤勞ノ風衰ヘ道義ノ念地ヲ拂ヒ  
 難村ノ極致ニ達ス此時青年輩ハ改善ノ第一歩トシテ規律  
 的團體ノ共同力善用ヲ感シ明治二十八年十一月消防組ヲ  
 設置シ自重自製效果ヲ收メ更ニ明治三十一年十一月一村  
 住民ヲ包擁シタル風俗改善同盟會ヲ組織シ教育勸語ヲ源  
 基トシテ實踐篤行ノ信條ヲ設ケ慈善基金ヲ造成シ善行表  
 彰及敬老會ヲ開キ賞罰ヲ明ラカニシ感化獎善ノ道ヲ講シ  
 質實ノ村風作興ニ努メ大正六年二月内務大臣ヨリ選賞セ  
 ラレ記念事業トシテ早起會ヲ設ケ毎朝毎戸神佛ヘノ献米  
 ヲ以テ百年計劃積立ヲ勵行シ逐年偉大ナル效果ヲ收メ自  
 治ノ中堅トナリ活動スル事現今ニ及フ

目的及事業種類

- イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目  
 的トス  
 ロ、事業 一、教化事業ノ聯合提携ヲ圖ル事

會員數及分布狀況

- 一、村民全體ヲ會員トス

- 二、教育勸語ヲ服膺シ教育ヲ振興シ忠孝道義  
 ノ感念向上ヲ圖ル事  
 三、消防組規律的精神ヲ訓練シ公共心及社會  
 奉仕等犧牲的精神ノ向上ヲ圖ル事  
 四、分度ヲ守リ勤儉餘財ヲ蓄積シ子孫永安ノ  
 基礎ヲ固ル方法ヲ圖ル事  
 五、不孝逆境者ノ日常相扶クル慈善救護ノ道  
 ヲ圖ル事  
 六、敬神崇祖念ヲ高メ敬老會ヲ催シ長老ノ優  
 遇ヲ圖ル事  
 七、早起會ヲ勵行シ毎戸神佛ヘノ供米ヲ以テ  
 百年計劃積立ヲ圖ル事  
 八、不善行爲ニ對シ德義制裁シ善行者ニ對シ  
 表彰ヲ行ヒ感化獎善ヲ圖ル事

二、會員ヲ分チテ左ノ二種

- イ、第一部會員 消防組員  
 ロ、第二部會員 消防組員ヲ除キタル一般村民

主ナル役職名並其氏名

役員

總理	北村 電三郎
會長	長谷 藤市
副會長	北村 新三郎
理事長	長谷 勝三郎
第一部長	時ノ消防組小頭ヲ以テ任ス
第二部長	村ノ德望家ヲ以テ任ス

資産(種目別)

一、山林(植林地)	一町步 此價格二千圓
一、慈善基金	一千五百圓
合計	三千五百圓

維持方法

財産ヨリ生スル收入、寄附金、縣費補助金、村費補助金ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	一、五〇〇、〇〇〇
	歳出	一、四〇〇、九三〇
昭和二年度決算額	歳入	一、三九三、七九〇
	歳出	一、四六二、〇〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、四六二、〇〇〇
	歳出	一、四六二、〇〇〇

金 二 百 圓	政府ヨリ獎勵金	大正六年二月十一日
金 四 百 二 十 四 圓	縣費補助金	同十二年分
金 六 百 四 十 七 圓	同	同十三年分
金 五 百 八 十 六 圓	同	同十四年分
金 五 百 六 十 九 圓	同	同十五年分
金 五 百 八 十 五 圓	同	昭和二年分
金 六 百 十 八 圓	同	同三年分
明治四十二年以降年々村費ヨリ金二十圓宛補助セラル		

\*\*\*\*\*

名稱 南中佛教々化團

事務所所在地 賀茂郡南中村加納十八番地



創設年月日 明治三十五年一月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 堀井 靜先

沿革概要

明治三十五年一月設立當時ハ佛教能入會ト稱シ興風教化  
事業及救恤事業ニ從事シ大正三年十月佛教慈善會南中支  
部ト改稱シ免囚保護事業ニ務メ更ニ大正十三年一月南中  
佛教々化園ト稱スルニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的 詔書ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目  
的トス

ロ、事業 一、免囚保護

二、佛教講習會

三、婦人會講話

四、消防組修養講話

會員數及分布狀況

南中村ニ居住スル戸主五百二十五名ヲ六教區ニ分ツ

名稱 溫 讓 會

事務所所在地 清水市清水更新田八十六番地

創設年月日 明治三十七年二月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 土谷 保爾

沿革概要

本會ハ十ヶ年ヲ一期トシ自讓金ヲ元利分配スルモノトス

第一期ハ(自明治三十七年二月)十ヶ年  
至大正三三年一月)

第二期ハ(自大正三三年二月)十ヶ年  
至大正三十四年一月)

第三期ハ(自大正三十四年二月)四ヶ年十ヶ月ニシテ目下  
至昭和三年十二月繼續中

會員數及分布狀況

會員總數 百十一名

内譯 清水區 八五人 入江區 一〇人 江尻區 八人  
不二見區 五人 三保區 二人 辻區 一人

主ナル役職名並其氏名

會長 土谷 保爾 副會長 野木 平六  
幹事 石野 源七 同 北村 五兵衛

主ナル役職名並其氏名

役員

團長 堀井 靜先  
會計 渡邊 禪翁  
幹事 安藤 惟明 同 伊藤 仁重  
同 濱村 良準 同 鈴木 賢宗

維持方法

寄附金、托鉢ノ信施

昭和二年度豫算額 歲入 一〇〇、〇〇〇 歲出 〇

昭和二年度決算額 歲入 一一三、四四〇 歲出 〇

昭和三年度豫算額 歲入 一九〇、〇〇〇 歲出 〇

\*\*\*\*\*

同 山本 九兵衛 同 中村 辨康  
評議員 土谷 善太郎 同 吉田 正一  
同 土屋 信太郎 同 磯田 長作  
同 長澤 重兵衛 同 杉本 重吉  
同 岩崎 啓次郎 同

資産(種目別)

自讓金七千四百八十一圓二十錢

他讓金二千九十二圓十八錢

計金九千五百七十三圓三十八錢

昭和二年度豫算額 歲入 二、〇八七、〇八 歲出 〇

昭和二年度決算額 歲入 二、〇八六、四八 歲出 一、八二二、二五

昭和三年度豫算額 歲入 二、三七一、一五 歲出 〇

\*\*\*\*\*